



あなたと あたらしい あしたへ — 京王グループ



— 京王グループスローガン —

# あなたと あたらしい あしたへ

## 京王グループ理念

私たち京王グループは、  
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、  
「信頼のトップブランド」になることを目指します。  
そして、幸せな暮らしの実現に向かって  
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。





## Contents

トップメッセージ	02
経営計画	06
財務・CSRデータハイライト	10
京王グループの事業	12
京王グループのフィールド	14
京王グループの歩み	16
特集1:SDGsへの取り組み	18
特集2:京王プラザホテル50周年記念	20
感染症に対する取り組み	22

## 安全報告

安全報告:全社員一丸での安全最優先の鉄道づくり	24
メッセージ	26
安全方針・安全管理体制	27
安全管理方法	28
安全目標・安全重点施策	30
人材の育成	34
安全文化の構築	36
危機に備えた訓練	38
施設・設備の取り組み	40
日々の保守管理	50
災害などへの備え	52
その他の取り組み	55
グループ会社の安全対策	56

## 社会性報告

社会性報告:住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり	58
メッセージ	60
お客様の利便性・快適性の向上	62
お客様との対話	66
多世代が生活しやすい沿線づくり	68
地域社会への貢献	70
株主・投資家・取引先等への取り組み	73
人材の活用と働きやすい職場づくり	74

## 環境報告

環境報告:環境保全の推進	78
メッセージ	80
環境方針	81
環境マネジメント	82
低炭素社会を目指して	84
循環型社会を目指して	88
自然共生社会を目指して	90
環境関連データ	92

## 企業統治

企業統治:コーポレート・ガバナンスの充実・強化	94
財務データ	100
CSRアクションプラン	102
ガイドライン対照表/会社概要	104
第三者意見	107

### 編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、ステークホルダーに対する取り組みが伝わるよう留意しました。

なお、より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆様とのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

#### 【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体（鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門）の2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2018年度～2020年度のデータです。

#### 【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄軌道事業者による安全報告書の作成手引き（国土交通省）
- 環境報告ガイドライン（2018年版、環境省）
- ISO26000（国際標準化機構）
- GRIスタンダード（Global Reporting Initiative）



代表取締役社長  
社長執行役員

紅村 康

新型コロナウイルスに感染された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

京王グループでは、グループの社会における存在価値を明文化した「京王グループ理念」において、「つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、『信頼のトップブランド』になることを目指す」を掲げています。この「京王グループ理念」により、グループ全社員で価値観や方向性の共有、浸透を図りながら事業活動を推進するとともに、地域社会への貢献活動に取り組み、企業価値、株主の皆様の利益ならびに沿線価値の向上に努めています。

## より良い暮らしを創造

公共性が高い運輸事業者にとってCSRは、重要な考え方であり、ESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)への関心が社会的に高まる中、当社グループは、これらを意識して事業活動を展開し、地域の発展と幸せな暮らしの実現に貢献していくことを目指しています。

社会面では、引き続き「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」をコンセプトに多世代が共に生き、交流する沿線づくりとして、子育て世代を対象とした事業や高齢者住宅事業などに取り組んでいます。また、ゆとりある暮らしの実現をお手伝いする生活サポートサービスの提供として、多摩ニュータウンを中心に食料品等の移動販売も実施しています。



# すべての事業活動を通じ 持続可能な社会の実現に貢献します

社会インフラを担う企業グループとして、  
SDGsの考え方などを取り入れながら  
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進し  
地域の発展と幸せな暮らしを創造します。

環境面では、「京王グループ環境基本方針」に基づき、低炭素社会の実現に向けて様々な環境負荷低減策を展開しています。鉄道は環境にやさしい乗り物ですが、より消費電力削減効果に優れたVVVFインバータ制御装置への更新を進めているほか、電車の消費電力を効率的に活用する整備を実施するなど、一層の環境対策を進めています。また、他の事業では、CO<sub>2</sub>を排出せず騒音も少ない燃料電池バスの導入、商業施設を含む各施設でのLED照明の積極的導入なども実施しています。

## あらゆる場面で安全な鉄道を目指して

鉄道事業では、「安全は最大の使命であり、最高のサービスである」という認識のもと、「安全に関する基本方針」を徹底し、「有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発

生件数の前年比削減」を安全目標として事故・トラブルの未然防止に努め、社会的使命である輸送の安全性、安定性確保のための取り組みを推進しています。

2020年度もホームドア設置をはじめ様々な安全向上策に取り組むほか、河川氾濫リスクに対処するための車両疎開訓練など行いました。進行中の京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業については、事業主体である東京都とともに用地取得や高架化工事などを進めています。

安全対策に「完了」はなく、私たちの取り組みに終わりはありません。今後は自然災害発生時の情報提供における各自治体との連携強化など、あらゆる場面での安全施策をより一層推進していきます。

## ガバナンスの強化、リスク管理への取り組み

当社は、持続的な成長を企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

ガバナンス体制では、昨年6月に監査等委員会設置会社への移行、執行役員制度の導入、役員報酬制度の改訂を実施しており、当社の目指すガバナンス体制の向上が図られていると考えています。現在は今年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードにより求められている、より高度なガバナンス体制への要請を参考に更なる充実に向けての検討をすすめているところです。

リスク対応については、「京王グループリスク管理方針」を定め、適切なリスク管理活動を行うべく、リスク管理委員会による対応の体制を構築しています。外部環境等を踏まえ、リスク対策重点項目を決定しており、2021年度は、新型コロナウイルス感染症に起因するリスクへの対応をはじめ、従業員の多様化、ハラスメントに関する具体的実施事項等の労務・コンプライアンスリスクなどを取り上げ、グループ全体で取り組みを進めています。また、近年、自然災害が頻発している状況に鑑み、気候変動に対する当社グループの事業リスク低減にも着手する考えです。

## 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

京王グループでは、2015年度からの6年間で3年ずつに区切って前・後期中期経営計画を策定し、企業価値向上を目指した諸施策に取り組んできました。鉄道事業の安全性向上・収益力強化や沿線活力の向上をはじめとした既存事業の収益力強化と、ホテル事業の拡大を中心とした成長分野の収益基盤化を着実に推進してきました。2019年度前半までは順調に推移してきましたが、2020年度は、運輸業、流通業、およびレジャー・サービス業を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく被り、当社では初めて中期経営計画の最終年度として掲げていた目標が未達となりました。

新型コロナウイルス感染症への対策については、日本国内初の感染者が確認されて間もない昨年1月に、社内に対策総本部を立ち上げ、以後、同本部が中心となり、お客様と従業員の感染予防を第一とした様々な

対策を続けてきました。

当初は、感染防止対策に必要な備品の手配・供給から始まり、電車内や施設の消毒方法、従業員の感染状況のヒアリングによる職場内や社員寮でのクラスター防止策の策定など徐々に検討内容や範囲を広げ、当社の感染対策の司令塔の役割を担っています。

未だ先行きが見通せない状況下ではありますが、たとえば、コロナパンデミックが終息したとしても、世の中はコロナ以前に戻ることはないでしょう。今後は、感染防止対策を徹底して事業活動を継続するとともに、アフターコロナに向け、「ゼロベースでのコスト構造の見直し」「時流を捉えた機動的な増収施策の推進」「ニューノーマルを見据えた事業構造の抜本的な見直し」を軸として、収益力改善に向けてグループ全体で取り組む考えです。



## 原点に立ち返り「まちづくり」に注力

新型コロナウイルス感染症拡大により鉄道旅客の輸送人員は私が入社した40年前を下回るレベルにまで減少するに至っています。しかしながら、鉄道は営利事業であるとともに公共財であり、安易に事業を縮小することはできません。このような状況の「いま」だからこそ、当社グループは、鉄道会社としての「原点」、すなわち「沿線生活を維持する公共交通事業者としての役割を果たす」に立ち返ることが重要であると考えています。

2021年度はコロナ禍により先行き不透明な状況であることから、当面の回復目標値として単年度計画を策定しましたが、中長期的な方向性としては、新しい移動需要の創出とともに、これまで培ってきたリソースを活かして快適で魅力的なまちづくりに主体的に関与し、新し

いライフスタイルを牽引する存在として、沿線エリアのマネジメント、駅を核とした拠点開発を進めていきます。

その他にも、新たな事業環境に適応するための、グループ全体の構造改革や、新たな成長の柱として、不動産業の領域を拡大し、開発・賃貸・販売の良好なバランスにより利益を拡大する構造へ転換を進めます。

コロナ後の成長投資については、社会インフラとして重要な連続立体交差事業や、新宿エリア再開発の大規模投資を予定しており、これらを完遂するため、いち早く新型コロナウイルス感染症拡大前の利益水準への回復とニューノーマルに対応した事業構造への転換を、スピードをもって進めていく考えです。

## 働きやすく人が育つ組織づくり

これらの戦略を支える根幹は「人」であり、社員一人ひとりの成長なくしては、企業の成長はあり得ません。多様な人材雇用や女性の活躍推進、育児・介護と仕事の両立やワークライフバランス、ハラスメント防止対策などの施策に取り組むほか、定年延長など年齢によらず活躍できる制度の検討を進め、働きやすい職場環境づくりに努めています。

また、事業を通じて高い付加価値を提供できる人材の育成のためにも、教育体系の整備や人が育つ組織風土の醸成・定着にも注力していきます。

冒頭で触れたグループ理念については、制定から18年が経ち、グループ内で広く浸透していますが、その心の部分の浸透については、まだ努力が必要だと考えています。

## バランスを重視した適切な利益還元を実行

財務面の課題としては、新型コロナウイルス感染症拡大による不安定な経営環境の中で、収益力を改善し、手元資金の減少を一刻も早く食い止めることが最優先課題です。利益の回復や成長につながる新規投資は財務規律を重視しながら適切にコントロールしていきたいと思えます。

また、株主還元につきましては、将来の事業展開と経営環境の変化に備えた経営基盤の強化に必要な内部



留保を充実させながら、業績等を勘案し、株主の皆様への利益還元をはかっていくことを基本方針としています。2020年度の年間配当金は前期比で減配となりましたが、早く利益水準を回復させなければならないと考えています。

## ステークホルダーの皆様へ

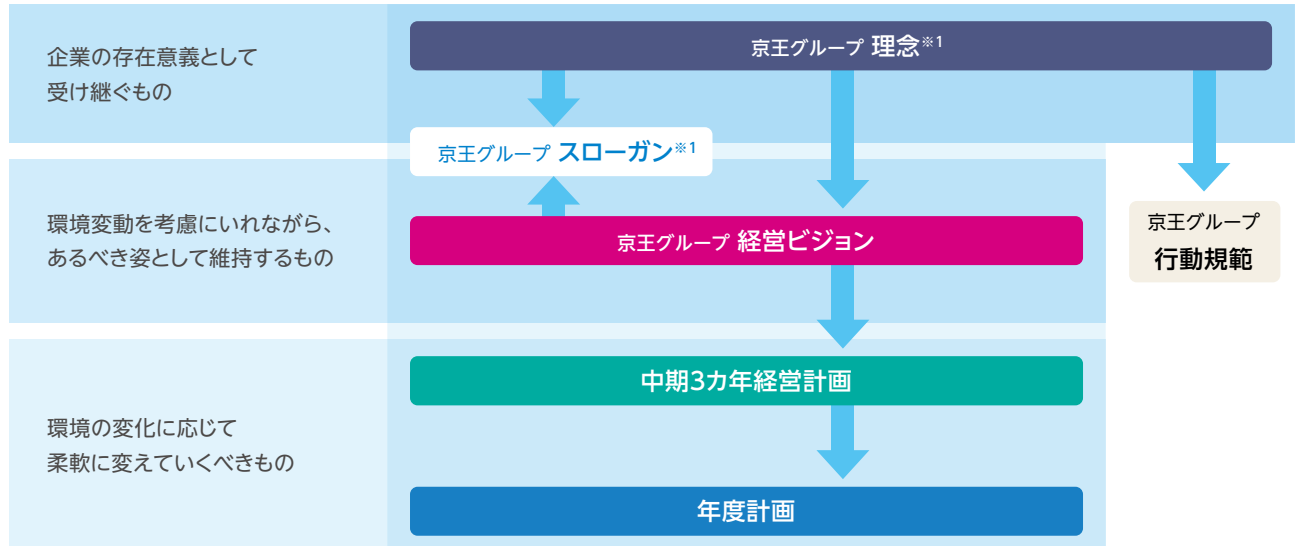
京王グループは、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指しています。今後も様々な価値を提供できる企業として存在するために、社会的責任を果たしてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、すさまじい変化を社会にもたらし、これまでの多くの常識が一変する事態となりました。しかしながら、沿線の交通利便性を維持する公共交通事業者として、揺るぎない安心・安全をお客様に提供しながらグループの成長を目指していくという私たちの信念は変わりません。コロナ禍による難局をグループ一丸となって乗り越え、「信頼のトップブランド」を目指してたゆまぬ歩みを進めてまいります。今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 企業価値の向上を目指して

京王グループでは、京王グループ理念を具現化し、経営計画につなげるための指針・将来像として「京王グループ経営ビジョン」を制定しています。そして、「京王グループ行動規範」を定め、事業活動を通じて社員一人ひとりが社会の持続的な発展に貢献していくことを目指しています。



※1 京王グループ理念・京王グループスローガンは巻頭ページをご覧ください。

## 京王グループ 経営ビジョン

京王グループは、変化する社会のニーズに対応したサービスを提供し、安心・便利で生き活きとした沿線づくりに取り組むことで、信頼され「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を追い求め続けます。また、発展し続けるグループへの変革を目指すため、成長する新たな市場へチャレンジします。

(2003年1月1日制定、2012年4月1日改定)

## 京王グループ 行動規範

「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します。

### 企業活動を通じて社会に貢献します

- ・お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- ・常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- ・適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

### 法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます

- ・全てのステークホルダー(お客様・株主・取引先・社員などの関係者)に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- ・法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します
- ・反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます

- ・知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- ・社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

### 社会の一員としての責任を果たします

- ・すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- ・リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- ・社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- ・社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます

(2004年4月1日制定)

## 中長期的な方向性

京王グループでは、都心と郊外を移動する通勤・通学需要を取り込み、鉄道を利用するため駅に集まる多くのお客様を対象にさまざまな生活関連ビジネスを展開してきましたが、2019年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大と社会環境の変化により、鉄道・バス等の輸送需要等が大きく減少しました。

このため、2021年度は先行き不透明なことから、当面の回復目標値として単年度計画を策定し収益構造の抜本的な見直しに取り組むとともに、大規模投資の完遂に向けた、「中長期方針」に基づき、新たな中期経営計画の策定を進めてまいります。

京王グループでは、大規模投資が本格化する2030年代までに新型コロナウイルス感染症拡大前を上回る利益水準への回復とニューノーマルに対応した事業構造への転換を図ります。

### 中長期方針



京王の「原点」を再構築し、沿線生活を維持する公共交通事業者としての役割を果たす

#### 向き合うべきテーマ

生活圏の縮小

リアル商業の低迷

輸送需要の低下

#### ①まちづくりへの注力

- ・これまで培ってきたリソースを活かし、新しい価値を生み出すことで、生活圏内の回遊性を向上させ、新しい移動需要を創出
- ・沿線をエリア単位でマネジメントし、駅を核とした拠点開発を進めて魅力的な「まちづくり」に注力し、エリア内外の移動を活性化

#### ②事業構造改革の推進

- ・事業環境に適応するため構造改革を推進
  - 【鉄道事業】 安全・安心とコスト構造改革の両立  
座席指定料金収入の拡大
  - 【ホテル事業】 安定収益の創出／チェーンメリット追求
  - 【流通事業】 DXによる来店動機創出／グループ横断的体制検討

#### ③稼ぐ力の強化

- ・新たな成長の柱として、不動産業の領域を拡大し、稼ぐ力を強化



揺るぎない安心・安全をお客様に提供しながら大規模投資を完遂していく  
利益水準の回復とニューノーマルに対応した事業構造への転換

## 2021年度計画の基本方針



不安定な経営環境の中で、収益力を改善し、手元資金の減少を一刻も早く食い止める

- ✓ 不要不急の経費・投資の抑制を継続
- ✓ 時流を捉えた機動的な増収施策の推進
- ✓ ニューノーマルを見据えた事業構造の見直し

連結EBITDA 487億円		FCF
営業利益	157億円	資本的支出 477億円
+減価償却費	327億円	
+のれん償却	3億円	

有利子負債の増加を抑え、財務規律を維持する

### 2021年度計画数値(抜粋)

	2020年度 実績	2021年度 計画	前年増減
営業収益	3,154億円	3,435億円 (3,931億円)	280億円 (776億円)
営業利益	△208億円	157億円	365億円
親会社株主に帰属する当期純利益	△275億円	71億円	346億円

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用  
 ※営業収益の下端( )は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載  
 ※回復時期は不透明だが、国内需要はコロナ前の15%~20%減を前提に策定

## 2021年度の主な取り組み

### 運輸業

#### 安心してご利用いただくための取り組み

- 駅構内や車両内の設備の定期的な消毒
- 車両に抗ウイルス・抗菌加工を実施
- 車内換気促進



#### 連続立体交差事業の推進

- 2021年度は用地取得や土留杭の設置、高架橋基礎杭の構築等を進めるほか、新たに下高井戸駅付近と桜上水駅付近で工事に着手し、全8工区のうち6工区で工事を推進

#### 5000系車両を1編成導入

- 車両の安定運用・さらなるサービス拡充に向け  
2022年下半年に5000系車両1編成を導入予定

#### MaaSへの取り組み(「TAMa-GO」実証実験)

- 商業施設等との連携により、事前決済・非接触利用が可能な電子チケットを販売したほか、タクシーによる相乗り型輸送サービス等を提供

#### 京王電鉄バス 八重洲バスターミナル運営受託

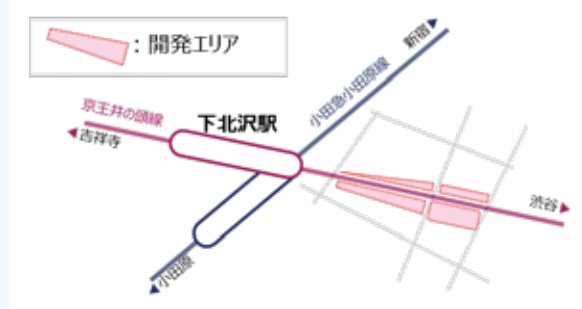
- 段階的(2022年8月、2025年度、2028年度)に完成する東京駅前(八重洲地区)3地区のバスターミナルを、UR都市機構から順次賃借した上で、一体的に運営
- 長年の経験を最大限に発揮し、「SMART バスターミナル」を目指す



## 流通業

### 下北沢高架下開発

- 世田谷区の歩行者専用道路(緊急車両のみ通行)沿いに4棟の施設を配置し、路面店の雰囲気味わえるような回遊性の高い街並みを形成
- 街固有の魅力と不足した機能を融合させた商業展開、行政との連携、起業家の活動の場の提供等により、街の更なる発展のきっかけをつくる



### 下北沢高架下開発の概要

概要	商業施設、駐車場等(計4棟)
規模	地上5階建て、地上2階建てなど
開業年月	第一期:2022年春(予定) 第二期:2022年夏(予定)

## 不動産業

### 「ブリリアタワー聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス」販売開始 「リビオレゾン THURSDAY 調布」販売

- 街のシンボルとなる大規模なタワーマンション(市内最高の高さ112m)開発に参画し、販売業を強化する
- 日鉄興和不動産(株)とリビタとの初の2社共同事業
- これまでの分譲・賃貸・運営の実績で培ったノウハウを生かし、单身むけ中心の新築分譲マンションにおける新たな価値づくりを提案

### 賃貸資産の拡充

- 直近の物件取得状況

直近の取得状況(賃貸マンション)	
港区(一部取得)	2021年2月
新宿区	2021年2月
港区	2021年4月

### 高尾山口駅前活動ホテル「タカオネ」開業

- 当社グループの重要な拠点である高尾山エリアにて取得した建物をリノベーション



## レジャー・サービス業

### 京王プラザホテル(新宿)

- 長期滞在型商品拡充
- ホテル内に会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前」を新規出店

### 京王プラザホテル札幌

- 長期滞在型商品やコンセプトルームの販売

### 京王プレッソイン

- 長期滞在に適した客室設備を充実

## その他業

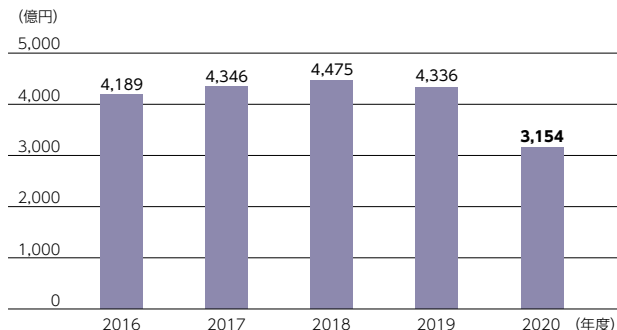
### 会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を新たに3店舗開業

- 既存施設を活用し3店舗を開業(府中、京王八王子、新宿・都庁前)
- 全店利用プランを新設し、登録店舗以外でも「KEIO BIZ PLAZA」各店舗の相互利用を可能とすることで、今まで以上に柔軟な働き方の実現に貢献

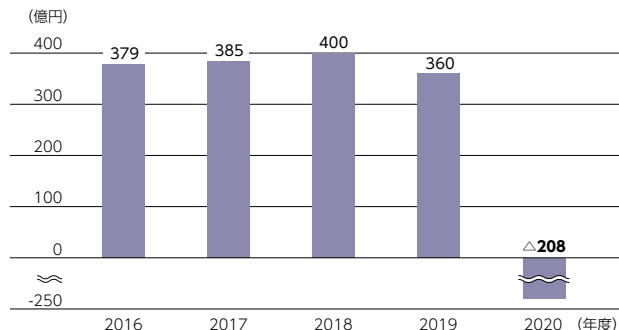
# 財務・CSRデータハイライト

## 財務関連データ(連結)

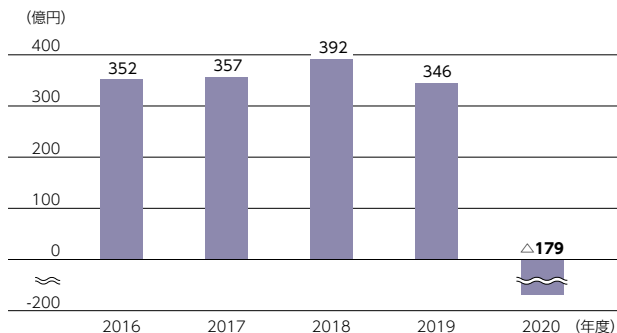
### ● 営業収益



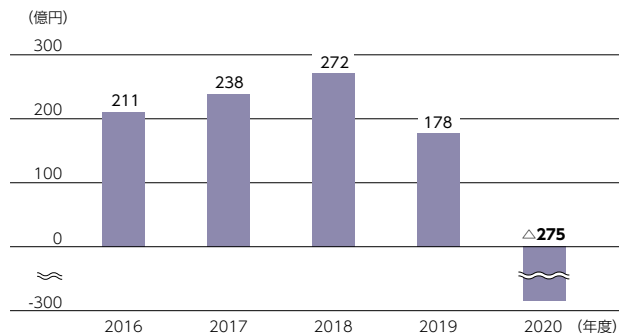
### ● 営業利益



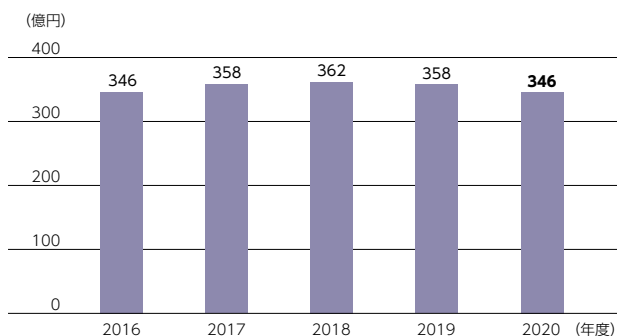
### ● 経常利益



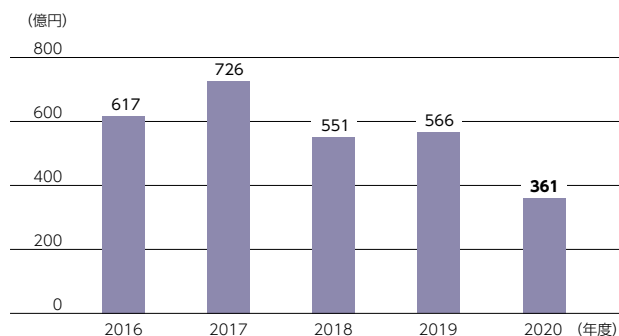
### ● 親会社株主に帰属する当期純利益



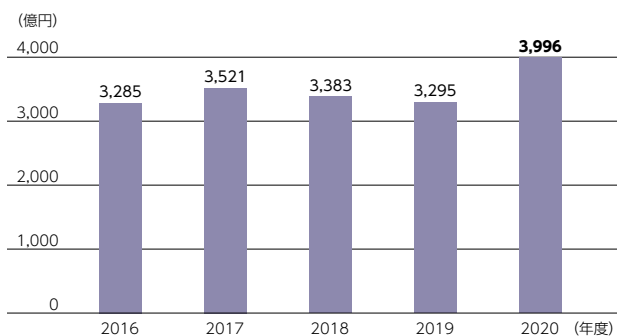
### ● 減価償却費



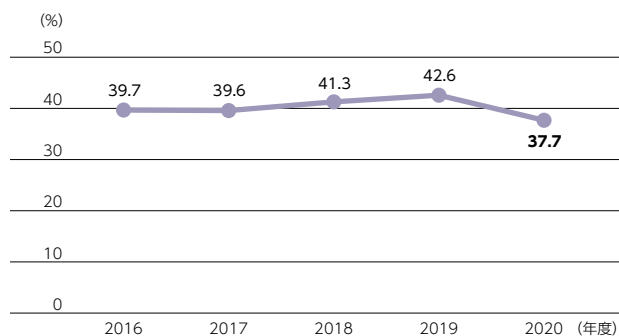
### ● 資本的支出



### ● 有利子負債



### ● 自己資本比率



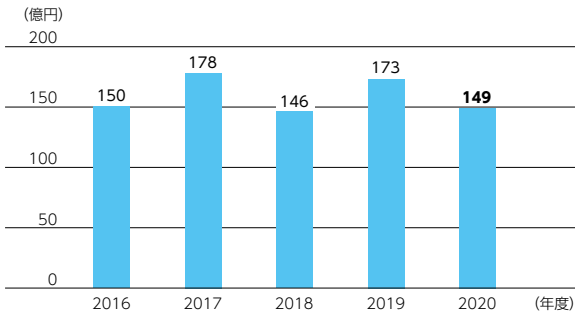
※有利子負債は、借入金+コマーシャル・ペーパー+社債により算出しております。

## CSRデータ



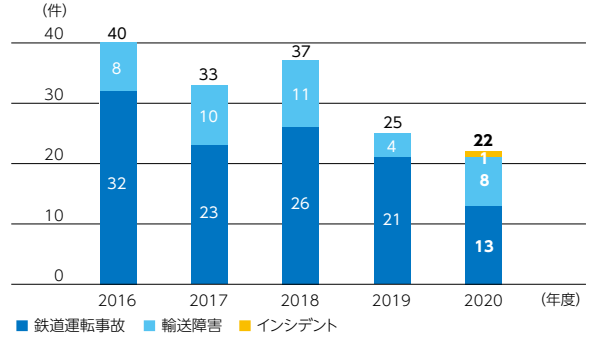
### 安全に関する投資額

149億円



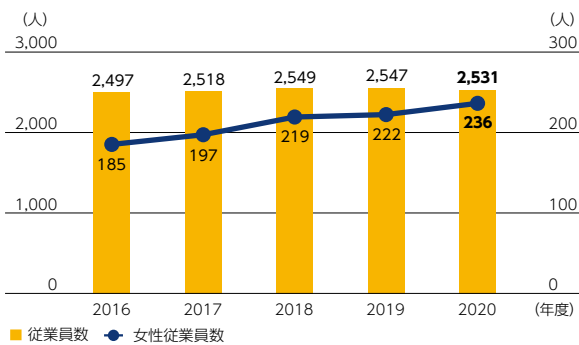
### 鉄道運転事故・輸送障害発生件数

22件



### 従業員数／女性従業員数

2,531人／236人

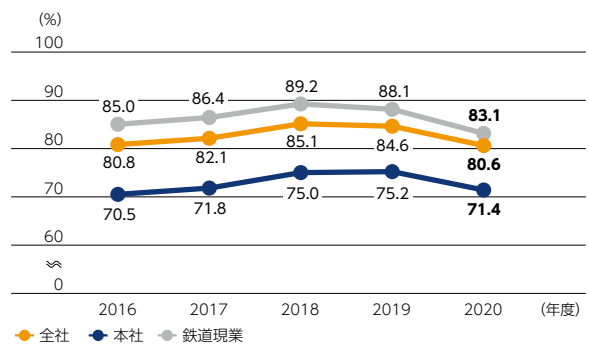


※グループ会社へ出向している女性正社員は除いています。



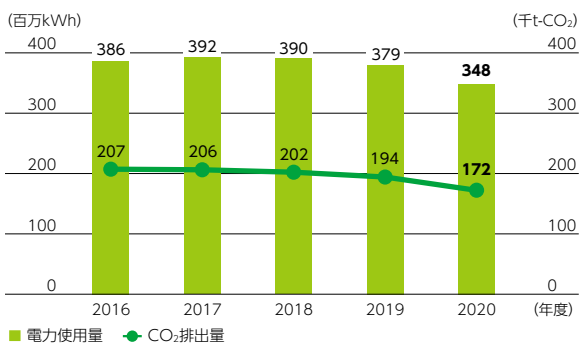
### 年休取得率

80.6%



### 電力使用量／CO<sub>2</sub>排出量

348百万kWh／172千t-CO<sub>2</sub>

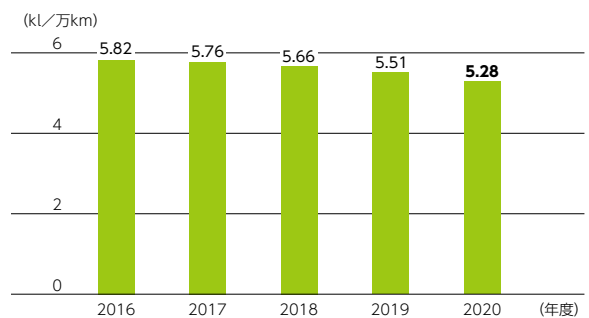


※省エネ法、東京都環境確保条例等に基づいて集計しています。



### 鉄道のエネルギー使用量原単位

5.28kl／万km



※集計対象は、電車の運行、駅および現業事務所です。



## 京王グループの事業

	事業内容	セグメント資産／資産構成比
運輸業	 <p>基幹事業である鉄道事業の他にバス、タクシー、貨物輸送などさまざまな運輸事業を行っています。安心・安全でお客様から信頼される交通サービスの提供に努め、運輸事業を通じて地域社会の発展に貢献します。</p>	セグメント資産 <b>4,035億1百万円</b> 資産構成比 <b>45.6%</b>
流通業	 <p>多種多様な事業を展開し、時代に適した商品とおお客様の満足を第一に考えたサービスで、京王沿線を中心としたお客様の毎日の暮らしをサポートし、より豊かな生活への提案を行っています。</p>	セグメント資産 <b>979億46百万円</b> 資産構成比 <b>11.1%</b>
不動産業	 <p>土地・建物の売買やリノベーション、駐車場の運営などを通じてお客様のさまざまなニーズに応え、質の高い商品と商品・サービスを提供しています。</p>	セグメント資産 <b>2,235億44百万円</b> 資産構成比 <b>25.3%</b>
レジャー・サービス業	 <p>お客様に心の豊かさとうるおいある生活ステージを提供するために、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら上質で安心できるサービスを展開しています。</p>	セグメント資産 <b>1,192億88百万円</b> 資産構成比 <b>13.5%</b>
その他業	 <p>「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現に向けて、幅広い事業を手掛けています。京王グループの総合力を基盤にして、きめ細かなサービスや長年培った高い技術力を提供しています。</p>	セグメント資産 <b>400億13百万円</b> 資産構成比 <b>4.5%</b>

営業収益／営業損益	2021年3月期の事業概況	主要な会社名
<p>営業収益 <b>884億51百万円</b></p> <p>営業損失 <b>▲164億13百万円</b></p>	<p>鉄道事業では、2020年5月の緊急事態宣言解除後は緩やかな回復基調にありましたが、感染再拡大と宣言再発出の影響を受け、旅客運輸収入が32.1%減(うち定期29.9%減、定期外33.9%減)、鉄道事業の営業収益合計が31.4%減となりました。また、バス事業においても、路線・高速などで減収となりました。これらの結果、営業収益は884億5千1百万円(前期比31.8%減)、営業損失は164億1千3百万円となりました。</p>	<p>京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バスグループ、西東京バス、京王自動車グループ、京王運輸</p>
<p>営業収益 <b>1,284億85百万円</b></p> <p>営業損失 <b>▲62百万円</b></p>	<p>百貨店業およびショッピングセンター事業では、緊急事態宣言等に伴う外出自粛の影響や営業時間短縮・休業などにより減収となりました。また、ストア業では、スーパーマーケット事業で増収となったものの、全体としては減収となりました。これらの結果、営業収益は1,284億8千5百万円(前期比20.8%減)、営業損失は6千2百万円となりました。</p>	<p>京王電鉄(ショッピングセンター)、京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、京王パスポートクラブ、京王アートマン、京王食品、京王グリーンサービス</p>
<p>営業収益 <b>480億7百万円</b></p> <p>営業利益 <b>104億1百万円</b></p>	<p>不動産賃貸業では、前年度に取得した物件の寄与などがあったものの、減収となりました。一方、不動産販売業では、リノベーション物件の売上増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は480億7百万円(前期比5.9%増)、営業利益は104億1百万円(前期比13.1%増)となりました。</p>	<p>京王電鉄(開発)、京王不動産、京王地下駐車場、リビタ、京王重機整備(賃貸)</p>
<p>営業収益 <b>253億31百万円</b></p> <p>営業損失 <b>▲192億85百万円</b></p>	<p>ホテル業では、「Go To トラベル」などの需要取り込みに加え、デユースや長期滞在など新たなニーズに対応したプランの開発・販売に努めましたが、訪日外国人旅行客をはじめとした宿泊需要の激減により、大幅な減収となりました。旅行業では、外出自粛の影響等により旅行需要が減退したことなどから減収となりました。これらの結果、営業収益は253億3千1百万円(前期比65.8%減)、営業損失は192億8千5百万円となりました。</p>	<p>京王プラザホテル、京王プラザホテル札幌、京王プレッソイン、京王プレミアホテル京都、京王プレミアホテル札幌、高山グリーンホテル、京王観光、京王エージェンシー、京王レクリエーション、レストラン京王</p>
<p>営業収益 <b>654億9百万円</b></p> <p>営業利益 <b>52億86百万円</b></p>	<p>建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。一方、車両整備業およびビル総合管理業では、受注減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は654億9百万円(前期比2.4%減)、営業利益は52億8千6百万円(前期比8.2%減)となりました。</p>	<p>京王設備サービス、京王重機整備(車両整備)、東京特殊車体、京王建設、京王ITソリューションズ、京王アカウントティング、京王ビジネスサポート、京王ユース・プラザ、京王シンシアスタッフ、京王子育てサポート、京王ウェルシステージ、京王フェアウェルサポート</p>

※記載の金額には、セグメント間取引を含みます。  
 ※セグメント資産には、全社資産(報告セグメントに帰属しない金融資産)は含まれません。

## 京王グループの沿線価値向上を目指した最近の取り組み

京王グループは、変化する社会のニーズに対応したサービスを提供し、安心・便利で生き活きとした沿線づくりに取り組むことで、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現に取り組んでいます。

### 子育て支援事業

京王子育てサポートが運営する保育所「京王キッズプラッツ」を9カ所開設しています。家庭的な雰囲気の中、お子様一人ひとりの発達や気持ちに寄り添い、豊かな成長をサポートします。



京王キッズプラッツ

### サテライトオフィス

2018年10月より会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA 多摩センター」を運営しています。2021年3月には、より静かで集中して執務ができる個室席を導入した「KEIO BIZ PLAZA 府中」「KEIO BIZ PLAZA 京王八王子」を新たに開業しました。2021年5月には京王プラザホテル(新宿)内に「KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前」を開業しています。



KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前

### 高尾山エリアの魅力向上

新宿から特急電車で47分、国内外から多くのお客様が訪れています。2021年7月には高尾山口駅前活動ホテル「タカオネ」が開業しました。これまでの「日帰り登山」がメインである高尾山エリアにおいて、宿泊サービス・飲食サービスを展開することで、「楽しみ方」の選択肢を広げエリアの回遊性を向上しています。



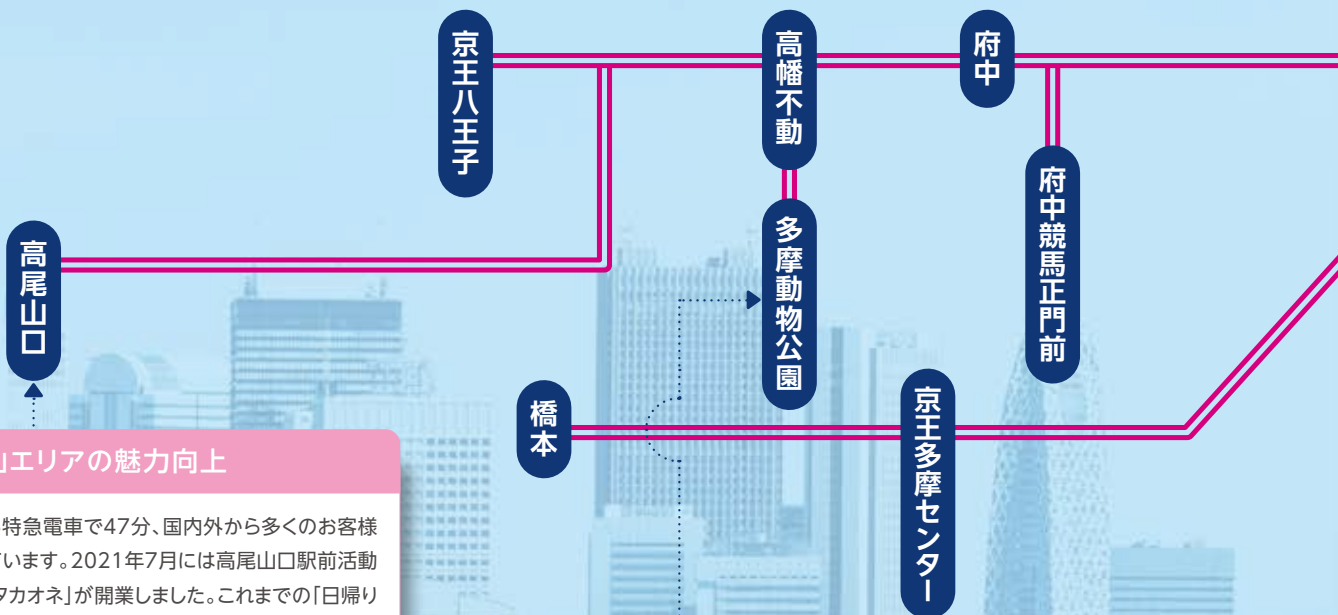
高尾山口駅前活動ホテル「タカオネ」

### キッズパークたまどう

2018年に「京王あそびの森 HUGHUG〈ハグハグ〉」を開業し、「京王れーるランド」「多摩動物公園」を含む多摩動物公園エリアを「キッズパークたまどう」と名付け、親子で1日遊べて親しみを持っていただけるエリアとして活性化を目指しています。



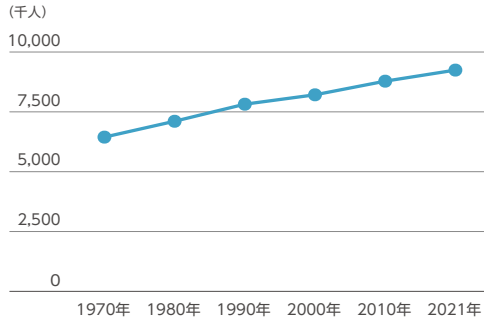
京王あそびの森 HUGHUG〈ハグハグ〉





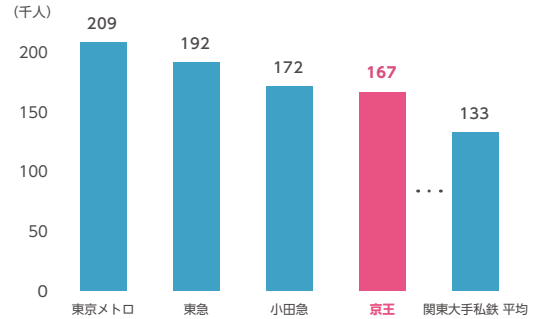
## Business Overview

### 京王線沿線の人口推移



出典:国勢調査

### 1日1キロ平均 輸送人員(2020年度)



出典:日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」2020年

### 京王グループの顔:新宿

新宿駅の乗降客数は1日あたり平均79万人(2019年度)であり、日本でも有数のターミナル駅です。開業50周年を迎えた京王プラザホテルをはじめ、新宿駅は京王グループの顔となっています。今後は東京都と新宿区が公表した「新宿の拠点再整備方針」に基づき、将来的な再開発による価値向上を目指して、引き続き関係者との協議や開発計画の検討を進めます。



吉祥寺

調布

仙川

明大前

笹塚

新宿

渋谷

### 連続立体交差事業

2012年「京王線・相模原線(調布駅付近)連続立体交差事業」の完了に続き、現在は京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を推進しています。

同事業の完成により、25カ所の踏切が廃止され、鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。また、鉄道・バスなどの交通機関相互の乗り継ぎ利便性が向上するなど、地域社会の発展に貢献していきます。



明大前駅の外観デザイン

### 沿線の生活支援サービス事業

京王線・井の頭線沿線全域で展開するサービスメニューとして、「家事代行サービス」「住まいのメンテナンスサービス」「空き家巡回サービス」等を提供しています。一部エリアでは、生鮮品・日用品等の移動販売を実施しています。





# 沿線の魅力的な街づくりにチャレンジし 暮らしを支え続けてきた100余年

## 京王電気軌道開業

1913年～

### 鉄道とバスを走らせ 人々の往来を支える

京王線は新宿と八王子を結ぶ路線として計画され、1913年に笹塚～調布間が開業しました。

未開業区間の新宿～笹塚間などで、東京で最初のバスの営業も開始しました。1928年には新宿から東八王子まで電車が直通となり、1934年には渋谷～吉祥寺間が全線開業。当時まだ開発が進んでいなかった西東京エリアに鉄道とバスを走らせ、公共交通機関として人々の往来を支えました。

- 1910 京王電気軌道株式会社が発足
- 1913 笹塚～調布間の電車開通
- 1934 帝都電鉄株式会社により渋谷～吉祥寺間が全通



東京で最初のバス営業



1914年頃の調布駅

## 京王帝都電鉄の時代

1948年～

### 事業を多角化し 沿線の街づくりを本格化

戦後、1948年に京王帝都電鉄が発足。戦後復興と高度経済成長期の中で、沿線の街づくりに着手。不動産、流通など事業の多角化も進めました。

1964年には「京王百貨店新宿店」が、1971年には当時の超高層ホテル第1号として「京王プラザホテル」がオープンしました。また、1986年には、推進していた聖蹟桜ヶ丘駅周辺総合開発において「京王聖蹟桜ヶ丘SC」がオープンするなど、魅力ある沿線づくりを進めました。

- 1964 京王百貨店新宿店がオープン
- 1971 京王プラザホテルがオープン
- 1986 京王聖蹟桜ヶ丘SCがオープン



1964年の京王百貨店新宿店



1971年の京王プラザホテル



1986年の京王聖蹟桜ヶ丘SC

鉄道事業と路線バス事業から始まり、沿線に魅力的な街をつくり、人々の暮らしを支え続けてきた100余年。「進取の気性」に代表される京王の精神は、歴史の中で脈々と継承されています。大きな社会の変革期にあっても、この「進取の気性」こそが、未来を切り拓く原動力となり、成長の礎になることは、京王グループの歴史が証明しています。

## 京王電鉄に社名変更

幅広い世代に  
住みやすい街へ豊かな暮らしづくり

1998年～

1998年に社名を京王電鉄に変更。2001年に関東私鉄で初めて女性専用車を導入したほか、2012年には調布駅付近地下化切り替えを実施し、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図りました。また、2002年には新規事業として、現在11店舗約2,800室で営業している京王プレッソインの1号店が、東銀座にオープンしました。

## 成長の実現に向けて

未来を見据え  
企業価値のさらなる向上へ

2015年～

2017年に調布の新たなランドマークとして、「トリエ京王調布」が誕生しました。また、2018年には当社初となる有料の座席指定列車「京王ライナー」を夜間時間帯で運行を開始したほか、2020年4月に高山グリーンホテルが京王グループの一員となり、6月に新館の「桜凜閣」をオープンしました。これからも沿線生活を維持する公共交通事業者としての役割を果たすとともに、企業価値のさらなる向上を図っていきます。

**2002** 京王プレッソイン1号店 東銀座店がオープン

**2005** 京王線で女性専用車を平日朝・夕の通勤時間帯へ拡大

**2012** 調布駅付近地下化切り替え工事完了



女性専用車を通勤時間帯へ拡大



調布駅付近地下化切り替え工事



京王プレッソイン東銀座  
(第1号店)

**2017** トリエ京王調布がオープン

**2018** 座席指定列車 京王ライナー運行開始

**2020** 高山グリーンホテル新館「桜凜閣」がオープン



トリエ京王調布



座席指定列車  
京王ライナー運行開始



高山グリーンホテル(左の建物が新館「桜凜閣」)



# 住んでもらえる、選んでもらえる街づくりの実現に向けて

京王グループでは、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れ、京王グループ理念のもと、事業活動を通じてお客様のより良い暮らしを創造していくことにより、社会課題の解決や、地域の発展と幸せな暮らしの実現に貢献していくことを目指しています。



SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するために、2015年に国連で採択された2030年に向けた開発目標です。

## 京王グループのSDGs達成に向けた取り組み



### 「安全性の向上」によりお客様に「安心」を

最高のサービスである安全性の確保と輸送サービスのさらなる快適性の追求に向けてこれからも推進し続けていきます。

#### 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

事業主体の東京都と協力し進めている、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の完成により、25カ所の踏切が廃止されるとともに、鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。また、都市計画道路や駅前広場などが整備され、鉄道とバスなど交通機関相互の乗り継ぎ利便性が向上するなど、地域社会の発展に貢献していきます。



高架橋構築箇所

#### ホームの安全対策

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、さまざまな対策に取り組んでいます。2021年度は、下北沢駅1番線・2番線へのホームドア整備を進めるほか、ホームと車両の隙間を縮小するため、下北沢駅および京王稲田堤駅への転落防止ゴム(くし状型のゴム)の整備を進めます。



下北沢駅ホーム補強工事

本レポートにおいては、各事業の主たる目的と関連の深いSDGsについてアイコンを掲載しています。

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## 地球温暖化防止への貢献

事業活動における環境負荷を低減することで  
CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、  
地球温暖化防止に貢献していきます。

鉄道事業では多くの電力を消費するため、走行用電力の削減や再利用を行うことでエネルギーの効率化を図っています。京王バスでは、走行時にCO<sub>2</sub>等の環境負荷物質の排出がない燃料電池バスを2020年度に2台導入するなど、グループ全体で省エネルギー化を推進し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に取り組んでいます。



燃料電池バス

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



## お客様の利便性・快適性の向上を目指して

すべてのお客様が安心して京王グループを  
ご利用いただけるようサービスの拡充を  
進めています。

車いすをご利用のお客様や小さなお子様連れのお客様に安心してご利用いただける「多機能トイレ」を68駅に設置しているほか、京王プラザホテルでは、すべてのお客様への対応を目指したユニバーサルルームが本館30階に13室(3タイプ)あります。



京王プラザホテルのユニバーサルルーム

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 多世代が暮らしやすい街づくりを目指して

沿線地域のお客様の利便性を高め、  
多世代にとって暮らしやすい街にするとともに、  
地域コミュニティの活性化を図っていきます。

2013年から、日常の買い物に不便なお客様を対象とした食料品や日用雑貨の移動販売を開始し、現在、多摩市、日野市、八王子市、調布市、稲城市等にて移動販売を行っています。お客様同士の交流の場として地域コミュニティの活性化にも貢献しています。



移動販売の様子

13 気候変動に  
具体的な対策を



## 気候変動の「緩和」と「適応」への取り組み

自然災害の発生は、京王グループの事業運営に  
多大な影響を及ぼすため、気候変動の「緩和」や  
「適応」への取り組みを進めています。

気候変動の「緩和」策としては、岩手県宮古市・神奈川県相模原市の太陽光発電事業など、再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。また「適応」策としては、自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計、風速計、雨量計、水位計、レール温度計を設置し、24時間体制で監視しています。



岩手県宮古市の太陽光発電システム



# 時代とともに。 進化し続けるパイオニア



KEIO PLAZA HOTEL



2021年6月5日、京王プラザホテルは開業50周年を迎えました。

新宿新都心の地に日本初の超高層ホテルとして誕生以来、斬新なイベントと商品の提案、その時代の先進技術の導入、業界に先駆けたユニバーサル対応など常にパイオニア精神をもって歩んできました。

次の50年に向けて新たな挑戦をスタートする京王プラザホテルは世界と日本が出会う笑顔と感動の広場(プラザ)として、これからもいつもお客様とともにあり続けます。

## 京王プラザホテル CSR HISTORY

### 京王プラザホテル開業

新宿駅西側の再開発地域に誕生した、日本初の超高層ホテル。人々が集い交歓する「広場」として、都市のあり方を変えていった。



1971

### バーズアイ

バリアフリーとエコロジーを活動テーマに社内横断プロジェクト「バーズアイ」を発足。手話や補助犬対応の勉強会を行い、社内への啓発を担ってきた。



2002

### シェフズ・テーブルプラン「KIREI」

コロナ禍での新たなニーズに対応し、お客様の安心・安全を徹底した感染対策と高層階からの眺望とフレンチを楽しむ特別プランを造成し販売している。



2008

2020

### リハビリテーション世界会議 ハンディキャップルーム設置

アジア初の会場として選ばれ、世界70カ国から1,600名が参加。開催に先立ち設置した車椅子利用が可能な客室と、そのホテル対応は国際的に高い評価を受けた。



### 本館7階 屋上緑化

屋上緑化は景観の向上だけでなく、タマリユウによる屋上薄層緑化により、荷重を増やさずことなく都市の温暖化抑制効果が期待できる。



## 人に寄り添うグローバルプラザ

京王プラザホテルの位置する西新宿は、世界中のビジネスマンや旅行者がひっきりなしに訪れる、グローバルプラザです。

1971年の開業以来、このメインロビーを本当に多くのお客様にお立ち寄りいただき、お客様のご出身国は100カ国以上のほり、国賓や、多くのVIPもお迎えしてきました。

立地の良さ、快適性はもとより、外国語のご対応、宗教や文化習慣への配慮など、国際ホテルとしてのサービス品質をさらに高め、一層世界から愛されるホテルを目指していきます。



## 京王プラザホテルのCSR(社会的責任)

京王プラザホテルの社会貢献は、基本理念の「生き生きとしたヒューマンスペース=広場(プラザ)の創造」のもとに推進しています。



### ユニバーサル対応

すべてのお客様への対応を目指したユニバーサルルームが本館30階に13室(3タイプ)あり、貸出し備品・器具はご希望に応じて取り付けができます。また、貸し出し用の車椅子もご用意しています。



### エコロジー

21世紀のエコロジカル・グリーン・ホテルを目指し、廃棄物処理センターの新設や客室アメニティー類の取り組みなどをはじめ、法令への対応や省エネルギー技術の進歩により環境への負荷は従前より低減しています。



### ボランティアプラザ

バースアイの取り組みとして労使共催チャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。2019年に開催したイベントでは、バリアフリーやチャリティについて身近に感じていただくとともに「さまざまな支援のカタチ」を紹介しました。

## メッセージ

開業50周年を迎え、CSR活動への取り組みをさらに推進していきます。

京王プラザホテルは1971年6月5日に日本初の超高層ホテルとして誕生し、今年開業50周年を迎えました。開業以来、当社では様々なCSR活動に取り組んでまいりましたがその始まりは1988年にアジア初の会場として開催された「リハビリテーション世界会議」にあります。この会議の成功は国際的にも高い評価を受け、CSRの理念は当社の掲げる「プラザ思想」と重なるものであり、以降のバリアフリーへの継続した取り組みにつながっています。

そして当社では2002年に「誰でもが参加できる社会貢献事業」であるエコロジー&バリアフリープロジェクト「バースアイ」が発足したのを皮切りに、業界初となるオストメイト対応のユニバーサルトイレ(2003年)、同じく業界初の補助犬専用トイレの設置(2007年)、温暖化抑制効果を図った7階屋上緑化(2008年)、授乳室設置(2010年)などに取り組んでまいりました。

近年ではCO<sub>2</sub>排出量削減による省エネ化や、ストローをプラスチック製から紙製へ移行したほか、職住近接の実現と働き方改革の推進、サテライトオフィス開業などSDGsにつながる活動にも取り組んでいます。

当社では、今後もソフト・ハード両面から社会の中の広場としてCSR活動の推進に力を注いでまいります。



株式会社京王プラザホテル  
代表取締役社長  
若林 克昌



## 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

### 京王線・井の頭線の安心・快適なご乗車に向けた取り組み

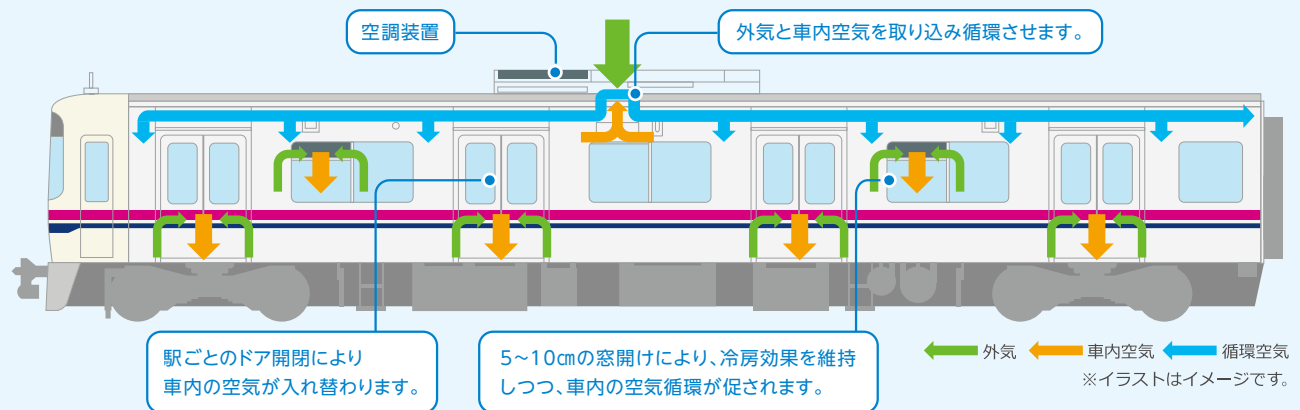
京王電鉄では、新型コロナウイルス感染症対策としてさまざまな取り組みを実施し、お客様がより安心して電車を利用できる環境の整備に努めています。今後も、国土交通省、厚生労働省ならびに東京都からの要請や、「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、取り組みを実施・推進してまいります。

#### ▶ 窓開けによる車内換気と外気を取り入れる空調の使用

ドアの開閉と一部の窓開けにより換気を促進しています。

また、冷房運転時に外気を取り込む空調の使用で、車内の空気は5～7分程度で入れ替わります。

[ 車内の換気イメージ ]



#### ▶ 京王線・井の頭線の全車両に抗ウイルス・抗菌加工を実施

お客様により安心して電車をご利用いただくため、京王線・井の頭線の全車両内(873両)のつり革、手すり、座席、ガラス面、壁面など車両全般に対して、抗ウイルス・抗菌効果のあるコーティング剤の噴霧加工を2020年7月から順次、実施しています。



## ▶ 混雑情報の提供

電車をご利用されるお客様の「密集」「密接」を避け、空いている時間帯へのご乗車(オフピーク乗車)を積極的に推奨するため、当社ホームページにて、ラッシュ時間帯のお客様ご利用状況を提供しています。



## 社会環境の変化を踏まえた新たな取り組み

### ▶ 京王プラザホテル

#### 長期滞在プラン

緊急事態宣言の発令による外出や、移動の自粛要請により、自宅でのリモートワークが進む一方で、都心にビジネスと暮らしの両方を兼ね備えた活動の拠点を望まれる方が増えてきたことから、2021年2月に長期滞在型の宿泊プランを販売開始しました。



### ▶ 京王自動車

#### 京王タクシー 宅配サービス

京王タクシーによるお弁当などの宅配サービスは、「京王デリバリー」として多摩地区を中心にエリア展開しています。京王プラザホテル八王子・京王プラザホテル多摩を含む16のお店の味をご自宅などにお届けしているほか、入院の妊婦様用のケーキの配送もこの2021年4月から始めています。



### ▶ 西東京バス

#### 通勤ライナー

テレワークが普及したコロナ禍における新しい通勤スタイルとして、2021年6月1日より八王子・日野～新宿駅西口を結ぶ高速バス「通勤ライナー」の運行を開始しました。トイレ、Wi-Fiを装備し、座席定員制で混雑が抑えられた高速バスにより快適な通勤時間を提供するほか、車内のすべての空気が約5分で入れ替わる常時外気導入や、手指消毒スプレー、座席・手すり除菌用お手拭きの設置といった新型コロナウイルス感染予防対策を実施しています。





## 安全報告

# 全社員一丸での 安全最優先の 鉄道づくり

鉄道の安全性向上への取り組みとして、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業、ホーム安全対策、激甚化する自然災害や施設の老朽化対策などを着実に進めているほか、安全意識の高い鉄道従事員の育成を行っています。「日本一安全でサービスの良い鉄道」の実現に向けて、引き続きお客様目線での安全施策を本社・現場が一体となって推進していきます。

### CONTENTS

安全管理体制・方法等	P.27
人材の育成	P.34
安全文化の構築	P.36
危機に備えた訓練	P.38
施設・設備の取り組み	P.40
日々の保守管理	P.50
災害などへの備え	P.52
その他の取り組み	P.55







## さらなる安全性の向上を目指して 日々努力してまいります



取締役 常務執行役員  
鉄道事業本部長  
(安全統括管理者)

寺田 雄一郎

月検査などを行う  
若葉台検車区

日頃から、京王線・井の頭線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社では、皆様から信頼され、愛される鉄道であるために、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」ことを常に意識し、「全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る」ことを最大の命題として、日々の業務に取り組んでいます。

笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業については、引き続き事業主体である東京都とともに進めているほか、ホームドアや転落防止固定柵、注意喚起ラインの設置をはじめ、各種安全対策についても着実に推進しています。

災害対策としては、高架橋柱や盛土部などの補強工事を進めたほか、強風に備えた防風柵の新設、浸水被

害に備えた車両疎開訓練など、激甚化・頻発化する異常気象への対策を着実に実施しました。また、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き、お客様・従業員の感染防止対策を徹底し、鉄道の安全・安定・安心運行の継続に努めてまいります。

事故の未然防止に向けては、「安全に関する基本方針」「安全に係る社員の行動規範」の徹底を図るとともに、現場と本社が一体となって、安全意識のさらなる高揚を目指してまいります。

これからも、「有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減」を安全目標と定め、全てにおいてお客様の視点に立ち、安全確保を第一に行動してまいります。



鉄道事業本部長による職場巡視



鉄道事業本部長による現場視察

# 安全方針・安全管理体制

「安全に関する基本方針」「安全に係る社員の行動規範」に基づき、経営トップをはじめ、鉄道部門以外の部長も交えた安全管理体制を構築し、安全最優先の鉄道づくりに取り組んでいます。

## 安全方針


当社では、安全に関する基本方針とそれに基づく社員の行動規範を次のように定めています。本社およびすべての現場に掲出しているほか、カード形式にしたものを全社員に配布しています。

### 安全に関する基本方針

- 「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。
- 全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。

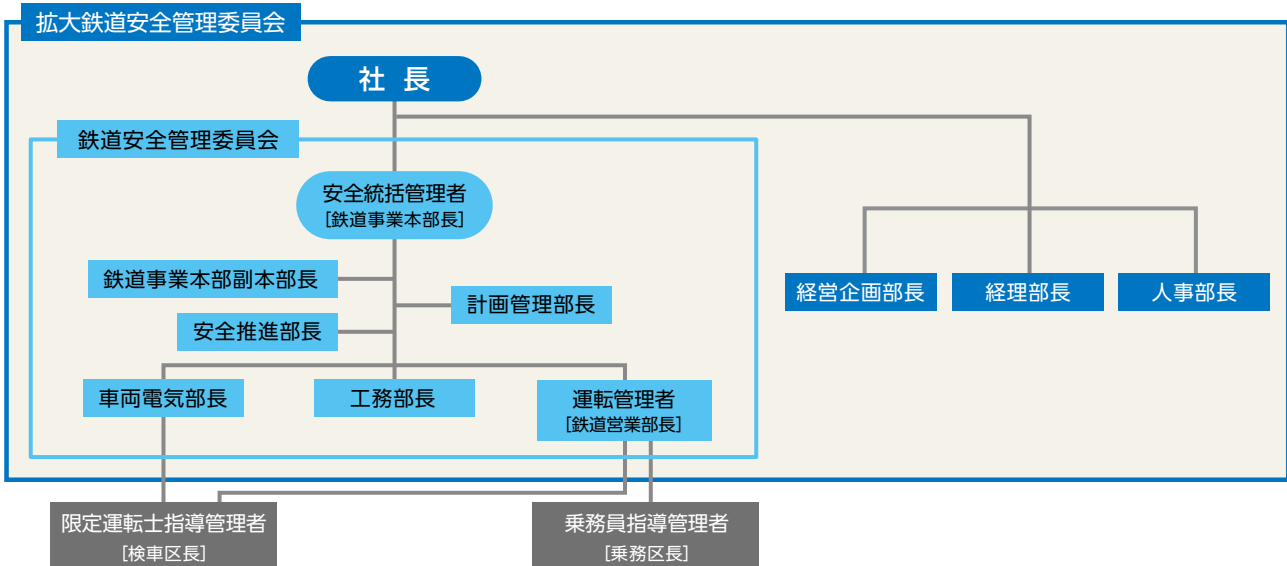
### 安全に係る社員の行動規範

- 全てにおいてお客さまの視点に立ち、安全確保を第一に行動する。
- 社員一人ひとりがルールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。
- 情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。
- 組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。





## 安全管理体制



責任者名	役割
社長	輸送の安全の確保に関する業務全般を総理する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
限定運転士指導管理者	車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。



# 安全管理方法

安全管理規程を定め、輸送の安全を確保するためのさまざまな取り組みを行っているほか、内部監査や国の評価をもとに、安全管理方法の継続的改善を図っています。

## 鉄道安全管理委員会

安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、原則として毎月1回、また必要により臨時に開催し、事故などの原因の究明・対策の検討・検証などを行っています。また、他社で発生した重大な事故・トラブルについて、当社の対応状況を確認しています。

さらに、拡大鉄道安全管理委員会を社長出席の下、年2回開催し、安全重点施策をはじめとした安全管理体制全般の実施状況の評価(マネジメントレビュー)を行っています。



拡大鉄道安全管理委員会

## 経営トップによる職場巡視

年4回の安全推進運動や、毎月の「安全再確認の日」を中心に、社長をはじめとする役員が現業職場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業係員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。



社長と現業係員との意見交換



社長による橋梁工事の視察

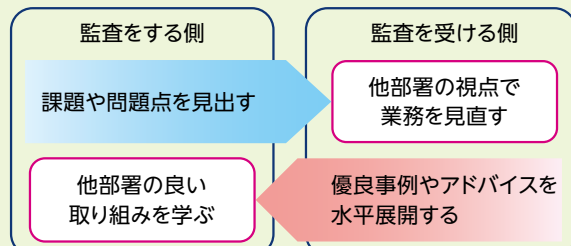


社長による列車添乗

## 内部監査の実施

運輸安全マネジメントに基づく内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに部長、課長および現業長に対してインタビューや書類検査などを行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有しています。

### 内部監査の目的





## 事故の芽・トラブル情報・ヒヤリ・ハットの報告

鉄道係員による取り扱い上の支障、機器の故障、自然災害などに起因する異常やそれらに対する措置の報告、また、事故が発生する恐れがあった事態、事故などや労働災害に関係するヒヤリ・ハットを幅広く収集・分析し、対策を講じることで、安全性の向上に役立てています。



ヒヤリ・ハット情報の収集ポスト

### ヒヤリ・ハット改善事例

作業現場足場上で資材を運搬していた作業員が、足場付近に張っていた配線に躓き転倒しそうになった事象があり、配線の上に踏み台を設置、注意喚起のテープを明示し作業場の安全性の向上を図りました。

before

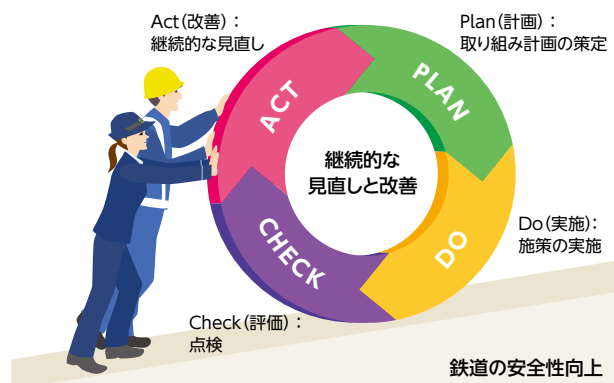


after



## 安全管理のPDCAサイクル（スパイラルアップモデル）

鉄道安全管理委員会を中心として、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→改善(Act)サイクルに沿って、継続して安全性の向上を図っています。



## 国土交通省による運輸安全マネジメント評価

事業者の安全管理体制が適切に維持・改善され、有効に機能しているかを、社長・安全統括管理者等へのインタビューや文書・記録の確認を通じて国土交通省が評価・助言するもので、2007年より定期的に受検しています。

### 第8回評価の主な内容

#### 【実施期間】

2019年6月5・10・11日

#### 【評価事項】

- 経営トップが取り組むべき方向性を明確にするとともに、自らの言葉で社内に情報発信し安全意識の向上に努めていること
- 部門横断的な研修とともに、安全講習会や安全川柳等を活用し、鉄道部門以外の社員の安全に対する意識の向上を図っていること
- 小集団活動等の改善活動を通じて各現場でのPDCAサイクルの実践を促していること

#### 【助言事項】

- 内部監査が、被監査職場が取り組むべき課題とその対応に関する気づきを得る場となるよう強化すること

助言事項を受けて、2019年度の内部監査より被監査職場による「事前調査書」の作成プロセスを導入

## 安全目標・安全重点施策

中期の経営計画に基づき毎年度、安全目標と安全重点施策を定め、目標の達成に向けて、施策の進捗および実績の管理を行っています。

### 2020年度 安全目標・安全重点施策

2018年度から新たにスタートした中期3カ年経営計画に、安全性向上に向けた施策を掲げています。

#### 2020年度に向けた中期3カ年経営計画(2018年度～2020年度)

- 事故や輸送障害、テロ行為の未然防止に向けた施策の実行
- 自然災害への対応力と危機管理体制の強化
- 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進
- 自然災害対策をはじめとした減災対策の実施
- ホームドアや転落防止固定柵の設置によるホーム安全対策の実施
- 老朽設備の着実な更新による保安度の向上

(鉄道の安全性向上への取り組みを抜粋)

## 2020年度 安全目標

- (1)有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減
- (2)新型コロナウイルス等の感染症への対応策の策定と実施

## 2020年度 安全重点施策

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事故・トラブル対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)安全目標達成に向けた事故・トラブルの未然防止</li> <li>(2)事故やトラブルの原因分析と再発防止に向けた安全対策の実施</li> </ul> </li> <li>2. 災害・危機管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)関係機関との連携によるテロ対策の推進</li> <li>(2)サイバーセキュリティ対策の推進</li> </ul> </li> <li>3. 安全意識の高揚、人材育成・活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)安全啓発室における安全教育の拡充</li> <li>(2)経験や職位に応じた教育を通じた質の高い社員の育成</li> </ul> </li> <li>4. 中長期施策の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進</li> <li>(2)新宿駅・新線新宿駅の駅改良計画の推進</li> </ul> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 減災対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)構造物の耐震補強工事の継続実施</li> <li>(2)高尾線の法面改修工事の継続実施</li> </ul> </li> <li>6. ホーム安全対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)下北沢駅のホームドア設置に向けたホーム補強工事の継続実施</li> <li>(2)転落防止ゴムや注意喚起ラインの整備</li> </ul> </li> <li>7. 老朽化対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)コンクリート構造物の補修工事の継続実施</li> <li>(2)京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル</li> </ul> </li> <li>8. 新型コロナウイルス感染症対策               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)お客様と社員の感染予防、拡大防止の徹底</li> </ul> </li> </ol> |
|--|---|





## 2020年度 輸送安全実績

### 鉄道運転事故などの発生件数(2016年度～2020年度)

2020年度は、鉄道運転事故が8件(対前年度4件増)、輸送障害が13件(同8件減)、インシデントが1件発生しました。

#### ■ 鉄道運転事故とは

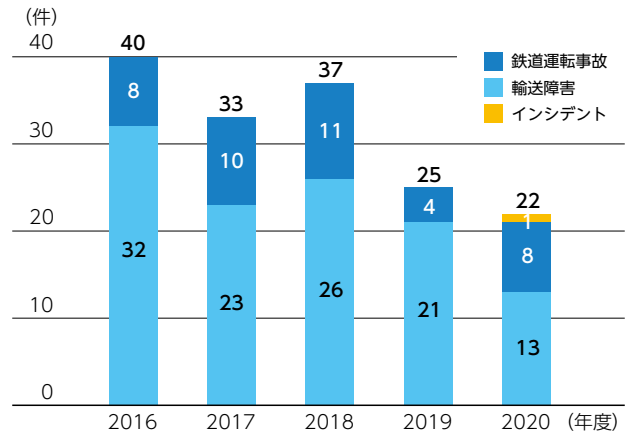
「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

#### ■ 輸送障害とは

鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

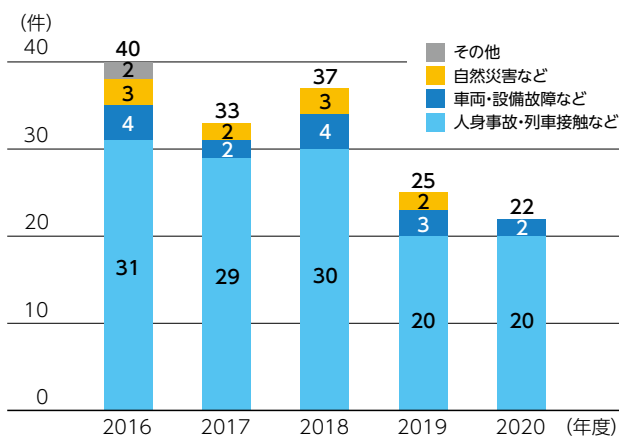
#### ■ インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。



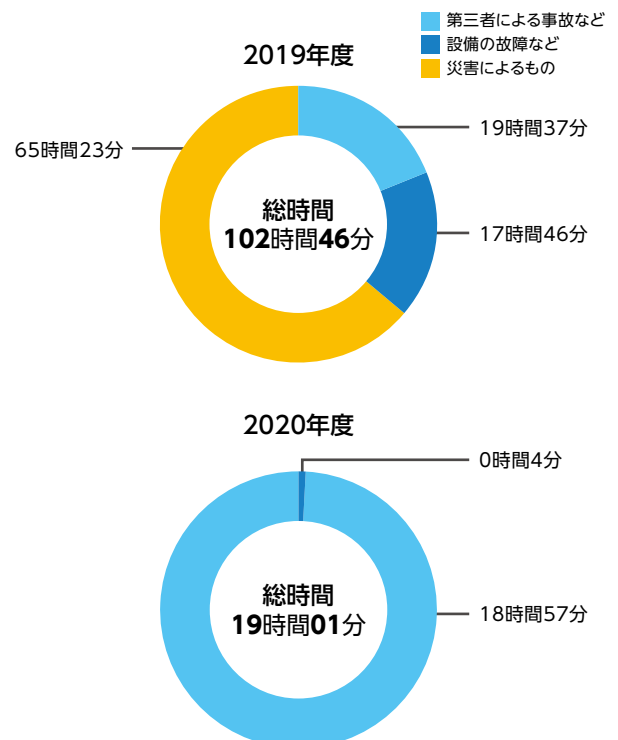
### 鉄道運転事故などの発生原因(2016年度～2020年度)

2020年度は、駅や踏切道での人身事故や列車との接触などが20件発生しました。また、車両故障などが2件発生しました。



### 鉄道運転事故などに伴う運転見合わせ時間

2020年度の運転見合わせ総時間は、自然災害などの影響が無かったため、対前年度で83時間45分の減少となりました。



## 2020年度に発生したトラブルおよびその後の対処

### 【インシデント】京王線9000系車両台車き裂

【発生日時】 2020年4月20日(月) 11時30分

【発生場所】 高幡不動車両基地

【発生事象】

- 列車検査中に台車接合部2箇所なき裂および漏気の発生を発見
- 浸透探傷検査により55mmと140mmのき裂を確認

※100mmを超えるき裂はインシデントに該当

【原因】

- 振動・応力測定および破壊調査の結果から、設計時の想定を超える応力が生じたことによる、疲労き裂と推定

【暫定対策】

- 同構造の台車について、目視点検および浸透探傷検査を実施
- より厳密な検査のため製造メーカーと共同で磁粉探傷検査を当該箇所を実施
- 月検査時に漏気検査を継続実施
- 9000系車両による全線での振動・応力測定試運転を実施

【恒久対策】

- 振動・応力測定結果をもとに、き裂発生箇所に肉盛り溶接とグラインダ仕上げの追加による改修を実施



当該台車



き裂発生箇所



恒久対策実施箇所



## 2021年度 安全目標・安全重点施策

### 2021年度 安全目標

- (1) 有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

### 2021年度 安全重点施策

1. 新型コロナウイルス感染症対策
  - (1) 社員とお客様の感染防止対策を徹底
  - (2) 危機管理体制の維持・強化
2. 事故・テロ防止施策
  - (1) ホーム転落・踏切でのトラブル対策の推進
  - (2) 事故災害やテロ行為などへの備えを強化
3. 大規模イベントへの体制整備と輸送遂行
  - (1) 大会期間中の安全・安定輸送を遂行
4. 自然災害・危機管理
  - (1) 安全確保および施設の機能維持に向けた対応の推進
  - (2) 自治体への情報提供など行政との連携強化の推進
5. 安全意識の高揚、人材育成・活用
  - (1) 内部監査の充実、ヒヤリ・ハットの収集活用
  - (2) 安全教育受講体制の拡充および事故防止力向上
6. 大規模工事の推進
  - (1) 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進
7. 減災対策
  - (1) 建造物の耐震補強工事の継続実施
  - (2) 設備更新の継続および防雷設備整備
8. ホーム安全対策
  - (1) 下北沢駅のホームドア整備、段差隙間対策の実施
  - (2) 注意喚起ラインの全駅整備完了

### ! topics

#### ■ 安全性向上に向けた職場活動

各職場で安全性向上や業務改善のために社員がグループで活動しており、井の頭線の運転士や車掌として乗務する子育て世代の若手社員6人のグループでは、安心して電車をご利用いただけるように、乗務中の経験をもとに「ベビーカーの安全な乗り降り」についてポスターを作成しました。

ベビーカーをご利用のお客様の目に留まるように、エレベーターに掲出したところ、Twitter上で多くの反響があり、ニュースでも取り上げられました。





# 人材の育成

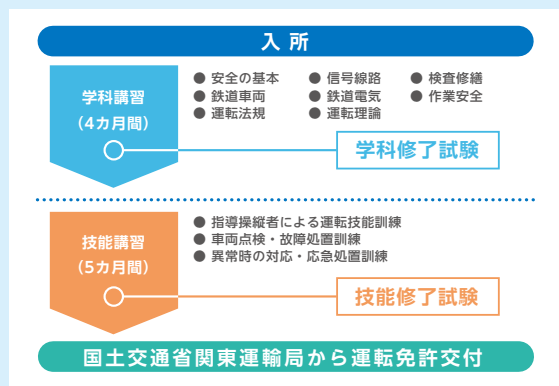
「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて、教育訓練を行っています。

## 乗務員の養成と技能の維持・向上

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として、運転士に必要な知識・技能の教育を行っています。あわせて車掌の養成教育を行っています。

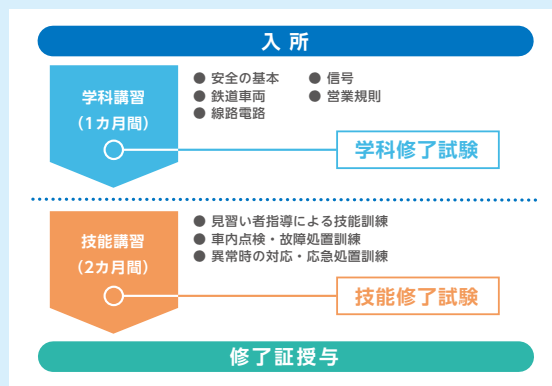
### 運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約9カ月間受けて、試験に合格する必要があります。



### 車掌の養成

車掌になるためには、駅係員を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約3カ月間受けて、試験に合格する必要があります。



### 乗務員の技能の維持・向上

運転士・車掌になった後もフォロー教育や監督者による定期的な添乗指導のほか、各職場での勉強会や、個別の面談による指導を通じて、知識・技能の維持・向上を図っています。



シミュレーターによる運転士訓練



シミュレーターによる車掌訓練

### VOICE

#### 高い安全意識を持った人材を育成します

安全推進部  
鉄道教習所教師  
**鈴木 正悟**



乗務員養成では、安全意識の高い人材を育てるため、教本だけでなく、過去の鉄道事故事例や実物教材などを用いて知識・技能を習得させ、乗務員としての職責の重要性を伝えています。また、経験年数に応じて継続的な教育を行うことで、乗務員の知識や技能のさらなる向上が図れるよう、教師が一丸となり取り組んでいます。



## 乗務員の体調管理

乗務開始前に、監督者により健康状態を確認するほか、アルコールチェックを徹底しています。また、定期的に健康診断や適性検査を実施しています。



監督者による点呼



アルコールチェック

## 駅係員・技術員の教育

駅に設置されている安全設備を再現したホーム訓練室や信号扱い訓練室、架線や踏切保安設備を再現した屋外訓練施設を使用し異常時における対応力の強化に向けた訓練を行っています。



信号扱い訓練



屋外訓練施設

## 競技会・講習会

車内アナウンスやお客様案内といった車掌の業務、運転士の運転技能、設備の復旧など技能レベル向上を目的とした競技会や技術継承を目的とした講習会、保守管理を委託する協力会社との勉強会などを行っています。



運転技能競技会



技能継承の講義

## 安全文化の構築

社員の安全意識のさらなる高揚を目指して、「安全啓発室」のリニューアルや、専門家・ベテラン社員による講演会、鉄道部門以外の社員を対象とした安全講習会などを開催しています。

### 安全啓発室

過去の鉄道事故やインシデントについて、デジタルサイネージを活用し、事故の経緯や原因などを学ぶことができます。鉄道事故の悲惨さを実感することで、一人ひとりが考え、行動につなげることを目指しています。乗務員養成教育や新入社員教育をはじめ、各種教育・訓練に活用することで社員の安全意識のさらなる高揚を図っています。



最新の事故・災害事例を用いた教育



受講後に「安全に向けた誓い」を記入したカードを提出

### 小集団活動発表会

毎年、各職場で取り組んでいる安全性向上や業務改善活動の発表会を開催し、社員の改善意欲を高揚させながら、業務の継続的改善を行っています。



職場の代表者による発表



新型コロナウイルス対策のためリモートによる開催

#### ◎ 活動事例「避難誘導マップの作成」

大規模地震により駅間で停車した際に、お客様を最寄りの避難場所まで速やかにご案内できるように、乗務員が携帯しているタブレット端末（運行情報の確認やご案内用）の地図に最寄りの踏切から避難場所への経路が表示できる機能や外国語でのご案内に対応する機能を追加し、非常時への対応を強化しました。







## 安全講演会

安全意識の高揚を目的として、毎年開催しています。2020年度は、早稲田大学 理工学術院 創造理工学部の小松原 明哲氏をお招きし、「人が守る安全を考えるー安全マネジメントの視点から」をテーマにご講演いただきました。



小松原 明哲氏によるご講演の様子

## 京王失敗学会

当社のベテラン社員やOBが、過去に体験した事故やヒヤリ・ハット、またそこから学んだ教訓を自ら語ることで、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を開催しています。



OBによる失敗体験の発表の様子

## 鉄道安全川柳

安全への取り組みや思いを広く伝えるものを全社員から川柳形式で募集、入賞作品をポスター化しています。



## 鉄道部門以外の社員への働きかけ

大規模な災害や事故が発生した場合に、鉄道部門以外の社員が駅などでお客様のご案内を行う体制を整備しています。「応援者活動用ワッペン」「応援者対応ツール」などを使用した応援方法のガイダンスを実施しているほか、グループ会社も含めた安全講習会を定期的開催しています。



鉄道教習所での安全講習会の様子

## 危機に備えた訓練

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、さまざまな訓練を通じて、事故・災害への対処能力を高めています。

### 大規模な訓練

地震や踏切での自動車との接触による脱線など重大事故を想定した訓練を毎年行っています。2次災害を防止する「列車防護」や通報・連絡などの初動対応、警察や消防と連携した負傷者の救出やお客様の避難誘導の確認のほか、脱線車両や電気・通信設備、線路などの復旧訓練も実施しています。



列車防護



負傷者の救出



線路の復旧



脱線車両の復旧

#### VOICE

#### 教育・訓練を積み重ね 安全確保を進めます

鉄道営業部  
富士見ヶ丘乗務区車掌

鈴木 昭彦



当社では、定期的な鉄道従事員省令教育、総合事故復旧訓練など、多岐にわたる危機に備えた勉強会および訓練を行っており、その危機がいつ自分の身に起きた時でも対処できるよう、日々イメージとトレーニングを共有し合っています。

これは「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである。」という安全に関する基本方針のとおり、明日への安心・安全に向けての一貫した取り組みになります。





## そのほかの訓練

### ▶ 指令本部設置訓練

自然災害発生時の体制構築および本社対策本部、現業部門との連絡体制確認の目的で実施しています。



### ▶ 車両疎開訓練

河川氾濫時の車両基地浸水に備え、終電後に車両を各駅に疎開させる訓練を実施しています。



### ▶ 人身事故対応訓練

警察や消防と合同で人身事故発生時の取扱いや避難誘導の訓練を行っています。



### ▶ 地下駅避難誘導訓練

地下駅での火災発生時の排煙・防煙装置の操作方法や避難はしごの使用の確認訓練を実施しています。



### ▶ マルチプルタイタンパー応急復旧訓練

京王線の道床つき固めを行うマルチプルタイタンパーの故障を想定し、応急復旧訓練を実施しています。



### ▶ トロリ線復旧訓練

工具の適切な使用方法や作業上の注意点を習得する目的で実施しています。





## 施設・設備の取り組み

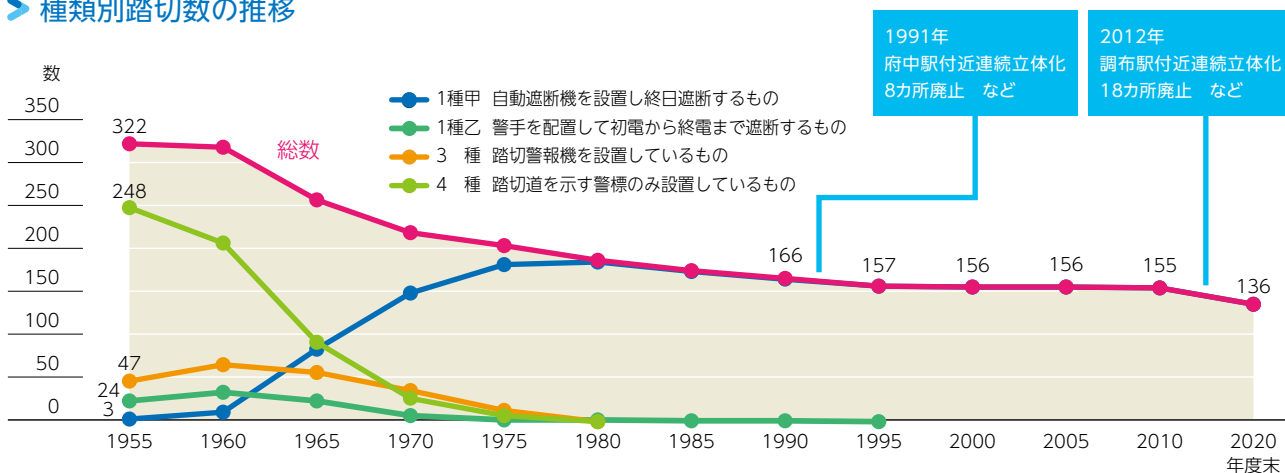
笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差化の推進をはじめ、ホーム・踏切への安全設備の増強、お客様への運行情報提供も含めた運行管理機能のさらなる充実を図っています。

### 立体交差化

運転保安の向上のため、線路と道路の立体交差化や踏切の整理統合を行ってきました。特に連続立体交差化については1964年の京王線新宿駅～初台駅間の地下化を皮切りに、複数の箇所で開催を実施し、直近では2012年8月に調布駅付近を地下化しました。この結果、踏切数は1955年度末の322カ所から2020年度末で136カ所に減少しています。

※連続立体交差事業:2カ所以上の幹線道路を含む多くの道路と鉄道を連続的に立体化するものであり、道路整備の一環として施行する都市計画事業です。

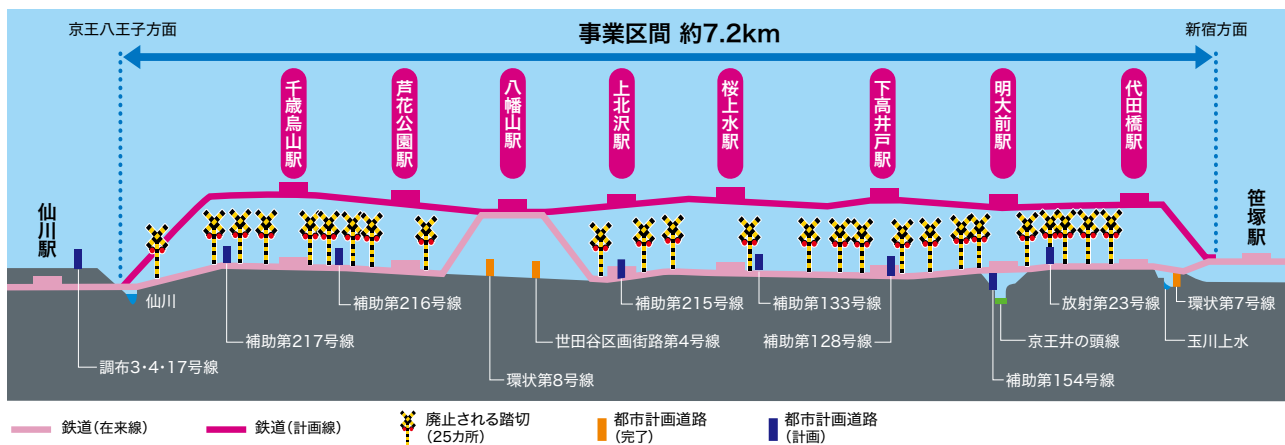
#### 種類別踏切数の推移



#### 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

事業主体である東京都と協力し、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を実施しています。2014年2月、国土交通省から都市計画事業の認可を取得し、用地取得や設計業務などを進めているほか、一部工区において工事に着手しました。

この事業の完成により、笹塚駅～仙川駅間の約7.2kmを高架化し、25カ所の踏切を廃止するとともに、放射第23号線(井ノ頭通り)などの立体交差化を図ります。





9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを



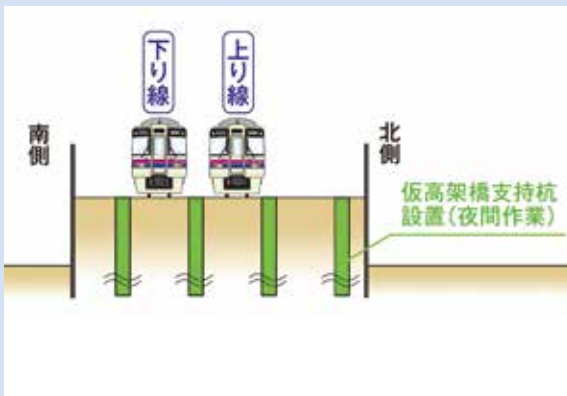
## ! topics

### ■ 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の進捗状況

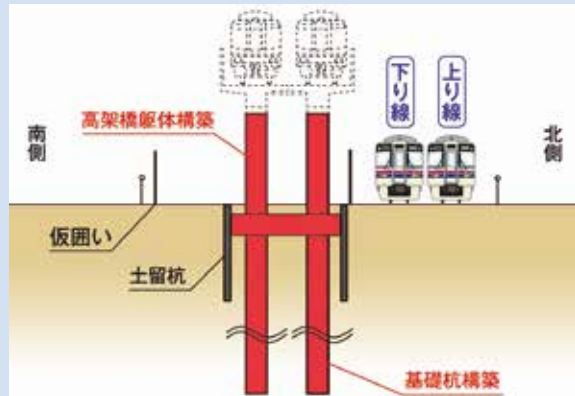
2018年10月から工事に着手していた「笹塚駅側取付部・代田橋駅付近」「明大前駅付近」「芦花公園駅付近」「仙川駅側取付部」に加え、2021年4月から「下高井戸駅付近」「桜上水駅付近」でも工事が始まりました。

「明大前駅付近」では今年度より高架橋躯体の構築を進めています。

また、「笹塚駅側取付部」では仮線工事の準備として、仮高架橋(工事桁)支持杭の設置を行っています。



笹塚駅側取付部断面図



代田橋駅～明大前駅付近断面図



仮高架橋(工事桁)支持杭設置箇所



高架橋構築箇所

## VOICE

安全と生活を第一に  
着実に工事を進めます

工務部  
連続立体交差工事事務所技術員

金田 拓磨



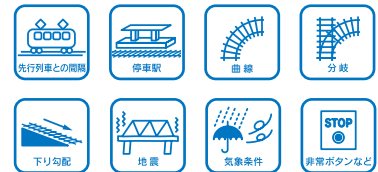
線路と近接した工事となるため、列車の安全運行を第一に考え施工を進めています。また低騒音低振動型の車両を採用することで工事周辺箇所にお住まいの方々の生活環境の保持に努めています。今後も列車の安全と近隣にお住まいの方々の生活を第一に考えながら高架化による道路交通の円滑化を目指し、事業を進めてまいります。

## ATC(自動列車制御装置)

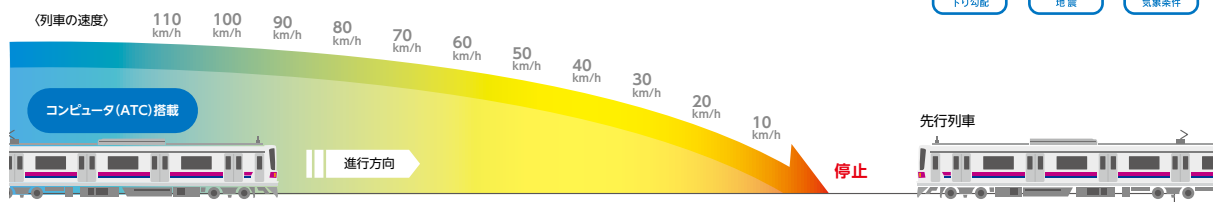
従来のATS(自動列車停止装置)に比べてさらに安全性の高いATC(自動列車制御装置)を2013年3月から当社全線で使用しています。

車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるよう、列車を制御します。

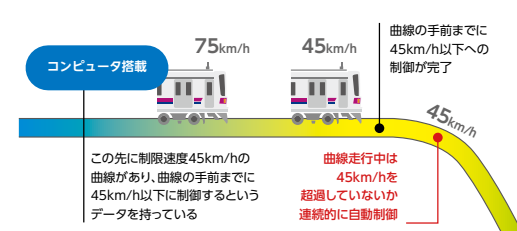
### ■ ATCで列車を制御できる主なケース



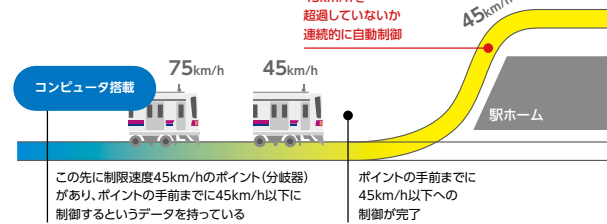
### ■ ATCによる列車制御のイメージ



### ■ 曲線通過の場合



### ■ ポイント通過の場合



## 鉄道総合指令センター

免震構造となっている鉄道総合指令センターには、列車の運行などを管理する運輸指令所と、電力の供給を管理する電力指令所の機能が集約されています。平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

### ▶ 運輸指令所

列車の運行を円滑に行うため、TTC(列車運行管理システム)により、進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅の「お客さま案内ディスプレイ」や「車内案内表示器」などを通じて、一括してお客様に最新の情報をご案内しています。



### ▶ 電力指令所

列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の設備に切り替え、列車の運行への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。







## 鉄道運行情報の提供

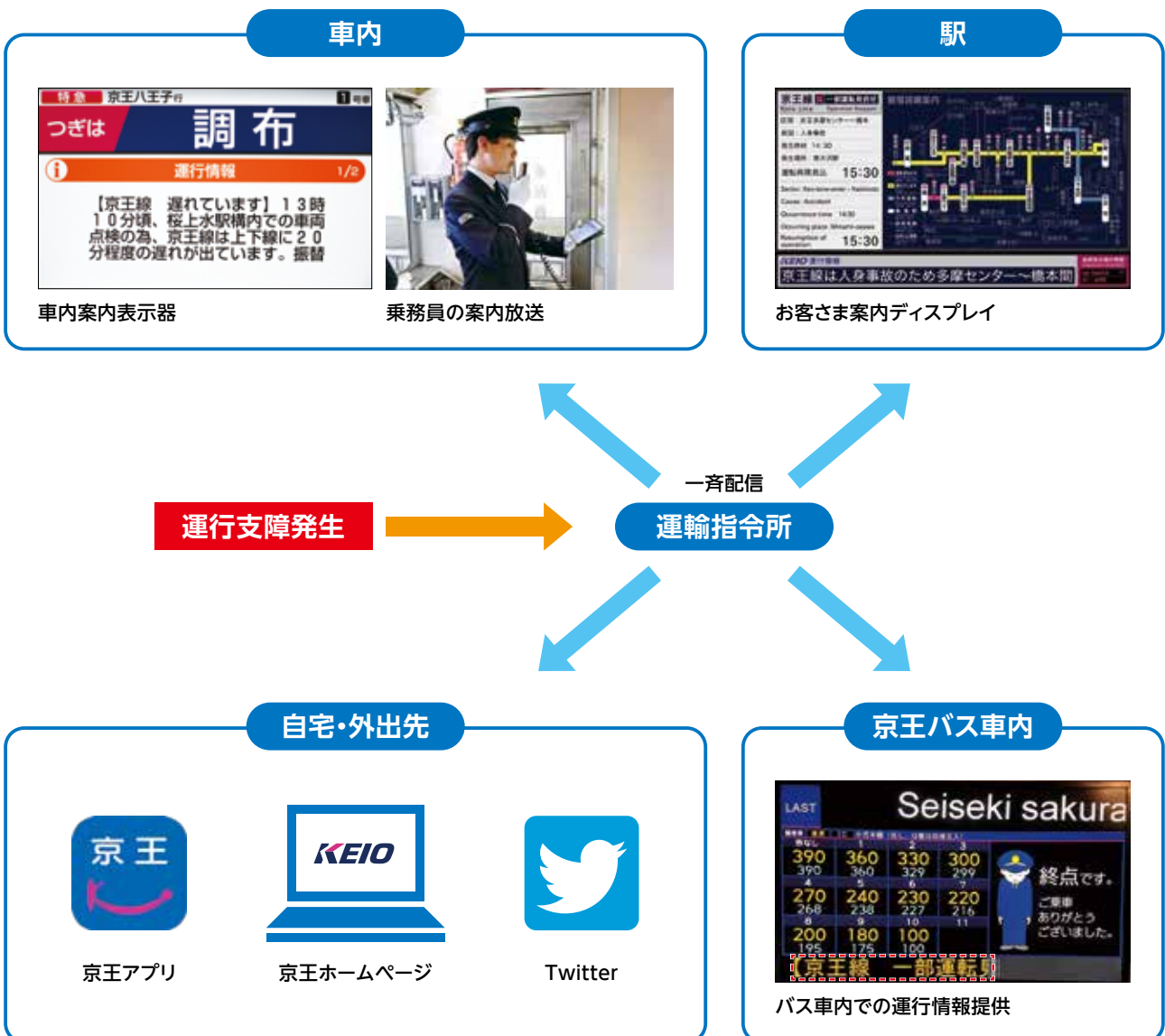
列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・路線図・音声などで、鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内盤」、車内に設置の「案内表示器」のほか、「京王アプリ」「Twitter」での情報提供を行っています。

路線図については、改札付近に設置している「お客さま案内ディスプレイ」および「京王ホームページ」にて提供しているほか、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全駅で放送しています。

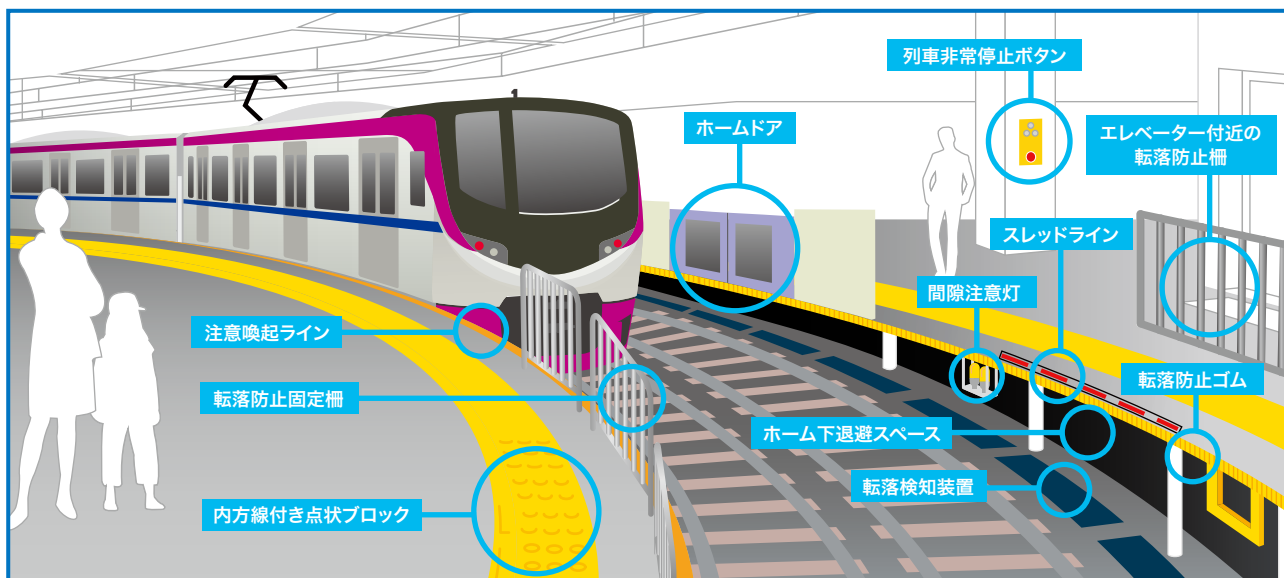
これらの情報の一部については多言語（英語・中国語・韓国語）によるご案内も行っています。

異常時などは、車掌が運輸指令所からの連絡やタブレット端末を活用して、お客様に必要な情報をよりスムーズにご案内できるよう努めています。また、京王バス車内でも鉄道の運行情報を提供しています。



## ホームの安全対策

ホームでの安全を確保するため、さまざまな対策に取り組んでいます。



### ▶ ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、ホームドアを設置しています。2020年度は飛田給駅1番線で使用を開始しました。今後下北沢駅、笹塚駅においても整備を計画しています。



飛田給駅1番線

### ▶ 転落防止固定柵

お客様のホームからの転落防止を目的として、終端部や狭隘部のほか、乗客が滞留する駅などのホームの一部に固定柵を設置しています。



仙川駅1番線

### ■ ホームドア設置完了年度

年度	駅名
2012年度	調布駅、布田駅、国領駅
2013年度	新宿駅
2015年度	吉祥寺駅
2018年度	新線新宿駅、渋谷駅
2020年度	飛田給駅



### ▶ 転落防止ゴム

車両とホームとの間が広く空いている駅では、お客様が乗降の際に転落しないよう、隙間を狭くするための転落防止ゴムの設置を進めています。



### ▶ 列車非常停止ボタン

お客様がホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで接近する列車の乗務員や駅係員などに異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。全駅のホームに設置しています。



### ▶ 転落検知装置

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いている箇所がある14駅に設置しています。お客様がホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、乗務員や駅係員に知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。



### ▶ 間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いている箇所がある12駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯



スレッドライン

### ▶ ホーム下退避スペース・ステップ

お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下に退避スペースを整備しています。また、退避スペースのない箇所には、ホームに上がりやすくなるためのステップを設置しています。



ホーム下退避スペース



ホーム下ステップ

### ▶ 注意喚起ライン・内方線付き点状ブロック

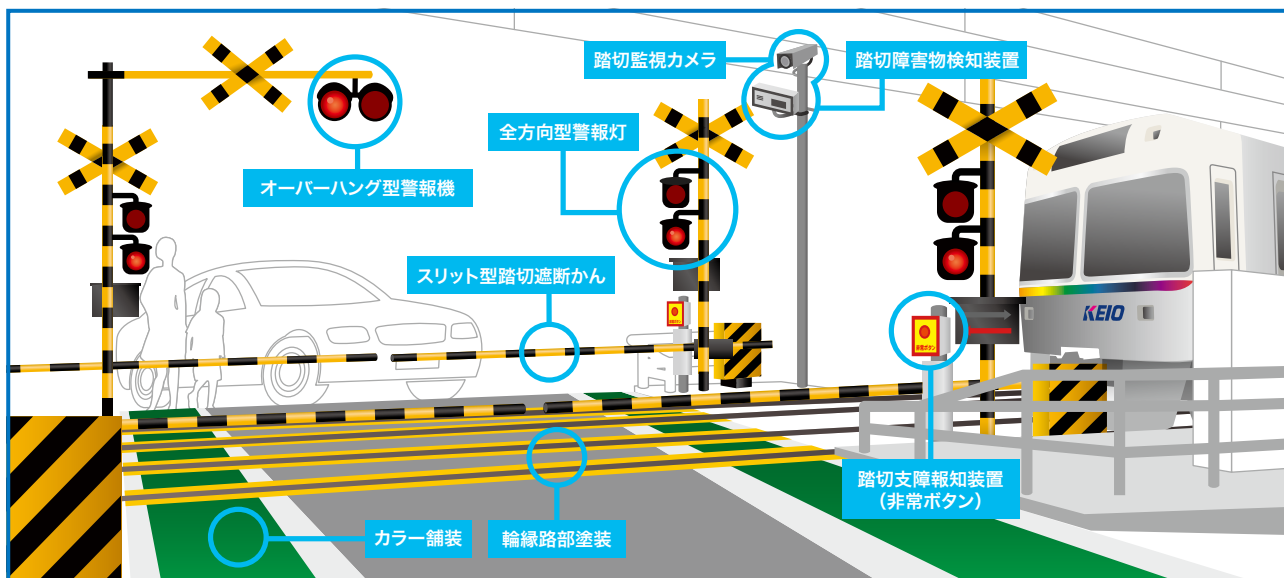
線路への転落や、列車への触車防止を図るため、ホーム端をオレンジ色に塗装し、注意喚起を行っているほか、目の不自由なお客様の転落防止対策として、ホーム縁端部にある警告ブロックにホームの内側を示す内方線を整備しています。





## 踏切の安全対策

踏切での安全を確保するため、各種保安装置を設置しています。



### ▶ 踏切支障報知装置 (非常ボタン)

列車との接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に設置しています。踏切内に自動車や歩行者が閉じ込められた時に、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。また、一部の踏切には、渡りきれずに閉じ込められた場合に、踏切内から操作できる非常ボタンも設置しています。



踏切支障報知装置 (非常ボタン)



踏切内の踏切支障報知装置 (非常ボタン)

### ▶ 踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、89カ所の踏切に設置しています。踏切内に何らかの障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。従来の光線式より高い精度で検知できる高機能型 (エリア検知式) への更新を進めています。



二次元レーザレーダ式障害物検知装置



三次元レーザレーダ式障害物検知装置



### ▶ スリット型踏切遮断かん

自動車などによる折損を防止するため、屈折可能なスリット型踏切遮断かんを一部の踏切に導入しています。



### ▶ 踏切監視カメラ

踏切事故の防止や、事故発生時などの状況確認を行うため、踏切に監視カメラの設置を進めています。



### ▶ カラー舗装

踏切の歩道部分へカラー舗装を行うほか、線路間にスペースがある箇所では、立ち止まり禁止を明示し、事故防止を図っています。



### ▶ 全方向型警報灯・オーバーハング型警報機

どの角度からも点滅が確認できる全方向型警報灯の導入を進めています。また一部の踏切には道路上の高い位置に警報機を設置しています。



### ▶ 輪縁路部塗装

自転車などの車輪が線路の溝に落ちることを防止するため、輪縁路部を塗装し、注意喚起を図っています。



### ▶ 注意喚起看板の更新

踏切内での立ち止まり禁止や、う回路のご案内などわかりやすい看板への更新を進めています。



## 車両の安全対策

### ▶ 防護無線装置

列車の脱線や踏切内での立ち往生などにより、列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員が乗務員室にあるボタンを押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した他の列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



### ▶ 避難はしご

万一、事故などが発生した場合、お客様を車外に避難誘導するため、非常用の避難はしごを搭載しています。



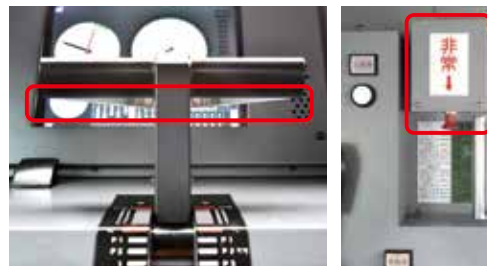
### ▶ 車内防犯カメラ

テロ行為などの未然防止や、車内での迷惑行為などを鑑み、一部の車両に防犯カメラを設置しています。なお、映像データは社内規程に則り、厳正に管理しています。



### ▶ 車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を搭載しています。



運転士異常時列車停止装置

車掌非常スイッチ

### ▶ 非常通報装置

車内の異常を乗務員に知らせる装置を全車両に設置しています。また、一部の車両では、乗務員と直接通話ができる非常通報器を設置しています。



### ▶ 前方監視カメラ

事故や列車運行に対する妨害行為などが発生した際の状況確認および原因究明を目的として、前方監視カメラを設置しています。







## 駅の安全対策

### 防犯カメラ

駅構内の状況確認や犯罪行為などの抑止を目的として、全駅に防犯カメラを設置し、駅、本社、鉄道総合指令センターにおいて常時確認することができます。



### 地下駅火災対策

地下駅では複数の避難経路を確保するほか、新宿駅において排煙設備および防火区画の設置工事を行うなど、火災対策を行っています。



幡ヶ谷駅の避難通路

### 駅係員呼出インターホン

ホーム上で不審者や不審物を発見したとき、また具合の悪いお客様を見かけた際などに駅係員に連絡することができます。



### 避難経路図

火災や震災時などの避難誘導のため、駅構内に避難経路図を表示しています。地下駅については蓄光タイプのパネルにより、暗所でも確認できるものになっています。



## 脱線防止対策

### 脱線防止ガード

半径300m以下の曲線に設置しています。また、一部のポイント(分岐器)や踏切にも設置しています。



### PQモニタリング台車(京王線)

車輪がレールを押す力の比(脱線係数Q/P)を測定し、営業運転で脱線の危険性を常時監視しています。



## 日々の保守管理

車両や施設、軌道、設備などについて、計画的な保守管理を行うことで、日々の鉄道の安全運行を支えています。

### 車両

列車を安全に運行するために定期検査を行っています。日常的な検査は検車区（京王線は若葉台・高幡不動、井の頭線は富士見ヶ丘）で実施し、大規模な検査と修理は若葉台工場で実施しています。

#### ▶ 若葉台工場

4年または走行距離が60万kmを超えない期間に行う「重要部検査」、8年を超えない期間に行う「全般検査」のほか、大規模な修理やリニューアル工事を行っています。



車体吊り上げ

#### ▶ 検車区

10日を超えない期間に行う「列車検査」や、3カ月を超えない期間に行う「月検査」のほか、臨時の小規模な修理や車両の清掃を行っています。また、若葉台検車区では床下型車輪旋盤装置による車輪の削正を実施し、静かで乗り心地のよい車両を維持しています。



車輪の削正

### 電気設備

変電所・架線・運転保安設備・踏切などの電気設備については、計画的な検査を実施しているほか、点検結果に基づき補修・交換を行っています。



踏切保安設備の点検



変電所の点検



## 軌道

日中に総合高速検測車や測定機器を用いたさまざまな点検を行い、終電後には点検結果に基づき、軌道のゆがみの整正や各種部品の交換などを行っています。京王線の道床つき固めにはマルチプルタイタンパーという大型の作業車を使用しています。



マルチプルタイタンパー



道床のつき固め

## 構造物

高架橋・トンネル・橋梁・擁壁などの構造物については、定期的に目視検査や打音検査を実施するとともに、必要に応じて補修工事を実施しています。



トンネル天井部の点検



橋梁の点検

## 総合高速検測車

実際の列車と同じ速度で走行しながら、架線と軌道の状況を同時に検測することができる総合高速検測車を京王線に導入しています。検測で得られたデータを保守計画に反映し、安全性・乗り心地の向上を図っています。



総合高速検測車



総合高速検測車車内

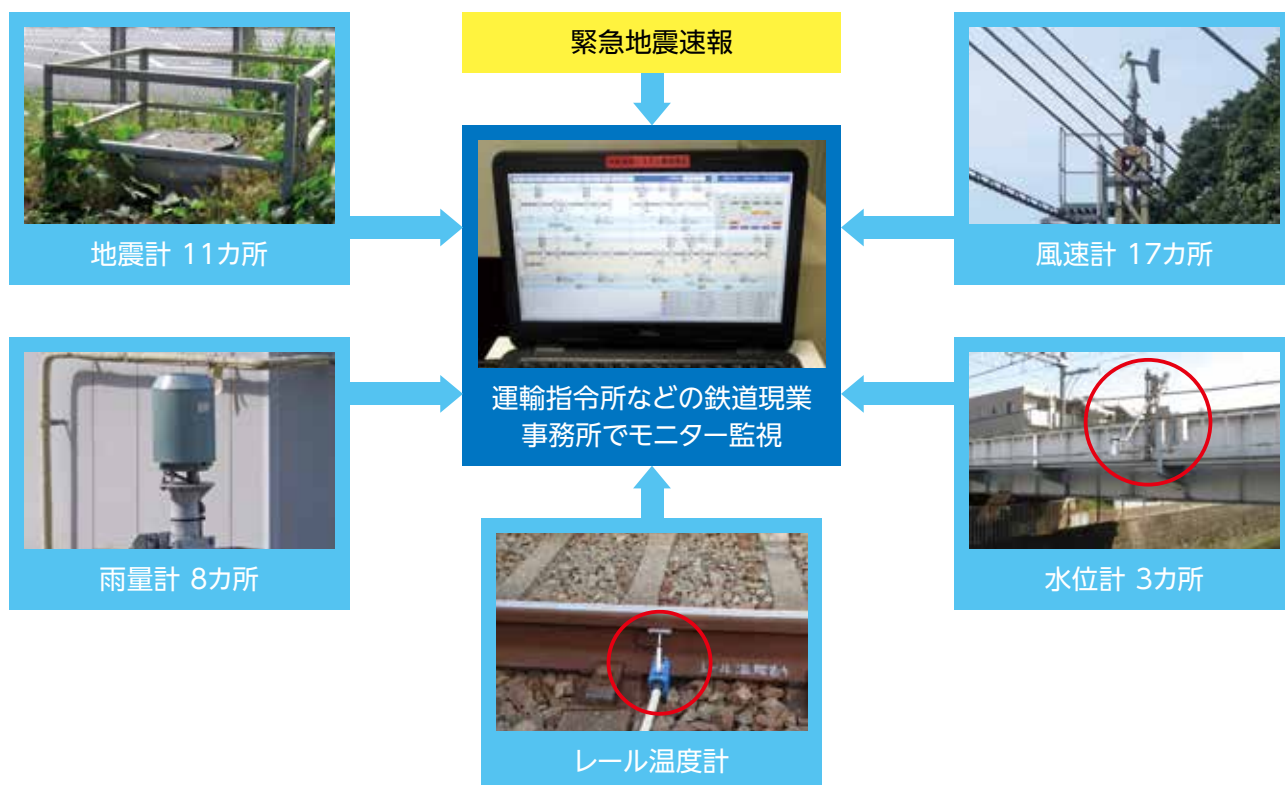


## 災害などへの備え

激甚化する自然災害などに対して、監視体制を構築しているほか、耐震補強工事などの施設改良を推進しています。

### 気象情報システム

自然災害などに迅速に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計・レール温度計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視するとともに規定値超過による運転規制や点検巡回の実施状況もモニターに表示されます。



### 地震への備え

沿線の地震計で、一定以上の震度を感知すると、全列車に警報を送り、列車を停止させます。さらに、気象庁の「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の地震発生が想定される場合、自動的に全列車に警報を送り、乗務員が列車を安全な場所に停止させます。また、新たな耐震基準に適合した構造物とするため、橋梁、盛土区間や高架橋柱、トンネルを対象とした耐震補強を実施しています。



耐震補強を実施した高架橋柱



耐震補強を実施したトンネル



## 大雨への備え

沿線に設置した雨量計や水位計の観測データに加えて、気象情報会社から提供される解析雨量のデータを活用しています。観測された時間雨量、累積雨量に応じて、速度規制、運転中止の基準を定めています。また、線路脇斜面の改修工事や施設の浸水対策を進めています。



法面改修(北野駅～京王片倉駅間)



変電所の止水板

## 強風への備え

高架橋や橋梁などに風速計を設置しています。観測された瞬間風速に応じた速度規制、運転中止の基準を定めています。また、井の頭線に防風柵を設置しました。



防風柵(池ノ上駅～下北沢駅間)

## 落雷への備え

き電線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線を必要な箇所へ設置完了したほか、電子機器の耐雷性強化を図っています。



架空地線

### VOICE

#### 災害発生を想定した訓練を行っています

車両電気部  
通信管理所 技術掛

高藤 俊充



近年激甚傾向にある異常気象に対応するため、気象情報システムの更新を行い、非常時には速やかに運転規制・巡回・情報共有を行える環境を構築しました。また、災害発生を想定した情報連絡訓練を都度行っています。

有事の際には部署・職位の垣根を越えて、鉄道の安全を守るために全力を尽くすとともに、仲間の安全も最優先に考えて行動してまいります。

## 降雪対策

着雪面の少ないシングルアームパンタグラフの採用や車両基地などの架線には着雪・着氷を防止するため、ヒーターを内蔵した電線を使用しています。

また、主要なポイント(分岐器)には電気融雪機や融雪能力の高い温水式融雪機を導入しています。



シングルアームパンタグラフ



温水式融雪機

## 降灰対策

富士山をはじめとする火山の噴火に備え、線路上に積もった火山灰を除去するカートを導入しています。また、沿線の拠点に除灰用の備品を配備しています。



除灰カート

## 事業継続計画(BCP)の制定と改善

大規模地震などの災害発生時、お客様や社員の安全確保を最優先に、迅速な被害調査や早期の運転再開が行えるように事業継続計画を定めています。計画に基づき訓練の実施や備蓄を行っているほか、定期的に計画の改善を図っています。



事業継続計画に基づく訓練の様子



各拠点に設置の防災備蓄倉庫

## 帰宅困難者対策

大規模災害などにより、帰宅が困難になったお客様への対応として、全駅に備蓄品(飲料水、救急シートなど)を配備しています。





## その他の取り組み

11 住み続けられるまちづくりを



お客様に安心してご利用いただけるよう係員の知識・技能の向上に努めているほか、さまざまな安全啓発活動を通じて、事故防止の取り組みを行っています。

## 鉄道テロ対策

全駅のゴミ箱を撤去しているほか、防犯カメラの設置や駅係員、警備員の巡回により、不審者・不審物の早期発見に努めています。また、車両基地などへの侵入防止のために、防犯センサーの設置や警備員による巡回を実施しています。



テロ警戒を示すステッカー



関係機関との合同テロ対処訓練

## お客様サポートの充実

盲導犬を帯同したお客様や白杖を使用するお客様へのご案内や、接遇スキルを向上させるための講習会の実施など、障がいのあるお客様への接遇向上のためサービス介助士の資格取得を推進しています。



講習会の様子



有資格者の胸章

## 安全啓発活動

交通安全運動期間中に、踏切の無理な横断などをしないように呼びかけを行うほか、駅構内や高齢者施設・学校などを訪問し、安全な鉄道利用を呼びかけています。



踏切での啓発活動



高齢者施設での安全教室

## グループ会社の安全対策

### 運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、安全意識の向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。

## バス

### ▶ 安全装置の導入

#### ○ アイトラッカー（視線計測機）

京王電鉄バスグループでは、各種センサーやカメラを搭載したメガネサイズの機器を用い、運転中の視線を抽出して映像化する「アイトラッカー」を導入しています。

この機器を用いて運転時に見るべきポイントを見ているかを可視化し、確認の偏りやタイミングのずれを明確にすることで、安全確認技能の向上を図っています。



アイトラッカーを使用した訓練の様子



運転中の目線を可視化

#### ○ ドライブレコーダー・前方衝突防止補助装置

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、車内外に設置されたカメラとマイク（集音装置）により映像・音声情報を記録・再生するドライブレコーダーを全車両に導入しています。また、狭隘路を走行する車両に歩行者・自転車などを察知し、モニター表示と音で乗務員に知らせる前方衝突防止補助装置を設置しています。



ドライブレコーダー

#### ○ 側方衝突防止補助装置

2021年4月に運行を開始した連節バスの運転席には、安全確認するミラー以外に、常にバス車外の左右側方・後方室の車内の安全確認ができるように独立したモニターが3台あります。

その他にもバスの左右側方の危険を、モニター表示と音で乗務員に知らせる「側方衝突防止補助装置」を搭載しています。



側方衝突防止補助装置

### ▶ 事故の未然防止

#### ○ 乗務員の教育

京王電鉄バスグループでは、通常では体験できない運転上の危険などを体験する泊りがけの研修を行うなど、安全運転に対する意識の向上を図っています。西東京バスでは、全乗務員を対象に、社長懇談会、事故防止・接遇向上の座学研修、運転実技訓練の3部構成の定期研修を開催し、役員が会社方針の説明を行うほか社長が質疑応答を通じ全乗務員と直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。



運転実技訓練



## 高尾登山電鉄

高尾登山電鉄では、毎年2回、乗客の救助訓練を実施しています。ケーブルカーの夜間運行時や、リフトの急斜面、高所保護網上など、さまざまな状況下で運行不能となった場合を想定し、全社でトラブル発生時の初期対応、お客様の救助、山麓への避難誘導、負傷者の搬送などの訓練を行い、万が一の事態に備えています。



救助訓練の様子

## 御岳登山鉄道

御岳登山鉄道では、運輸安全マネジメントに基づく内部監査、経営トップによるパトロール、年2回の集合教育、旅客避難誘導訓練などを実施しています。

また、近年増加する自然災害リスクに対処するため、鉄道構造物健全度調査を行い、要対応箇所には落石防止対策などを実施しました。



旅客避難誘導訓練の様子

## タクシー

京王自動車グループでは「安全・安心」の取り組みとして、「安全運転支援システム」を導入し、IT会社との共同開発を続け、システムの改良を進めています。

また、年2回の現業説明会「くるま座」を開催し、本経営層と乗務員のリーダーで意見交換を図り、本社と営業所が一丸となって事故防止に努めています。



車庫内で一時停止の実技講習

## トラック

京王運輸では、2008年に全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100%(全5事業所)を達成しました(業界全体の取得率は30.2%)。

また、安全性優良事業所に10年間認定されたことにより、多摩営業所が2017年に関東運輸局長より表彰されました。



安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック



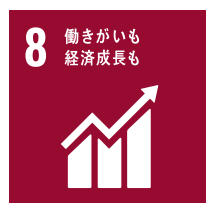
## 社会性報告

# 住んでもらえる、 選んでもらえる 沿線づくり

安心・快適で柔軟な働き方の実現に貢献するサテライトオフィスの運営や、日常の買い物に不便なお客様を対象に行う移動販売、社会のニーズに対応した京王タクシーの宅配サービスなど、地域社会の課題解決への取り組みを推進しています。事業活動を通じて社会的責任を果たすことで、沿線とともに成長し、より良い暮らしの実現に努力し続けます。

### CONTENTS

お客様の利便性・快適性の向上 . . . . .	P.62
お客様との対話 . . . . .	P.66
多世代が生活しやすい沿線づくり . . . . .	P.68
地域社会への貢献 . . . . .	P.70
株主・投資家・取引先等への取り組み . . . . .	P.73
人材の活用と働きやすい職場づくり . . . . .	P.74







KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前



移動販売



京王タクシー 宅配サービス





## 時代の変化に柔軟に対応し、さらなる魅力ある沿線づくりを推進し お客様の幸せな暮らしの実現に向け取り組んでいます。



取締役  
専務執行役員  
仲岡 一紀

会員制サテライトオフィス  
KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前

京王グループは、鉄道、バスをはじめとした、社会インフラを担う企業グループとして幅広い事業を通じ、将来にわたり安心・便利で魅力ある沿線づくりに取り組むことで、お客様に「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を推進しています。

2018年に働き方改革の推進と柔軟な働き方の実現に向けて、京王プラザホテル多摩内にて会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業、新型コロナウイルスの感染拡大や、先般のテレワーク需要の高まりを受けて、2021年には「KEIO BIZ PLAZA」を「ぶらりと京王府中」「京王八王子ショッピングセンター」「京王プラザホテル(新宿)」内にそれぞれ開業し、職住近接の実現や、安心・快適に仕事ができる環境を提供しています。また、多摩エリアにおけるMaaS(様々な移動手段を一元的に提供するサービス)の取り組み「TAMa-GO」では、商業施設等

との連携による事前決済・非接触利用が可能なWebチケットの販売や、タクシーによる相乗り型輸送サービスの提供に関する実証実験を行いました。

多世代が生活しやすい沿線づくりに向けては、子育ての支援に資する保育所の運営や移動販売など、それぞれの地域の課題解決に貢献する取り組みを積極的に推進しています。

一方、人材の活用と働きやすい職場づくりでは人権研修の実施や、ハラスメントの無い明るく活力のある職場を目指すため、新たに「ハラスメント防止指針」を制定するなど、多様な人材が長期にわたり活躍できる環境づくりを推進しています。

今後も、様々なステークホルダーの皆様の声に耳を傾け、一つひとつ課題を解決していくことで、地域社会の持続的な発展と幸せな暮らしの実現に貢献してまいります。

### 京王グループとステークホルダーのつながり

京王グループ行動規範に基づき、ステークホルダーの皆様に対して以下のような取り組みを進めます。

- お客様の利便性、快適性の向上
- 多世代が生活しやすい沿線づくり
- 地域社会・行政との連携
- 人材の活用と働きやすい職場づくり
- 株主・投資家・取引先等への取り組み
- お客様との対話
- 地域社会への貢献





**! topics**

### ■ 東京多摩エリアにおけるMaaSのサービス実施 沿線の皆様の生活利便性向上の実現に向けて 取り組みを推進します

デジタルを活用して交通や各種サービスをまとめて「ひとつのサービス」として提供するMaaSの取り組みとして、東京都が公募した「令和2年度MaaS社会実装モデル構築に関する実証事業」に採択され、2021年1月13日から2月28日まで東京多摩エリアにおいて実証実験を実施しました。

実証実験では、MaaSアプリ「TAMa-GO タマ・ゴー」を活用し、商業施設との連携による鉄道乗車券とお買物券をセットにした事前決済・非接触利用が可能なWebチケットの販売やタクシーによる相乗り型輸送サービスの運行など、生活の利便性向上の実現を目指したサービスを展開しました。

少子高齢化の進展やライフスタイルが多様化していく中で、沿線のお客様の「交通利便性の向上」と「生活利便性の向上」に資する施策とともに、エリアの魅力を発信することで、街の活力を高め、にぎわいのある街づくりにつなげていくことを目指します。



### ■ 会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」の運営 安心・快適に仕事ができる環境を提供する取り組みを進め、 柔軟な働き方の実現に貢献します

2018年10月より京王プラザホテル多摩2階にて、会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA 多摩センター」を運営しています。2021年3月には、お客様からのニーズが高かったブース席を中心にご用意し、「KEIO BIZ PLAZA 府中」、「KEIO BIZ PLAZA 京王八王子」を新たに開業しました。また、2021年5月には京王プラザホテル(新宿)内に「KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前」を開業し、ホテルの特性を活かした「安心・安全」「上質で落ち着いた」快適なワーキングステイを実現するための環境を提供しています。

入退会、施設予約手続きはオンラインシステムを導入しているため、非接触、非対面でいつでも手続きが可能で、新型コロナウイルスの感染拡大を受ける中、テレワークの場としても利用されており、職住近接や仕事と子育て・介護を両立する柔軟な働き方の実現に貢献しています。



KEIO BIZ PLAZA 京王八王子

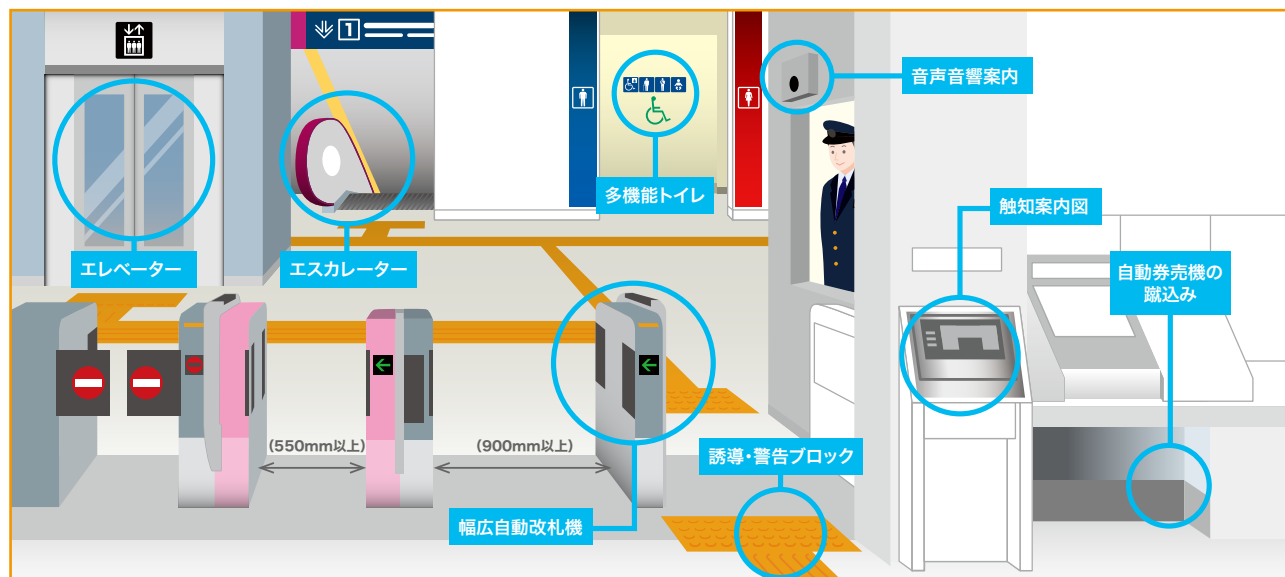


KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前

## お客様の利便性・快適性の向上

バリアフリー設備の整備や、外国語でのご案内を実施することで、すべてのお客様が安心して京王グループをご利用いただけるよう、サービスの拡充を進め快適性の向上を図ります。

### 駅サービスの向上



#### ➤ エレベーター・エスカレーター・スロープ

全駅の出入口から各ホームまで、段差がなく移動できるよう、エレベーターやスロープを設置しているほか、エスカレーターを設置しています。エレベーターは66駅、エスカレーターは47駅に設置しています。2020年度は新宿駅(京王新線口)改札外にエレベーターを新設したほか、新宿駅・仙川駅・京王八王子駅でエレベーターの更新、北野駅・南大沢駅でエスカレーターの更新を行いました。



新宿駅(京王新線口)エレベーター 北野駅エスカレーター

#### ➤ 幅広自動改札機

車いすをご利用のお客様や大きな荷物をお持ちのお客様などにご利用いただけるよう、通路幅を広くした自動改札機を68駅に設置しています。

#### ➤ 触知案内図・点字による案内

凹凸・点字・ピクトグラム(案内用図記号)を用いた案内図を全駅に設置しています。

#### ➤ お客様用トイレの環境改善

車いすをご利用のお客様や小さなお子様連れのお客様にも安心してご利用いただけるよう、「多機能トイレ」を68駅に設置しています。

また、お客様により快適にご利用いただけるよう、トイレの洋式便器化やリニューアルを進めており、2020年度は新宿駅(京王新線口)・平山城址公園駅でトイレのリニューアルを行いました。



京王新線口トイレ

平山城址公園駅トイレ

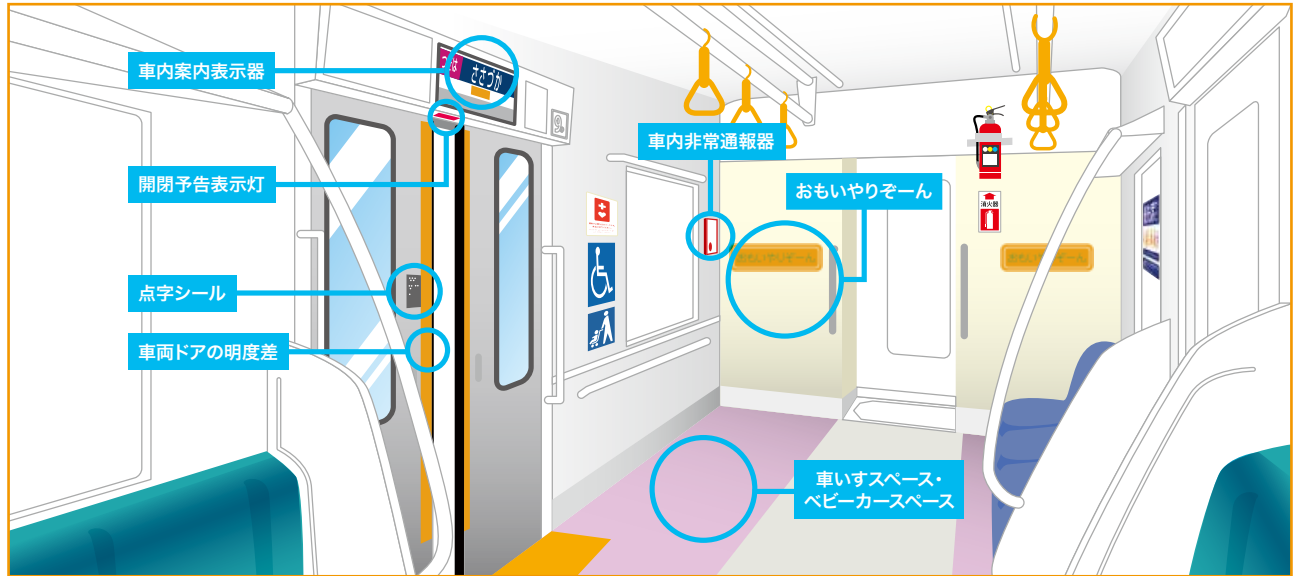
#### ➤ 駅係員呼出インターホン

ホーム上で緊急事態が発生した場合やご案内が必要な場合などに、駅係員と通話ができるインターホンを全駅に設置しています。





## 車内サービスの向上



### ▶ おもいやりゾーン

車内の優先席を明確化するため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりゾーン」を設置しています。「おもいやりゾーン」付近では混雑時に携帯電話の電源をお切りいただくようご案内するなど、人にやさしい車内環境の整備に努めています。

### ▶ 車両のリニューアル

車両はユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、すべてのお客様がご利用しやすい車内環境の整備を進めています。車いす・ベビーカースペースについては、全編成に設置しており、既存車両のリニューアルに合わせ、全車両に拡大します。2020年度は、京王線2編成(16両)、井の頭線2編成(10両)に整備しました。



ユニバーサルデザインによる車内の一例



車いす・ベビーカースペース

### ▶ 女性専用車

2000年に実施した試験導入の結果を踏まえて、2001年から平日23時以降に新宿駅を出発する急行系列車の最後部1両を女性専用車として運転を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客様のほか、小学生以下のお客様、身体の不自由なお客様とその介助者の方もご乗車いただけます。

### ▶ 車内案内表示器の2画面化

車内ドア上に液晶ディスプレイを2画面設置し、運行案内およびニュースや天気予報などのコンテンツ、交通広告を放映しています。2020年度は井の頭線2編成(10両)に設置し、井の頭線全編成での2画面化が完了しました。





## 駅・車内での情報提供

### ▶ 行先案内盤・お客さま案内ディスプレイ

列車の発車時刻や種別・行先・停車駅などを文字でお知らせする「行先案内盤」を全駅に設置しています。

また、事故や災害などで列車の運行に支障が発生した際には、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的に分かりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を全駅の改札口付近に設置しています。

「お客さま案内ディスプレイ」については、通常時の2カ国語表記(日・英)でのご案内のほか、一部の駅では4カ国語表記(日・英・中・韓)による異常時情報などを表示しています。



行先案内盤

### ▶ 京王アプリ

京王線・井の頭線の運行情報や列車の走行位置が確認できる京王アプリを配信しています。

2020年度には、列車の走行位置から各駅の到着時刻と編成両数を表示できるようにしたほか、列車の運行に支障が発生した際には「お客さま案内ディスプレイ」と同様の情報や、迂回路検索サービスへのリンクを表示できるように改修し、お客様への情報提供を強化しました。



### ▶ タブレット端末の導入

お客様に分かりやすいご案内をするため、列車の最新の運行状況を確認する機能のほか、翻訳・筆談などのアプリを搭載したタブレット端末を全駅に設置するとともに車掌が携帯しています。

### ▶ 外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、駅の看板や車内案内表示器などで4カ国語表記(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、日本語と英語による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。2020年度には井の頭線2編成に導入し、井の頭線全編成での整備が完了しました。

運行情報提供用  
二次元コード



### ▶ 駅・電車内での公衆無線LANサービス

無料Wi-Fiサービス「KEIO FREE Wi-Fi」を20駅3施設において日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語で提供しているほか、2017年9月に登場した5000系車両において「KEIO TRAIN FREE Wi-Fi」サービスを提供しています。

また、2019年から京王線・井の頭線全駅および列車内(一部の列車を除く)で、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスが提供する訪日外国人のお客様向けの無料Wi-Fi接続支援アプリ「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」での接続対応を開始しました。



公衆無線LANサービス



## グループの取り組み

### > バス

京王電鉄バスグループでは、聖蹟桜ヶ丘駅ターミナル等にバス乗降口と停留所間の段差や隙間を小さくする「バリアレス縁石」を設置しています。

これは、お客様からいただいた声が多かった「もう少しバス停に寄せて停めてほしい」という要望にお応えする取り組みで、今後も実証データなどを参考に自治体と協議しながら設置を進めていきます。



バリアレス縁石

### ! topics

#### ■ 西東京バス

##### ヤマト運輸と「客貨混載」の本格運行を開始

西東京バスはヤマト運輸と連携し2019年11月に東京都あきる野市と檜原村を結ぶ路線バスの区間で実証運行を行い、2020年12月から本格運行を開始しました。

また、この取り組みについて2020年11月に、バス事業者では関東で初めて、国土交通省から物流総合効率化法に基づく「総合効率化計画認定」を受けました。この制度は流通業務の総合化および効率化を図る事業として、環境負荷の低減および、省力化に資するものと認定を受け、行政等からの支援が行われる制度です。



### > サポートタクシーサービス

#### ◎ 民間救急タクシー「サポートCab」

東京消防庁の救命講習を受講した乗務員が、緊急性が低く症状の軽い患者を搬送する民間救急タクシーサービスです。一刻を争うような重症患者に少しでも早く救急車を回す目的で導入しています。

#### ◎ 送迎サービス

「はぴママサポートタクシー」は、東京防災救急協会のマタニティサポート講習を受講した乗務員による、妊娠中の外出時などにご利用いただけるサービスです。



マタニティサポート講習の様子

はぴママサポートタクシーロゴ

### > 京王すまいるサポートタクシー

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会環境の変化を踏まえ、2020年6月から、青梅市内のお客様を対象に、病院などへの付き添いや買い物代行サービスを行う「京王すまいるサポートタクシー」を行っています。これまでのタクシー業としての強みとノウハウを最大限に活用し、移動だけにとどまらない新たなサービスとして提供しています。



## お客様との対話

京王グループに対する理解を深めていただくため、さまざまな形でお客様との積極的な対話を行いながら、お客様からの声を事業活動にも反映させています。

### 積極的な広聴活動

#### ▶ 京王お客さまセンター

お客様からのご意見・ご要望をいただいています。

2020年度は23,537件の声を頂戴し、うち19,766件は鉄道に関するものでした。いただいた声に対しては、速やかに回答しているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用しています。

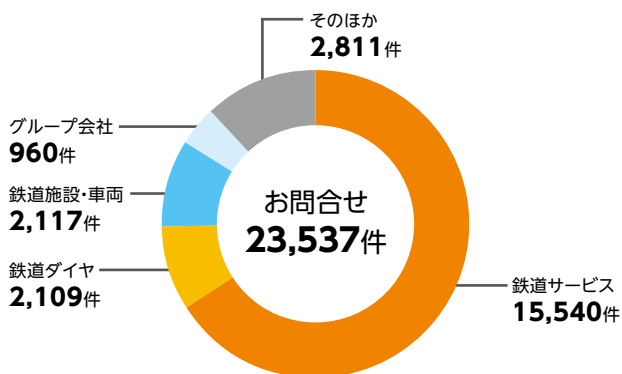
電話 042-357-6161

受付時間 9:00～18:00 年中無休(年末年始を除く)

#### ▶ 車内温度に関するご意見・ご要望

ご意見・ご要望が多い声の一つに、電車内の温度に関するものがあります。ホームページ上に投稿フォームをご用意し、詳細な状況を伺うことで、適切な温度管理に活用しています。

#### ■ お客様の声(2020年度)



#### ▶ お客様満足度調査

電車の運行・ダイヤや、係員・駅施設のサービスレベルなどについて、お客様満足度調査を定期的に行っています。京王お客さまセンターには寄せられない、潜在的なご意見を伺うことで、問題点の把握と改善に努めています。

### ホームページや冊子における多言語案内

#### ▶ ホームページ・Facebook

京王ホームページでは、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、フランス語、タイ語での情報案内をしています。また、2018年3月に中国語(繁体字)のFacebookを開始し、訪日リピーターの多い台湾・香港のお客様によりタイムリーな沿線情報の提供を行っています。



京王ホームページ(英語)

#### ▶ 各種案内パンフレット・動画

京王電鉄では、外国人のお客様に京王沿線の観光スポットを紹介する冊子や動画などを配布・公開しています。西東京バスでは、バスの乗降ポイントを英語、中国語、韓国語で解説する動画を制作し、YouTubeで公開しています。



沿線情報誌(英語・中国語・タイ語)



沿線紹介動画  
One Day Fun Day! Ride the Keio Line



西東京バス  
「バスの乗り方」動画





11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



## その他のコミュニケーション

### 交通教室

京王電鉄、京王電鉄バスグループ、西東京バスでは、地域の学校施設を訪問し、電車・バスの安全な利用の仕方やマナーについて動画などで分かりやすく授業を行っています。動画の教材は、京王ホームページやYouTubeなどでも公開しています。



授業の様子

けい太くん安全・マナー教室動画

## グループの取り組み

### 京王プラザホテル

新宿・多摩・八王子の3ホテルのWebサイト上で、AI（人工知能）を活用し、お客様からのお問合せに多言語（日・英・中〈簡・繁〉・韓）で自動的に対応するチャットボットサービスを運用しています。このサービスにより、海外のお客様からのお問合せに時差を超え、即時に多言語で対応することができます。簡単なお問合せはAIを活用し、自動対応ができない複雑なお問合せにはスタッフが対応することで、お客様へのサービス向上につなげています。

安全報告

社会性報告

環境報告

企業統治

## 新しい生活様式に対応した取り組み

### 新型コロナウイルスの感染対策に努め、より豊かな沿線の暮らしに向けたイベントの実施

#### 車両基地ミニツアー

京王れーランドにて、高幡不動車両基地に近いという立地を生かし、電車に乗ったまま車両基地を見学できるミニツアーを2020年度に実施しました。今回のツアーは、普段はなかなか味わうことのできない車両洗浄線の通過体験や、ピット内やDAX・モーターカーの見学、過去のヘッドマークとの記念撮影を楽しめる内容としました。

開催にあたっては新型コロナウイルス感染症対策として、開催回数の分割や入場時の検温・アルコール消毒、ツアー中のマスク着用と分散乗車のご協力をお願いしました。



ヘッドマーク記念撮影

#### 「ふくにわ」で皆既月食を観よう

京王リトナード永福町の屋上庭園「ふくにわ」にて、小学生のお子様とその保護者を対象とした皆既月食を観察するイベントを開催しました。

イベントではコスモプラネタリウム渋谷の解説員の永田美絵さんによる天体や皆既月食についての解説を交え、自然の摂理や自然環境保護について学ぶ機会を提供しました。

イベント当日は参加者への検温、体調管理チェックシートの事前提出、人と人との距離をとる工夫など、新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行いました。



永田美絵さんによる解説

## 多世代が生活しやすい沿線づくり

幅広い世代の方が生活しやすくなるよう、ライフスタイルに応じたサービスを提供することで、持続可能で住み続けられるまちづくりに貢献していきます。

### 子育て支援の取り組み

子育て世代へ幅広いサービスを提供し、子育てしやすい環境づくりを行っています。

#### ▶ 京王キッズプラッツ

認可保育所・東京都認証保育所・企業主導型保育所「京王キッズプラッツ」は、家庭的な雰囲気の中、お子様一人ひとりの発達や気持ちに寄り添い、豊かな成長をサポートします。



京王キッズプラッツ

#### ▶ 事業所内保育所「サクラさーくる」

多摩市の認可基準に基づく地域型事業所内保育所として、地域のお子様の受け入れも行っていきます。



事業所内保育所「サクラさーくる」

### 地域高齢者を支える事業

多様化するライフスタイルにあわせシニア向け住居の充実を図っています。

#### ▶ 介護付有料老人ホーム「アリストージュ経堂」

バリアフリーの居室と魅力的な共用空間を有するシニアレジデンスで、ご入居者の身体の状況に応じて、生活サポートサービスや介護サービスなどさまざまなサービスを提供しています。



アリストージュ経堂

#### ▶ サービス付き高齢者向け住宅

##### 「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」

快適な住み心地にこだわったバリアフリーの住戸と24時間体制の有人管理により、シニアの自由で安心な暮らしをサポートします。また、地域の方の利用も可能な在宅ケアサービスの拠点も併設しています。



スマイラス聖蹟桜ヶ丘



## 暮らしのお手伝い

子育て世代からシニア世代まで幅広い世代の方にゆとりある暮らしの実現をお手伝いする生活サポートサービスの提供を行っています。

### ▶ 京王ほっとネットワーク

#### ○ 移動販売

沿線地域(多摩市・日野市・八王子市・調布市・稲城市など)にて日常の買い物に不便なお客様を対象に移動販売を行っています。また、対象エリアを拡大したことにより、より多くのお客様にご利用いただいています。



「移動販売」の様子

#### ○ 家事代行

水まわりのお掃除やお洗濯などの家事全般のお手伝いや、お買い物や病院への付き添いにも対応し、お客様の安心・便利をお手伝いしています。



「家事代行」の様子

#### ○ 住まいのメンテナンス

網戸・障子・壁紙の張り替えなどの小修繕から、庭木のお手入れ、リフォームまで対応しています。住まいの相談窓口として、小さなお困りごとにもサポートします。

#### ○ 空き家巡回

居住していない住居を定期巡回し、郵便物や施錠の確認、通水・換気や簡易清掃などを行い、写真付きでご報告します。少子高齢化が進む中、安心して暮らせる街並みを維持します。

### ▶ 京王メモリアル

葬儀や法要の施行のほか、終活のお手伝いや相続準備、葬儀に関する心配事など、沿線にお住まいのシニア層やそのご家族の不安を解消するため、幅広いお手伝いを行っています。



京王メモリアルの葬儀ホール



終活相談の様子

### VOICE

お客様とのふれあいを大切にしていきます

京王ほっとネットワーク  
古畑 智哉



買物もネットで済ませられる時代ですが、移動販売の売場でお客様が商品を手に取り楽しそうに選んでいらっしゃる際に、お勧めの商品を尋ねられたり、ご近所の方々の会話の場になっていたり「ふれあい」を感じられることが、この仕事のやりがいです。

これからもこのような「ふれあい」の場を大切にしていきたいと思います。



## 地域社会への貢献

京王グループは、地域の活性化や課題解決、地域とのコミュニケーションなどに寄与する事業活動や社会貢献活動を通じて、地域社会とともに持続的な発展を目指していきます。

### 文化・教育・子育て支援イベント 京王アカデミープログラム



京王では、沿線の大学・団体などと連携して、沿線地域で育まれてきた多様で豊かな文化資産を見つめ直し、お子さまから大人まで幅広い世代に向けた「学びプログラム」を実施しています。

ともに学び、ともに創り、ともに育つ。

「京王アカデミープログラム」は、より豊かな京王沿線の暮らしに向けた、新しい学びのかたちです。

#### ➤ 2019年度に実施した主なイベント (2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)

	実施イベント	対象	内容
教育	京王キッズおしごと隊	小学生と保護者	京王グループでの職業体験を通して、自分の将来の職業について考え、社会の仕組みを知るプログラム。
	高尾山峰中修行体験合宿	小学4年～6年生	高尾山薬王院での座禅、法話、写経、水行などを通して、自然の中で学びながら心に残る思い出をつくる一泊二日のプログラム。
文化	講演会 宇宙飛行士 毛利 衛 「宇宙から見える私たちの未来」	大人向け	沿線に多くの科学館があることから、宇宙に焦点をあて、宇宙飛行士であり日本科学未来館館長(当時)である毛利 衛氏による講演会。
子育て	子育てサロン ～親子で楽しむ! 「音」と「カタチ」のアート体験～	4～6歳と保護者	東京家政学院大学と連携し、日頃なじみのある「音」をテーマに聴くことの楽しさや子育てのヒントを気軽に学ぶプログラム。



京王キッズおしごと隊



高尾山峰中修行体験合宿



子育てサロン

#### ➤ 多摩市への生理用品の寄附

2021年5月に災害時の備蓄用に保管していた生理用品の一部を、包括協定を締結している多摩市の女性センターへ寄附しました。

これは昨今、コロナ禍における経済的な理由から生理用品が購入できず、自治体や民間企業から無料配布する支援の輪が広がっていることから、買い替えの時期となる生理用品の有効活用を図るために実施したものです。





## チャリティ・スポーツ振興・産学連携

### 京王駅伝フェスティバル

2013年から、駅伝競技や親子ランのほか、キャラクターや学生・団体によるパフォーマンス、鉄道イベントなどを味の素スタジアムにて実施しています。参加料の一部は、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付しています。(2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)



京王駅伝フェスティバル

### 京王音楽祭

1994年から実施しています。京王駅伝フェスティバルと同様に、入場料の一部を東日本大震災により被災した子どもたちのために寄付しています。(2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)



京王音楽祭

### スポーツ振興

京王観光では戦略プロモーション室を設置し、中央競技団体、プロスポーツ、トップリーグといったさまざまな団体の遠征やイベント、国内・国際大会のオペレーションサービスやスポンサーを行っています。

2016年度に東京都から「東京都スポーツ推進企業」、2017年・2019年度にスポーツ庁から「スポーツエールカンパニー」「Sport in Life」の認定も継続されています。

### 産学連携

沿線の大学や高校などと連携し、フィールドワークを通じて地域課題や活性化策に取り組むことで、学生の支援を行っています。



八王子東高校での授業の様子

### VOICE

#### 生徒たちの地域に関する関心が高まっています

東京都立八王子東高等学校  
統括校長

宮本 久也



2018年度より、1年生全員が取り組む課題探究プロジェクトの一つ「地域活性化まちづくりプロジェクト」のアドバイザーを京王電鉄株式会社様をお願いしています。生徒たちのさまざまな疑問やアイデアに対して、専門的な立場から丁寧にアドバイスしていただくことで、生徒たちの地域に関する関心や職業観が高まり、大変有難く思っています。

## 沿線自治体との連携

### ＞ コミュニティバス

京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高いまちづくりに貢献するため、東京都内の13の自治体からコミュニティバスの運行を受託しています。



ちゅうバス(府中市)

### ＞ PFI事業

東京都のPFI事業として多摩地域ユース・プラザ整備等事業を京王ユース・プラザが受託し、閉校した都立高校を改修して「高尾の森わくわくビレッジ」を開館し、施設の運営、維持管理業務を行っています。

※PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金やノウハウを活用することにより、公共サービスの提供を行う事業手法



高尾の森わくわくビレッジ

### ＞ 指定管理者

京王グループでは、「高尾599ミュージアム」や「北野余熱利用センター」などの指定管理者として、自治体の施設等の管理・運営を行っています。



高尾599ミュージアム

## 中部地方との連携

中央道の高速バスエリアの関係自治体や事業者と連携して、新たな広域観光ルートづくりや、観光情報の提供などさまざまな取り組みを行うことで、地域活性化に貢献しています。新宿駅「京王モール」内では、岐阜県・長野県・山梨県・富山県の自治体などが出展する観光案内所「中部地方インフォメーションプラザin京王新宿」を運営しており、飛騨高山をはじめとした各地域の観光情報提供や特産品・農産物販売のほか、高速バスきっぷ等の販売も行っています。

### ＞ 高山市への地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を活用した寄附

高山グリーンホテルがある高山市の観光振興を目的とした「企業版ふるさと納税」による寄附を実施し、この寄附を活用した同市の「大雄寺広場整備事業」が2020年10月に完成しました。この事業により、市街東側の由緒ある寺社が立ち並ぶ「東山寺町・東山遊歩道」に隣接する場所に、周囲の景観と調和した公共トイレや休憩スペースが新たに整備されました。



完成式の様子

### ＞ 中部地方各地域の特産品・農産物の販路拡大(貨客混載など)

岐阜県高山市および長野県駒ヶ根市と連携し、高速バス「飛騨高山線」「伊那飯田線」のトランクを活用した「貨客混載」により、両地域の新鮮な農産物を東京へ輸送し、京王ストアなどで販売しています。また「中部地方インフォメーションプラザin京王新宿」では、中部地方各地域の特産品や農産物を販売するとともに、飛騨高山の産地から直接お客様の自宅に旬の野菜をお届けするサービスの受付を開始しました。



高速バスを利用した貨客混載



# 株主・投資家・取引先等への取り組み



持続的な成長と企業価値の向上を図るため、株主・投資家の皆様や取引先との対話を促進するための諸施策に取り組んでいます。

## 株主・投資家の皆様との対話

### ➤ ディスクロージャー・ポリシーに基づいたIR活動(Investor Relations)

株主・投資家への情報開示に向けた基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、これに基づきIR活動を実施しています。当社グループの業績や中長期計画を中心とした財務情報の提供に加えて、当社グループの将来像やCSRに関する取り組みなどについて、株主・投資家と活発な対話(意見交換)を行うとともに、得られた声を社内で共有し、適切に経営に反映させるよう努めています。

### ➤ 株主・投資家との対話事例

取り組み	時期	内容
決算説明会	年2回	社長をはじめとした経営陣幹部が、証券アナリストや機関投資家に対して、当社グループの業績や将来像などを説明するとともに、質疑応答を行い、経営陣幹部の考えを直接伝えています。
スモールミーティング	適宜	当社グループの業種や中長期計画の内容への理解を深めていただくため、証券アナリストや機関投資家と、財務・情報開示担当役員との間でミーティングを開催しています。
個別取材	年50件以上	経理部長やIR業務の担当者が、証券アナリストや機関投資家と個別に面談(電話・Web形式を含む)し、業績の内容や事業の具体的な取り組みなどについて、1回あたり約1時間の意見交換を行っています。
施設見学会	適宜	実際の物件を見学することで事業内容の理解を深めていただくため、個人株主や証券アナリスト、機関投資家を対象に、適宜見学会を開催しています。
ホームページでの情報開示	適宜	投資判断に影響を及ぼすと考えられるIR情報を、当社ホームページに積極的に開示しています。公平性のさらなる向上を図るため、「決算説明会資料」を中心に開示内容の充実を図っています。



決算説明会



個人株主向け  
京王れーるランド見学会



個人株主向け  
LYURO 東京清澄見学会

## 取引先への取り組み

京王電鉄では、京王グループ行動規範に基づき、日々の調達活動を行っています。法令・社会規範の遵守や地球環境への配慮など企業の社会的責任の観点から、取引先各社に対し、購買活動におけるSDGsやCSRへの取り組みに関するアンケートを実施することで、活動状況の把握など今後の相互理解に必要な情報収集に努めました。これらの活動を通じ、社内および取引先各社に対し、当社の購買活動についての理解と協力を得ることで、今後もよりよい関係の構築を目指します。

## 人材の活用と働きやすい職場づくり

多様な価値観・ライフスタイルを持つ従業員がその能力を存分に発揮できるよう働きやすく、働きがいのある職場環境づくりを目指しています。

### 人権・労働安全衛生

#### ➤ 人権・ハラスメント防止の啓発

京王グループ行動規範に基づき、人権研修を実施するなど啓発を行っています。また、ハラスメントの無い、明るく活力のある職場の実現のため、相談窓口の設置や研修の実施に加え、ハラスメント防止指針を制定しています。

また、2021年3月には役員を対象としたハラスメント防止セミナーを開催しました。



役員を対象としたハラスメント防止セミナーの様子

#### ➤ 安全衛生の取り組み

「安全・衛生のひろば」を定期的に開催し労働安全や健康に関する課題を共有しているほか、安全衛生概況や安全衛生委員会の活動状況などについて社内掲示板を活用し、周知しています。

### ! topics

#### ■ ハラスメント防止指針の制定

2020年6月に改正施行された「労働施策総合推進法」に関する取り組みとして、当社で働いているすべての役職員がどのような行為がハラスメントになるかを理解することで、ハラスメントの無い、明るく活力のある職場を目指すため、「ハラスメント防止指針」を制定しました。

全社員に周知された  
ハラスメント防止指針



### 健康で安心して働ける環境づくり

#### ➤ 心と身体健康増進施策

社員一人ひとりが心身ともに健康で、安心して働くことができる職場を目指し、さまざまな施策を実施しています。

2020年度には、鉄道事故に遭遇した乗務員などのストレスを軽減するため、専門のカウンセラーが心理面をサポートする仕組みや、異動や昇進で環境が変わった社員に対するストレスチェックと支援の体制を導入するなど、社員のメンタルケアの充実に取り組んでいます。

また、禁煙外来を利用した際の費用補助制度を設け、社員の卒煙を支援しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の予防にあたり社内発行物、イントラネット、衛生委員会等により、産業医、保健師、管理栄養士から基本的な感染予防策とともに、免疫力を上げる食事や運動の仕方について情報を発信しています。

#### ➤ 衛生講演会・メンタルヘルスクア

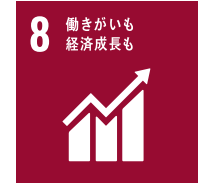
定期的に衛生講演会を開催し、診療所の産業医や外部講師により健康に関する講演を行っています。また、法令に基づくストレスチェックを実施し、高ストレス者と判定された社員には産業医との面談を促し、必要に応じて専門医による相談を実施するとともに、職場ごとの傾向を分析し、フィードバックして職場環境改善につなげています。



医師による面談

#### ➤ 社員の健康管理

企業内診療所を設置し、定期健康診断のほか医療相談・保健指導・社員を対象とした内科外来を実施しています。産業医と医療スタッフが各職場と連携し、社員個人の健康維持と、職場全体の環境整備に取り組んでいます。



### 健康経営優良法人2021の認定

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」において、当社は「健康経営優良法人2021」(大規模企業部門)に認定されています。



#### 当社の健康経営に関わる主な取り組み

実施項目	対象	内容
「若メタボ」対策	39歳以下でBMI 28以上の社員	産業医、保健師、管理栄養士等による生活習慣改善指導を実施
健康増進施策「京王ヘルスチャレンジ2020」	全社員	ウォーキングを主体とした通年の健康イベント
衛生講演会	全社員(グループ各社含む)	産業医や外部有識者による健康をテーマとした講演会(年2回開催)
がん検診勧奨	35歳以上の社員	大腸がん検診キットの対象全社員への配布。健康保険組合と連携し、対象者全員に胃がんリスク検診を順次実施
メンタルヘルス対策	全社員	ストレスチェック結果に基づく職場環境の改善、高ストレス者への面談等や、鉄道事故に遭遇した現業社員に対する心理的支援の強化を実施
長時間労働の是正	本社員	ノー残業デーの設定や深夜残業の原則禁止、サテライトオフィスやフレックスタイム制度の活用により柔軟で効率的な働き方を推奨
休暇取得の推進	本社員	年次有給休暇の取得率の全社目標を掲げ、計画的な休暇取得の推奨

## 人材雇用

### 公正な採用方針

京王グループは、厚生労働省が示す「公正な採用選考の基本」に基づいた採用活動を行っています。

### 人材雇用に関するデータ

#### 従業員数、平均年齢

	従業員数(人)	平均年齢(歳)
2016年度	2,497	40.3
2017年度	2,518	40.4
2018年度	2,549	40.3
2019年度	2,547	40.4
2020年度	2,531	40.7

#### 平均勤続年数

男性	18年3カ月
女性	10年9カ月

### 年休の取得率向上に向けて

「計画的な年次有給休暇の取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しています。→取得率の推移はP. 11

## 働きやすい職場環境づくり

### 働きやすい職場環境づくりに向けた調査の実施

社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場環境づくりをするために、無記名式アンケートによる「従業員意識調査」を実施しています。

### 柔軟な働き方の実現

本社部門では「フレックスタイム制度」や「サテライトオフィス」などを活用することで、柔軟に働くことができる職場環境を整備しています。

2019年度には一部の現業職場で「フレックスタイム制度」や「年次有給休暇の半日単位付与制度」を導入するなど、さらなる制度の充実に努めています。



## ダイバーシティ・マネジメントの推進

### ➤ 仕事・育児・介護の両立支援

育児・介護ともに休業制度・短時間勤務制度について、法定以上の制度を有しています。特に本社部門では、自宅で育児や介護をしながら働く社員を対象とした在宅勤務制度を2020年度に導入しました。

また、鉄道事業の現業職場では勤務サイクルの工夫により、育児や介護に携わる社員が同じ仕事を続けることを可能にしています。

その他、育児・介護が理由で退職した社員を対象とした再入社制度などを整備しています。

2020年度の育児休職取得者数は19名(うち男性5名)で復職率は100%です。

### ➤ ライフステージに応じた両立支援

2020年度には、不妊治療のための休職制度の導入や、不妊治療やがん治療、配偶者の転勤により退職した社員を再入社制度の対象とする制度の拡充を行いました。多様化するライフスタイルに応じて、さまざまな両立支援制度の整備に取り組んでいます。

#### VOICE

#### 家族の貴重な時間として活用できました

鉄道営業部 高幡不動乗務区  
指導運転士

#### 岩井 那美子



2回の育児休職を経て、現在日勤ダイヤを利用して運転士として勤務しています。

第1子の休職期間は、すべてが初めての経験であり毎日慌ただしく過ぎてしまいましたが、第2子の時はできるだけ家族と向き合う時間を増やし、貴重な時間として活用できました。

現在は育児と仕事を両立している女性社員も増え、育児休職期間中も連絡を取り合うことで、復帰への不安が軽減しました。私自身が見本となれるよう、今後は育児をしながらもスキルアップに挑戦していきたいです。

### ➤ 女性の活躍

グループ会社社長をはじめとして幅広く女性が活躍しています。女性活躍推進行動計画に記載の女性総合職の採用について、2021年度に入社した女性総合職の新卒採用人数は総合職新卒採用人数全体の33.3%となりました。

#### ! topics

#### ■ 女性社員の活躍推進に向けた目標設定

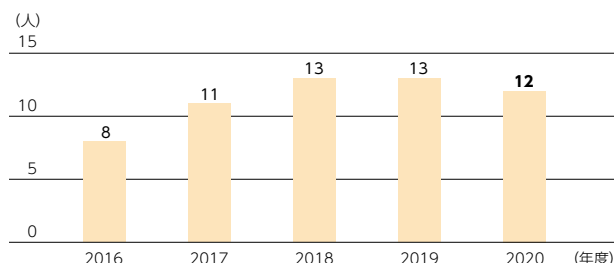
2016年から「女性活躍推進法」に関する取り組みとして、女性の課長級以上の管理職人数を2021年3月までに2016年4月と比較して5割増とする数値目標を設定し取り組みを進めてきました。その結果、管理職における女性人数は2016年4月と比較して8割増となり、数値目標を達成しました。

当社ではさらに2021年4月からの数値目標を設定し、取り組みを進めています。

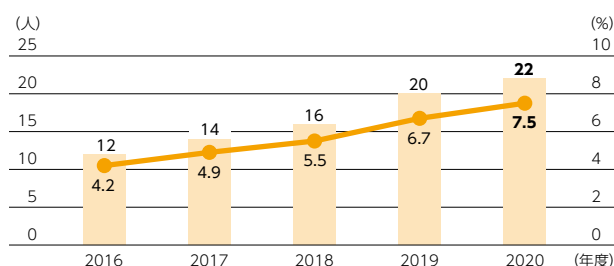
#### 2021年4月から2026年3月までの数値目標

- ①管理職(課長以上)における女性人数を2026年3月までに2021年4月と比較して3割増とする
- ②年次有給休暇取得率80%以上を継続する

#### ■ 京王グループ女性役員数の推移



#### ■ 管理職における女性人数と比率





➤ 子育てサポート企業認定マークくるみんの取得

当社における地域社会貢献活動や社員の仕事と家庭の両立を支援する取り組みの推進により、2021年2月24日付で「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受け、3度目の「くるみん」を取得しました。



➤ 外国籍の方の採用

海外関連事業に伴い、外国人の総合職社員を採用しており、現在2名が活躍しています。また、京王グループ内でもさまざまな分野で多くの外国人社員を採用しています。

➤ 社員のキャリア支援

当社では、若手社員から中堅社員、正社員から非正規社員に至るまで様々な社員が自律し、長期にわたって活躍できるように、社員のキャリア支援に取り組んでいます。

■ 社員のキャリア支援

実施項目	内容
キャリアデザインシートおよびキャリア面談	社員の自律性を高めることを目的とし、社員が自らのキャリアを考え、主体的に能力開発を進めていく仕組みとして「キャリアデザインシート」の導入や上司との「キャリア面談」を実施しています。
キャリアチャレンジ制度	自らのキャリアを自身で変革する機会を提供することを目的として、人材公募制度である「キャリアチャレンジ制度」を導入しています。
社外派遣制度	当社では得られない経験・スキルの習得や、自社とは異なる環境に身を置くことによる自律心や忍耐力の体得を目的とし、グループ外の企業に一定期間社員を派遣する制度を導入しています。
トライアルコース研修	経営層が考える会社のビジョンや仕事観等を直接社員が聞き、意見交換を行う場として「トライアルコース研修」を実施しています。
メンター制度	総合職の若手社員と先輩社員がグループを組み、キャリア支援やフォローアップを行う仕組みを導入しています。
生き方・働き方プランニング研修	50歳を迎えた社員に対し、「これからありたい自分」になるには今後なにをすべきか修得するための機会として「生き方・働き方プランニング研修」を実施しています。
正社員登用制度および特定社員制度	非正規社員から正社員への登用制度、有期雇用の非正規社員を無期雇用へと変更する特定社員制度を整備しています。

➤ 高齢者再雇用

2006年から「継続雇用制度」を実施しており、2020年度の再雇用割合\*は77.5%でした。

\*該当年度における継続雇用者数/定年退職者数

➤ 障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、京王グループ全体の障がい者雇用も拡大し、社内施設の清掃業務、名刺作成、事務補助作業などに従事しており、実雇用率は基準以上となっています。当社では、2016年度から「障害者相談窓口」を設置しています。

■ 障がい者雇用と雇用割合

	障がい者数(人)*	実雇用率(%)*
2016年度	181	2.6
2017年度	181	2.6
2018年度	177	2.5
2019年度	181	2.6
2020年度	184	2.6

\*障がい者雇用促進法に定める計算方法に基づく

# 環境保全の推進

生物多様性や森林保全などの取り組みを通じて、沿線における自然共生社会の実現を目指しています。また、車両の洗車時における節水など、限りある資源を有効活用した取り組みのほか、CO<sub>2</sub>などの環境負荷物質の排出が無く、地球温暖化防止に貢献することができる燃料電池バスの導入など持続可能な社会の実現に貢献しています。

## CONTENTS

環境方針	P.81
環境マネジメント	P.82
低炭素社会を目指して	P.84
循環型社会を目指して	P.88
自然共生社会を目指して	P.90
環境関連データ	P.92







高尾山での森林再生活動



節水型車両洗浄装置による洗車



燃料電池バス



## 環境保全に向けた取り組みを推進し、 持続可能な社会と、豊かで居心地の良い街づくりを目指します。



取締役  
常務執行役員  
(環境管理責任者)  
**都村 智史**

京王リトナード永福町  
屋上庭園「ふくにわ」

京王グループは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」に基づき、環境にやさしい企業集団を目指し、職場ごとに環境目標を定め、すべての職場が目標を達成できるようPDCAサイクルを着実に回し続けています。

鉄道事業においては、列車走行時の消費電力を大幅に抑制する制御装置の全営業車両への導入を、大手私鉄に先駆けて2012年に完了し、さらに削減効果に優れた制御装置への更新に、現在取り組んでいます。また、京王グループのバス事業ではCO<sub>2</sub>等の排出を抑制することで、地球温暖化防止に貢献できる燃料電池バスを導入しています。

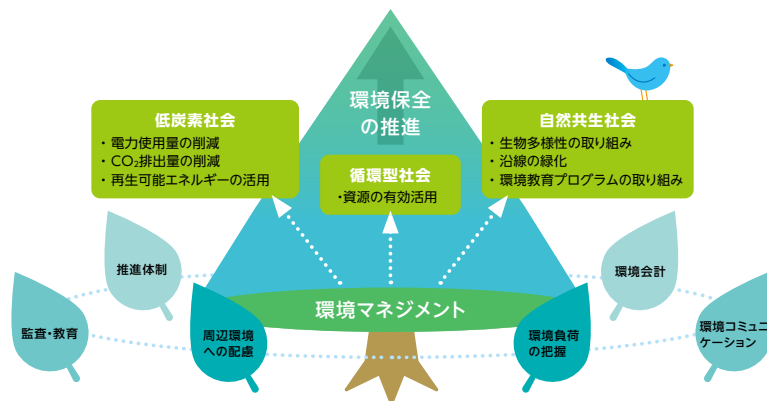
開発事業では、サステナブルで環境にやさしいリノベーションの手法を活用した既存建物の再生、照明の

LED化やCO<sub>2</sub>排出量の削減など、環境負荷低減に資する取り組みを推進したほか、再生可能エネルギーの活用として、神奈川県相模原市と岩手県宮古市において太陽光発電事業に取り組んでいます。また、京王リトナード永福町の屋上庭園「ふくにわ」では、公益財団法人都市緑化機構より「SEGES(シージェス)社会・環境貢献緑地評価システム：都市のオアシス」緑地として継続した取り組みが評価され3回目の認定を受けました。

新たな取り組みでは、東京都水道局と連携し、水資源保護の取り組みとして、多摩川上流域の森林保全活動へ参画してまいります。

今後も環境保全に向けた取り組みを京王グループ全体で推進し、持続的発展が可能な社会の実現と豊かで居心地の良い街づくりを目指してまいります。

### ➤ 環境方針概念図



# 環境方針

2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、省エネや廃棄物削減、リサイクル、環境教育の実施などを推進してきました。その後、環境保全是グループ共通の課題であるとの認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定し、環境マネジメントシステム(EMS)の継続的運用を通じて浸透を図っています。

## 基本方針

京王グループ環境基本方針	生物多様性行動指針
<p>私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保身に配慮した事業活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。</li> <li>2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。</li> <li>3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。</li> <li>4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。</li> <li>5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。</li> <li>6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。</li> <li>7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。</li> </ol> <p style="text-align: right;">2004年12月9日制定</p>	<p>私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>事業活動がおよぼす環境への影響把握</b> 事業活動と生物多様性とのかかわり(恵みと影響)を把握するように努め、取り組みの必要性に対する認識を高めます。</li> <li>2. <b>自然環境の確保と保全</b> 事業活動における自然環境への影響の回避または低減に取り組むとともに、緑化を推進し、地域の豊かな自然環境の確保と保全に努めます。</li> <li>3. <b>資源循環の推進</b> 資源の利用が生物多様性におよぼす影響を低減するために、グリーン購入など環境に配慮した調達や3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、環境負荷低減に努めます。</li> <li>4. <b>ステークホルダーと連携した生物多様性の保全</b> 従業員をはじめ、取引先企業、お客様など多くのステークホルダーと連携し、情報の発信と収集を行いながら生物多様性の保全に努めます。</li> </ol> <p style="text-align: right;">2010年9月8日制定</p>

## 中期環境目標

当社では、「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」において、2020年以降の地球温暖化対策の新たな指針となるパリ協定が採択されたことを踏まえ、中期環境目標を更新しました。

	中期環境目標	目標達成に向けての取り組み
鉄道事業部門	電車の運転用電力を2030年度に26%削減(2013年度比)	新型VVVFインバータ制御装置導入 車内照明のLED化実施 など
開発事業部門	東京都のCO <sub>2</sub> 排出量削減義務(27%)の達成 第3計画期間(2020年度~2024年度)	照明のLED化など省エネルギー施策の推進 排出量取引制度の活用



# 環境マネジメント

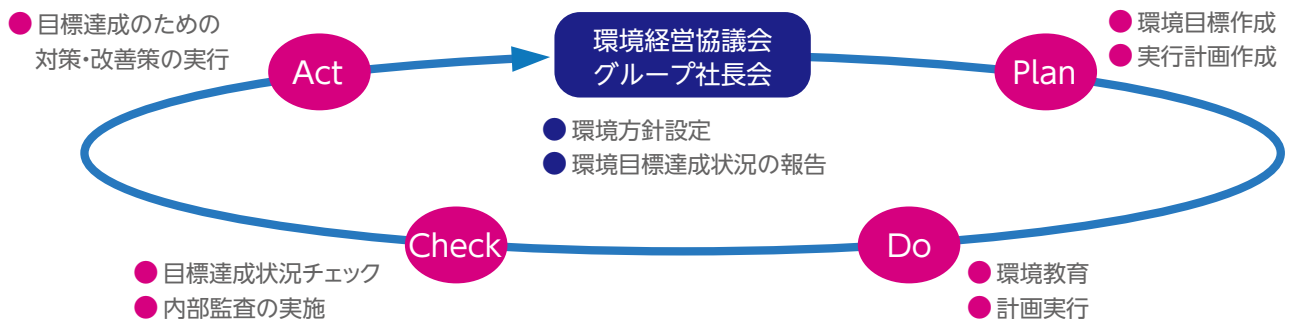
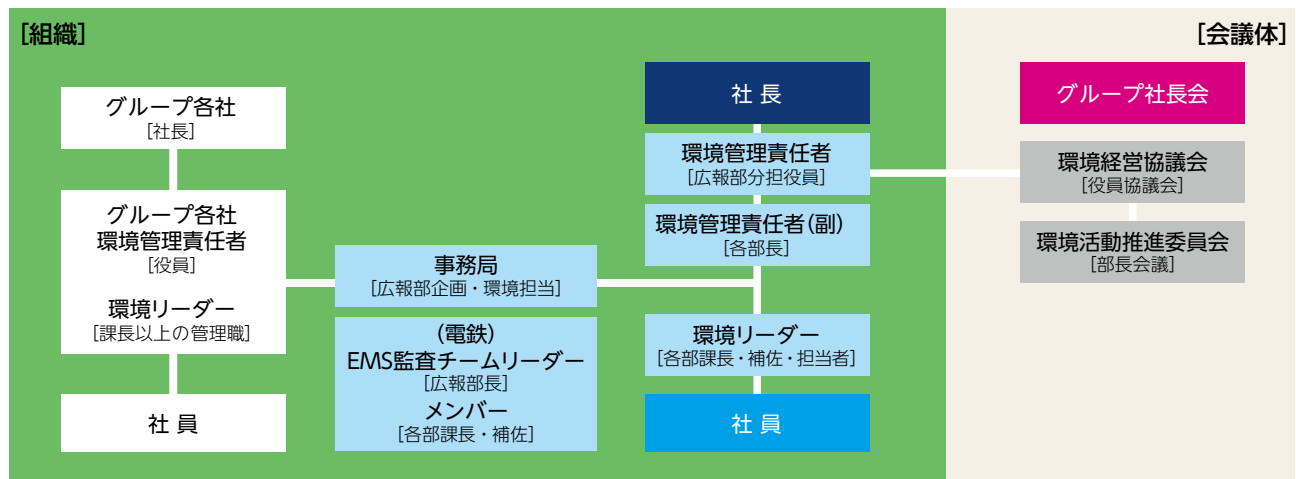
独自の環境マネジメントシステム (EMS) の構築・推進や、内部監査、従業員への環境教育を実施することで社内における環境意識向上を図るとともに、中期環境目標の達成に向けて取り組みを推進しています。

## 推進体制

当社は鉄道現業を含めたすべての職場において、ISO14001を参考に独自のEMSを構築・推進し、環境経営協議会において経営層へ報告・承認を受けています。また、グループ社長会を通じて各社に環境マネジメントを徹底しています。

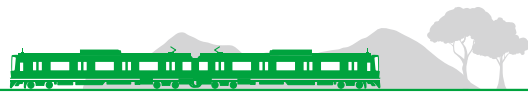
グループ会社では、ISO14001を3社、グリーン経営認証を4社、エコアクション21を1社で取得し、その他の各社はISO14001またはエコアクション21を参考にしたEMSに取り組んでいます。

### 京王グループEMS推進体制



### 京王グループ各社の第三者認証取得状況

分類	会社名
ISO14001	認証取得(3社) ● 京王設備サービス ● 京王建設 ● 京王エージェンシー
グリーン経営認証	認証取得(4社) ● 京王電鉄バス ● 京王バス ● 京王バス小金井 ● 京王運輸
エコアクション21	認証取得(1社) ● 東京特殊車体



## 監査・教育・コミュニケーション

### ➤ EMS内部監査

EMSの有効性と環境活動の推進を図るため、毎年各部管理職1人以上のEMS監査員を選出し、新任監査員はコンサルタントによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。

### ➤ 環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にした上で、環境教育を実施しています。

#### ■ 主な教育実績(2020年度)

名称	時期	対象	人数
EMS監査員養成研修	11月	新任監査員	3名
環境eラーニング	1月	京王電鉄社員	1,357名

### ➤ CSR・環境コミュニケーション

京王グループの活動に関する情報は、以下の媒体で公表しています。



京王子ども百科



京王ニュース



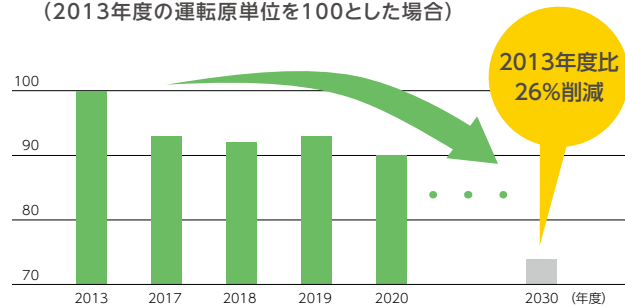
京王ホームページ

## 中期環境目標(P.81)の達成に向けて

### ➤ 鉄道事業部門

2030年度における運転原単位(1車両が1km進む際に使用する電力量)を2013年度比で26%削減することを目指します。2020年度は2013年度比で約10%の削減となりました。

#### ■ 電車の運転用電力削減推移 (2013年度の運転原単位を100とした場合)

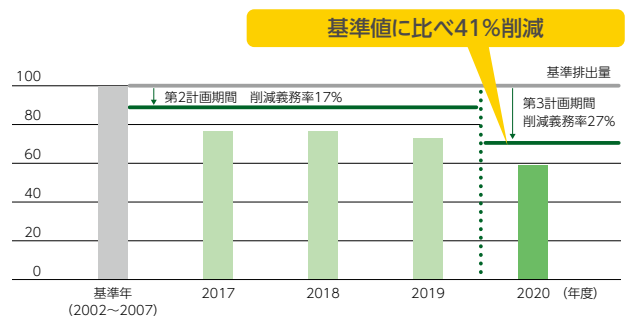


※車両の走行に関する性能(理論値)に限定して原単位を算出しています。

### ➤ 開発事業部門

2020年度のCO<sub>2</sub>排出量は45,289t-CO<sub>2</sub>となり、基準排出量に比べ約41%の削減となりました。当社では引き続き東京都のCO<sub>2</sub>排出量削減義務の達成を目指します。

#### ■ 大規模ビル8物件のCO<sub>2</sub>排出量削減実績と目標 (東京都環境確保条例の削減義務 第3計画期間)



※京王プラザホテル(新宿)、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター、2017年度からキラリナ京王吉祥寺を追加  
 ※「基準値」とは、2002~2007年度のうち任意の連続した3カ年におけるCO<sub>2</sub>排出量の平均値をいいます。  
 ※第3計画期間(2020~2024年度)から京王八王子明神町ビルを除外

# 低炭素社会を目指して

京王グループでは事業活動における環境負荷を低減することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、地球温暖化防止に貢献していきます。

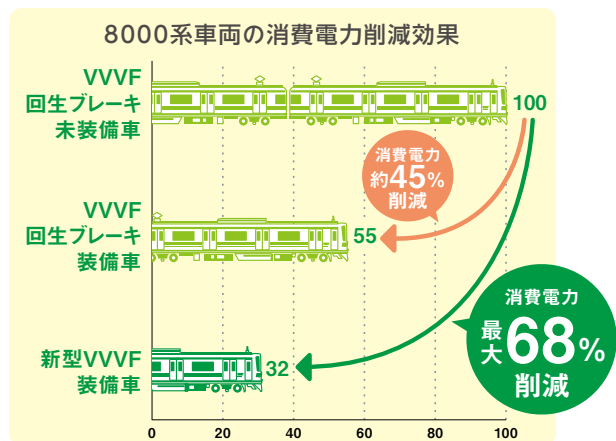
## 鉄道における電力・CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み

鉄道事業では1年を通じて多くの電力を消費することから、少ないエネルギーで効率的に動くことのできる「環境にやさしい鉄道」を目指しています。

### ➤ 走行用電力の削減

#### ◎ VVVFインバータ制御装置

VVVFインバータ制御装置とは、電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率良く動かす装置です。当社では1992年に初のVVVF車両として導入して以降、継続的に導入を進め、2012年に全営業車両のVVVFインバータ制御化を大手民鉄で初めて完了しました。2015年から、さらに消費電力削減効果に優れたVVVFインバータ制御装置への更新を進めています。2020年度は、8000系3編成、1000系2編成を新型に更新しました。



※横軸は未装備車の使用電力量を100とした場合の数値

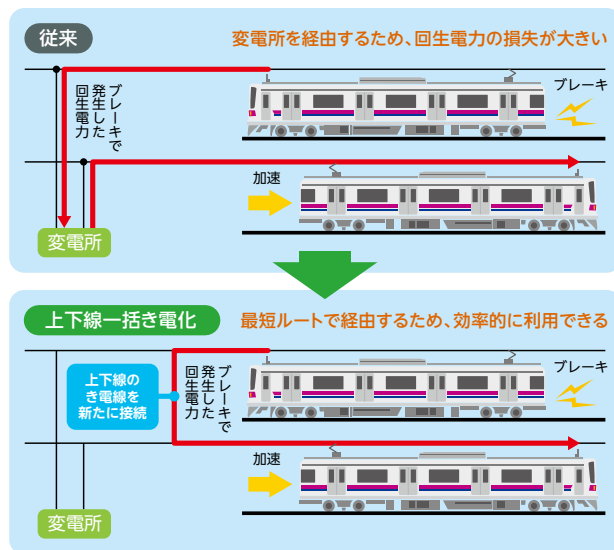
### ➤ 走行用電力の再利用

#### ◎ 回生ブレーキ

回生ブレーキとは、電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電力(回生電力)を架線に戻すことで他の電車が使えるようにする装置です。1999年に全車両への装備が完了しました。

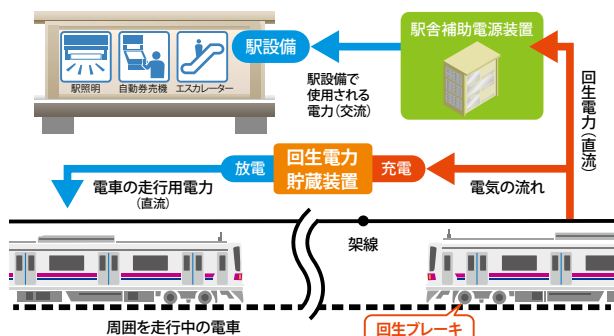
#### ◎ 上下線一括き電化

上り線と下り線のき電線(電車に電気を供給する線)を接続することで、回生ブレーキで発生した電気を他の電車に最短ルートで送り、電気を送る際の損失低減を図ることができる設備です。当社では、2012年に井の頭線で整備したほか、2020年度には高尾線で整備が完了しました。

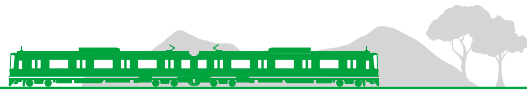


#### ◎ 駅舎補助電源装置

電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を駅設備で使用される電力に変換して、駅の照明や空調、エスカレーターなどに供給する装置で、東府中駅、高幡不動駅、北野駅、若葉台車両基地に導入しています。また、2021年度はめじろ台駅に導入しました。







## ➤ LED照明の導入

### ○ 駅などのLED化

駅舎・ホームや車両基地に、従来の照明設備に比べて大幅に消費電力を削減できるLED照明の導入を進めています。また、柴崎駅～西調布駅間と調布駅～京王多摩川駅間の地下化にあわせて、トンネル内の照明設備にもLEDを用いています。



駅構内のLED照明

### ○ 車両のLED化

車両の客室内照明にLEDを使用しているほか、消費電力が従来に比べ約5分の1となる車両前照灯のLED化を進めています。これにより、明るさは変わらずに交換サイクルが長くなることから廃棄物の削減にもつながっています。



車両のLED照明

### ○ 自然採光

ホームやコンコースの屋根に自然採光の工夫を行うことで、照明の消灯に努めています。



自然採光の屋根

## ➤ その他の省エネルギー対策

### ○ 省エネ運転エスカレーターの導入

老朽化が進んでいるエスカレーターについて、更新を進めています。一定時間ご利用がない場合に、運転速度を減速または自動的に停止する機能のあるエスカレーターへ更新することにより、従来より最大約35%の消費電力削減が図れます。2020年度は南大沢駅にて省エネ型運転エスカレーターを導入しました。



南大沢駅  
エスカレーター

### ○ 遮熱・断熱フィルム

夏の冷房期、冬の暖房期に約10%の節電効果が期待される遮熱・断熱フィルムを電車の窓に順次貼り付けています。

京王線では720両、井の頭線では145両の客室内に整備しています。

### ○ 地下駅空調設備の省エネ運用

新宿駅や調布駅などの地下駅において、空調・換気設備の省エネ運用を2020年4月から進めています。空調機などの設定温度を適正化したほか、これまで空調が常時運転していた夏季期間において、室内温度に応じて運転を抑制するなど、消費電力量を削減しています。

## グループによる電力・CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み

### ▶ 燃料電池バスの導入

京王バスでは走行時にCO<sub>2</sub>等の環境負荷物質を排出しない燃料電池バスを2台導入しています。

水素を燃料とし、エンジンではなくモーターだけで走行するため、騒音や振動が少ないほか、大容量外部給電機能を生かして、災害時には電源としての利用が可能です。



燃料電池バス

### ▶ 移動販売車の燃費改善への取り組み

京王ほっとネットワークの移動販売事業では、エネルギーを効率よく活用することにより、従来に比べて、大幅な燃費改善を実現した「電気式冷蔵冷凍車」を導入しました。

販売時間中は、アイドリングが不要となるため、CO<sub>2</sub>の排出を抑え、環境にやさしく静かな「買い物の場」を提供しています。



電気式冷蔵冷凍システムを採用した移動販売車

### ▶ 建物の省エネルギー化

キラリナ京王吉祥寺では、壁面・屋上緑化を行っており、壁面緑化の灌水には、井戸水かんすいを使用することで、水資源を守っています。また、氷蓄熱システムを導入し、電力需要の下がる夜間電力を利用して氷を作り、日中の冷房に利用することで、夏場のピーク時における省エネルギー化を図っています。

メルクマール京王笹塚では、緑化のほかにも、水平庇と高遮熱断熱ガラスなどを取り入れ、ヒートアイランド現象軽減などを図っています。



建物の省エネルギー化を図るキラリナ京王吉祥寺(左)とメルクマール京王笹塚(右)

### ▶ Ecoパートナーに認定

キラリナ京王吉祥寺は、武蔵野市から、ごみ減量資源化推進事業所(Ecoパートナー)として認定、表彰されました。



### ▶ LED照明導入

当社およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



京王プラザホテル本館フロントLEDシャンデリア



## 再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。



### 太陽光発電事業

岩手県宮古市および神奈川県相模原市の社有地において、太陽光発電事業に取り組んでいます。



岩手県宮古市の太陽光発電システム

### 太陽光発電事業の取り組み

	開始時期	設置パネル数	発電能力
神奈川県相模原市	2015年2月	1,021枚	302kW
岩手県宮古市	2019年11月	9,120枚	2,872kW



神奈川県相模原市の太陽光発電システム



# 循環型社会を目指して

京王グループでは、限りある資源を有効活用し、事業活動におけるリサイクル・リノベーション等を通じて循環型社会の実現を目指します。

## 資源の有効活用

### ▶ 車両洗車時の節水

京王線の若葉台工場では、「処理水再利用装置」を導入し、使用済みの水の汚れを取り除くほか、工場内の湧水を活用し、洗浄水などに利用しています。現在、利用している水の半分以上はこの装置により処理されたものです。

また、若葉台と高幡不動の車両基地では、車両洗浄に使用する水を従来に比べ約半分にできる節水型車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

### ▶ リサイクル

#### ● きっぷ

使用済みきっぷをリサイクルして、駅のトイレトーパーの一部として使用しています。

#### ● ペットボトル

駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、駅の案内板に使用しています。

### ▶ 間伐材を使用したベンチ

一部の駅に木の温かみを感じられる木製ベンチを設置しています。素材には、多摩地域で発生した間伐材を使用しています。



### ▶ 車両のリニューアル・再生

京王重機整備では、現役車両のリニューアル工事や京王電鉄他を引退した車両の再生化工事を実施しています。全国の鉄軌道事業者のニーズに合わせ、新造車同様に再生した改造車両を、約200両提供しています。

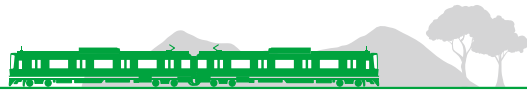


伊予鉄道3000系  
(元京王3000系)

### ▶ 緑化廃棄物処理

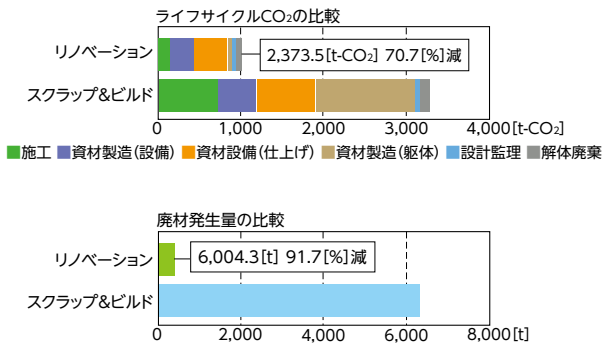
京王レクリエーションでは外部会社と協力し、桜ヶ丘カントリークラブのコースで発生した緑化廃棄物(折れ枝・落葉など)を、パルプチップやバイオマスチップにリサイクルすることで堆肥や燃料として有効利用する取り組みを行っています。





### 環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存建物を再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使い、CO<sub>2</sub>排出を抑制する環境にやさしい手法です。例えば、リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネ改修によって、ライフサイクルCO<sub>2</sub>\*1を70%削減、廃材発生量\*2を91%削減することができました。



### エコステイ

京王プレミアホテルでは、連泊のお客様を対象にシーツ、枕カバーを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO<sub>2</sub>排出削減を図る「エコロジー清掃」を導入しています。

お客様には「ベッドリネン交換要望カード」で意思表示をしていただいております。



京王プレミアホテル札幌



ベッドリネン交換要望カード

### ! topics

#### 高尾山口駅前のホテルをリノベーション 活動ホテル「タカオネ」開業

高尾山口駅前のホテルをリノベーションし、活動ホテル「タカオネ」を2021年7月に開業しました。

「タカオネ」は一般的なホテル利用に加え学生・社会人・サークルなど様々な団体の合宿や研修にもおすすめのアクティビティが体験でき、「都心からアクセス抜群でありながら、大自然を満喫できる新しい合宿」として活用できます。さらに「ワーケーション」など新しい働き方の拠点や、さまざまなコミュニティ拠点としても利用できます。



### 海洋プラスチックゴミ問題への対応

京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018年12月より新宿・多摩・八王子・札幌、4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。

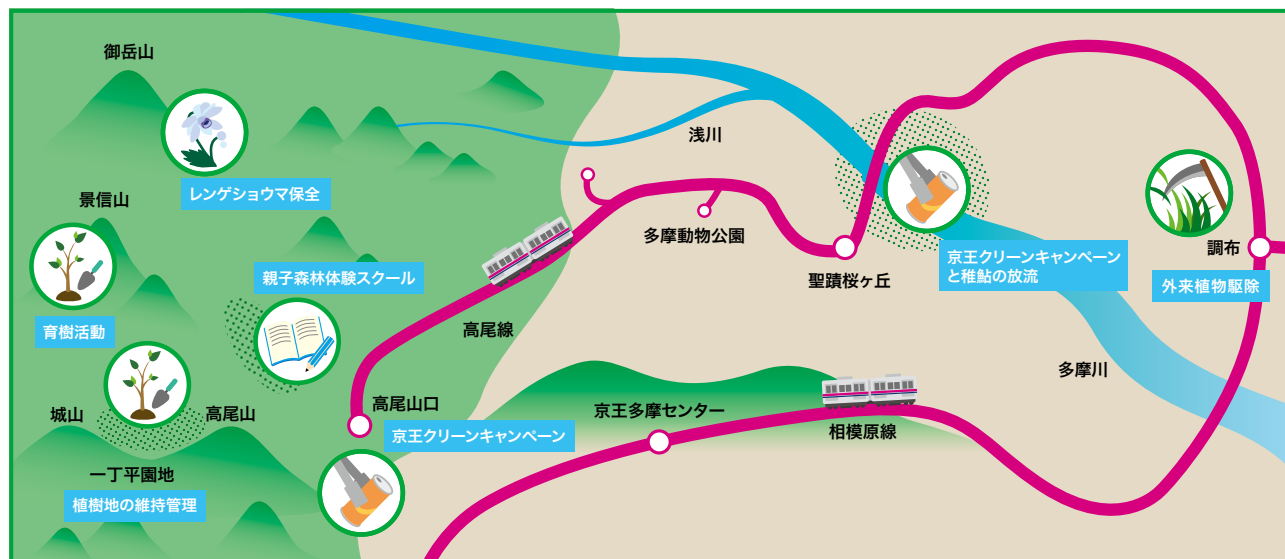
そのほか、京王百貨店および京王ストアでは、お客様により一層のマイバッグの持参を呼びかけています。



# 自然共生社会を目指して

京王グループでは、生物多様性や森林保全などの取り組みを通じて、沿線の豊かな自然を次世代に引き継いでいきます。

## 生物多様性の取り組み



### 京王クリーンキャンペーン

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山や多摩川の清掃活動を行っています。2019年5月には、高尾山で清掃活動を行い、一般のお客様と京王グループ社員あわせて862名が参加しました。



高尾山での清掃活動

### 高尾山清掃活動への参加

高尾登山電鉄と山上商店では高尾山周辺の環境保全、参道の整備を目的に、定期的に1号路の清掃活動を実施しています。2020年度は当社の社員も清掃活動に参加しました。



高尾山での清掃活動

### ツバメのフン受け板の設置

2014年から、ツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に取り付けています。ツバメのフンでお客様にご迷惑をおかけしないこと、またツバメの生息環境にも配慮した生物多様性施策の一環です。

2021年5月には公益財団法人日本野鳥の会より当社の取り組みについて感謝状をいただきました。

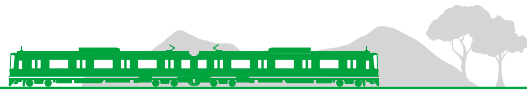


ツバメのフン受け板



感謝状贈呈の様子





13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



### ➤ 森林再生への取り組み

2002年から日本山岳会「高尾の森づくりの会」が裏高尾(小下沢国有林)で行う森林再生活動を支援しており、累計約17,000本の苗木提供を行ったほか、下草刈りなどの育樹活動を行っています。



### ➤ 高尾の森 親子森林体験スクール

裏高尾において、日本山岳会「高尾の森づくりの会」と協力して、お子様と保護者の方に、植樹や下草刈りの体験、水生生物の観察などを通じて、森の大切さを学んでいただいています。



自然観察の様子

### ➤ 線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくため、線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を行っています。



線路脇の緑化

### ➤ 屋上庭園「ふくにわ」

「京王リトナード永福町」の屋上庭園「ふくにわ」は、地域の公園機能を代替し、コミュニティー庭園として利用されていることなどが評価され、都市緑化機構主催のSEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)認定緑地に選ばれています。2020年度は継続した取り組みが評価され、3回目の認定を受けました。



屋上庭園「ふくにわ」

### VOICE

地域に親しまれる  
空間として確立している  
点を評価します

公益財団法人都市緑化機構  
SEGES事務局



屋上庭園「ふくにわ」は、2015年よりSEGES「都市のオアシス」の認定を受けている緑地です。

2021年3月に行われた審査では、地域のコミュニティ空間として、親子参加型イベントの継続的な実施に加え、花や実をつける季節感のある樹種選定など、地域に親しまれる空間として確立されていると評価しました。

今後は、自然共生を目指して、身近な生き物とふれあえるイベントを定期的を実施し、環境教育の場としても位置付けられることを期待しています。

### ➤ 水資源保護の取り組み

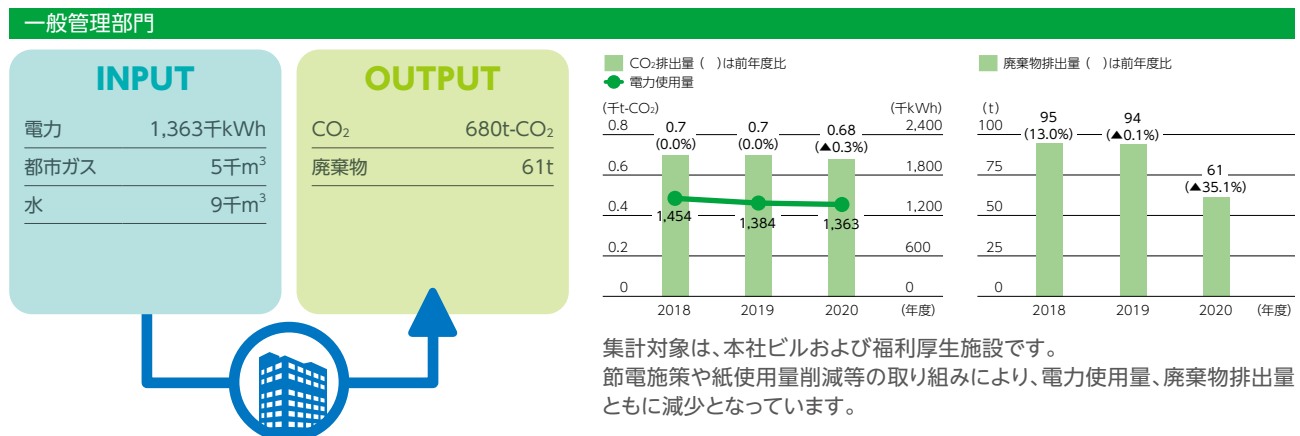
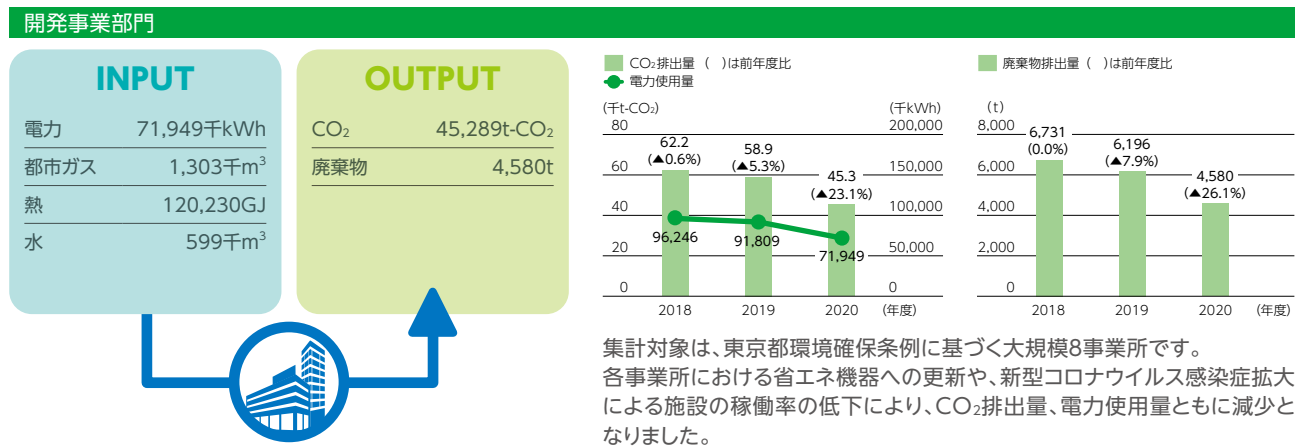
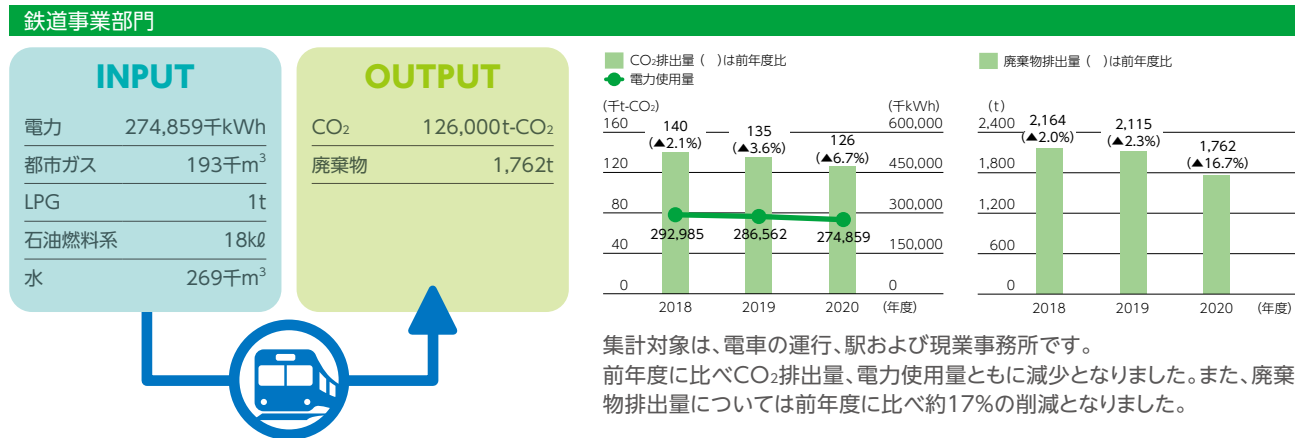
2021年9月より東京都水道局と連携し、水源地保全の取り組みとして、多摩川上流域の森林保全活動へ参画してまいります。

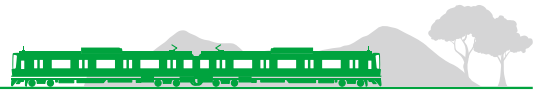
# 環境関連データ

## 環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用(インプット)とCO<sub>2</sub>・廃棄物の排出(アウトプット)を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

### 2020年度の環境負荷レビュー





## 環境会計

環境保全に向けて、2020年度は約64億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルの推進に向けて、環境投資を継続しています。

### 2020年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

内容	主な取り組み	具体的な内容	投資	費用
<b>(1) 事業エリア内コスト</b>			4,449	1,897
① 公害防止コスト	● 騒音振動防止 ● 大気汚染防止 ● 水質汚濁防止	○ 連続立体交差化 ○ ロングレール敷設 ○ レール綱目補強 ○ 草刈 ○ 低VOC塗料への転換 ○ 分岐器床板交換	2,923	713
② 地球環境保全コスト	● 省エネルギー化 ● モーダルシフト ● オゾン層破壊防止	○ 新型VVVFインバータ制御装置導入 ○ 省エネ機器への更新 ○ 昇降機新設 ○ 可動式ホーム柵設置 ○ オフィスビル等の空調機更新・照明LED化	1,346	192
③ 資源循環コスト	● 廃棄物減量 ● 廃棄物処理・処分 ● 廃棄物リサイクル	○ PASMO関連費用 ○ 駅清掃費 ○ 車両清掃費 ○ 車両座席シート交換 ○ 駅トイレ改修	180	992
(2) 管理活動コスト	● 景観保持 ● 自然保護・緑化 ● 教育・啓発	○ 植栽管理 ○ 環境報告書制作	0	108
(3) 社会活動コスト	● 自然保護・緑化 ● 環境保全の寄付 ● 社会的取り組み	○ 環境保全の寄付	0	1
合計			4,449	2,006
コスト総計			6,455	

#### 【対象期間】

2020年4月1日～2021年3月31日

#### 【対象範囲】

当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

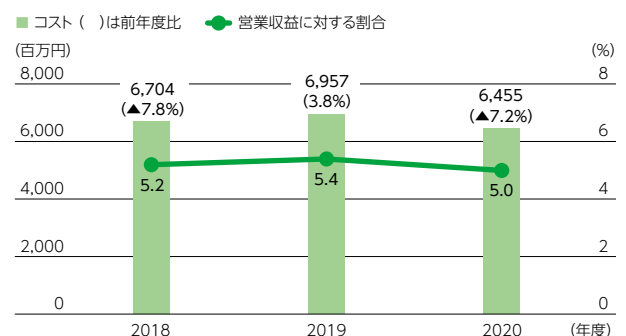
(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

#### 【算定基準】

1. 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
2. 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
3. 減価償却費は計上していません。

※PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

#### ■ 環境保全コストの推移





## 企業統治

# コーポレート・ガバナンスの充実・強化

京王グループでは、「京王グループ理念」に基づき、透明性・公正性を確保しつつ、迅速・果敢な意思決定を行うことにより、株主の皆様をはじめつながりあうすべての人からの信頼を確保し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を推進します。

### CONTENTS

コーポレート・ガバナンスと内部統制	P.96
コンプライアンス	P.98
リスクマネジメント	P.99
情報セキュリティ	P.99



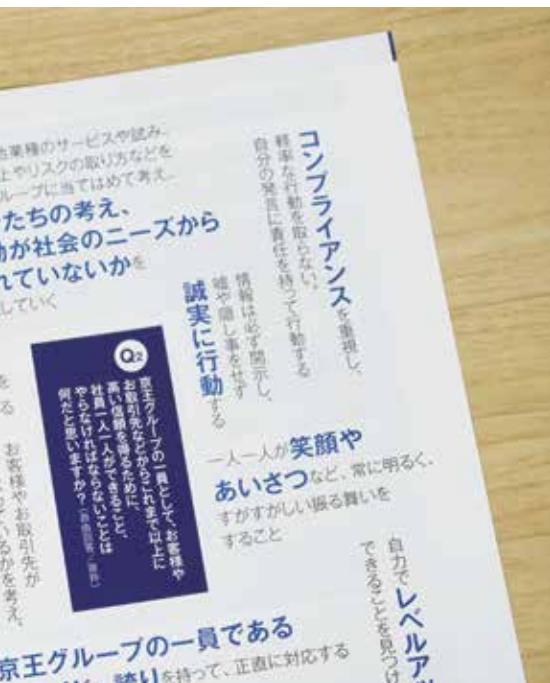
11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に







# コーポレート・ガバナンス

## コーポレート・ガバナンスと内部統制

### 基本的な考え方

当社グループでは、「京王グループ理念」に掲げる「信頼のトップブランド」の確立を目指し、「京王グループ行動規範」に基づき、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めております。特に鉄道事業においては、皆様から信頼され、愛される鉄道になるため、「安全に関する基本方針」および「安全に係る社員の行動規範」を定め、全社員が一丸となって安全文化の構築に取り組んでいます。鉄道事業者として、安全と事業の継続性を確保しながら、「京王グループ理念」に基づき、透明性・公正性を確保しつつ、迅速・果敢な意思決定を行うことにより、株主の皆様をはじめつながりあうすべての人からの信頼を確保し、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を推進してまいります。

### コーポレート・ガバナンス体制

当社は、2020年6月に監査等委員会設置会社へ移行したことにより、監査等委員である取締役が取締役会で議決権を持つことで、監査機能を担いつつ取締役会の業務執行の監査機能強化を図るとともに、監査等委員会は内部監査部門と緊密に連携し、必要に応じて監査部に調査を指示するなど、内部統制体制のさらなる充実を図っています。また、執行役員制度の導入により、機動的な意思決定と業務執行を図り、当社グループを取り巻く経営環境の変化に迅速に対応できる体制を構築しています。加えて、報酬制度の改定では、基本報酬と年次業績連動報酬に区分・整理するとともに、中長期的な業績向上および株主価値の最大化に貢献する意識を高めることを目的に株式報酬制度を導入しています。

さらに、当社では社外取締役の選任により経営に対する監督機能を強化している他、取締役会の諮問機関としてガバナンス委員会および指名・報酬委員会を設置し、経営の透明性・公正性の向上に努めています。

### 内部監査

法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証を目的とした内部監査を実施しており、経営の合理化、業務の改善、効率性の向上および事業の健全な発展のための提言を行っています。

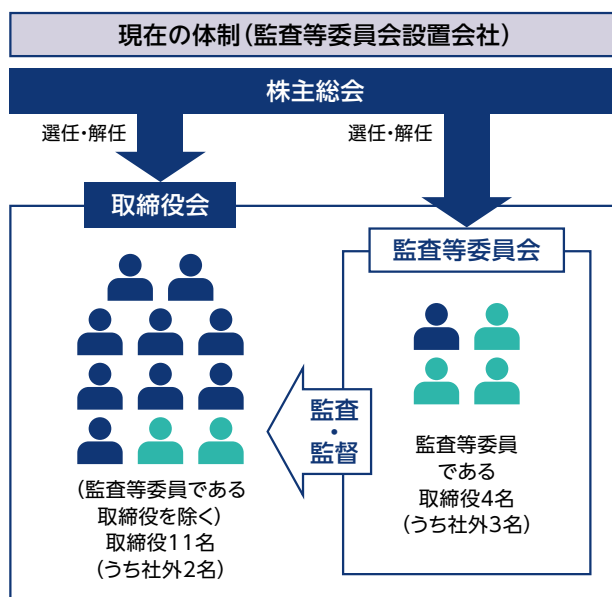
内部監査の独立性・客観性を保持するため監査部は社長直轄の組織としており、2021年3月末現在、33名が在籍しています。監査等委員会設置会社への移行後は、監査等委員会と連携し、内部統制のさらなる充実を図っています。

グループ会社の常勤の監査役は、原則として監査部に所属しており、相互に連携を図ることによりグループ全体の監査体制の充実・強化に取り組んでいます。

### 内部統制システムの強化

「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」のもと、内部統制の整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する体制を統括するため、内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても専任部署を設けてグループ全社で取り組んでいます。

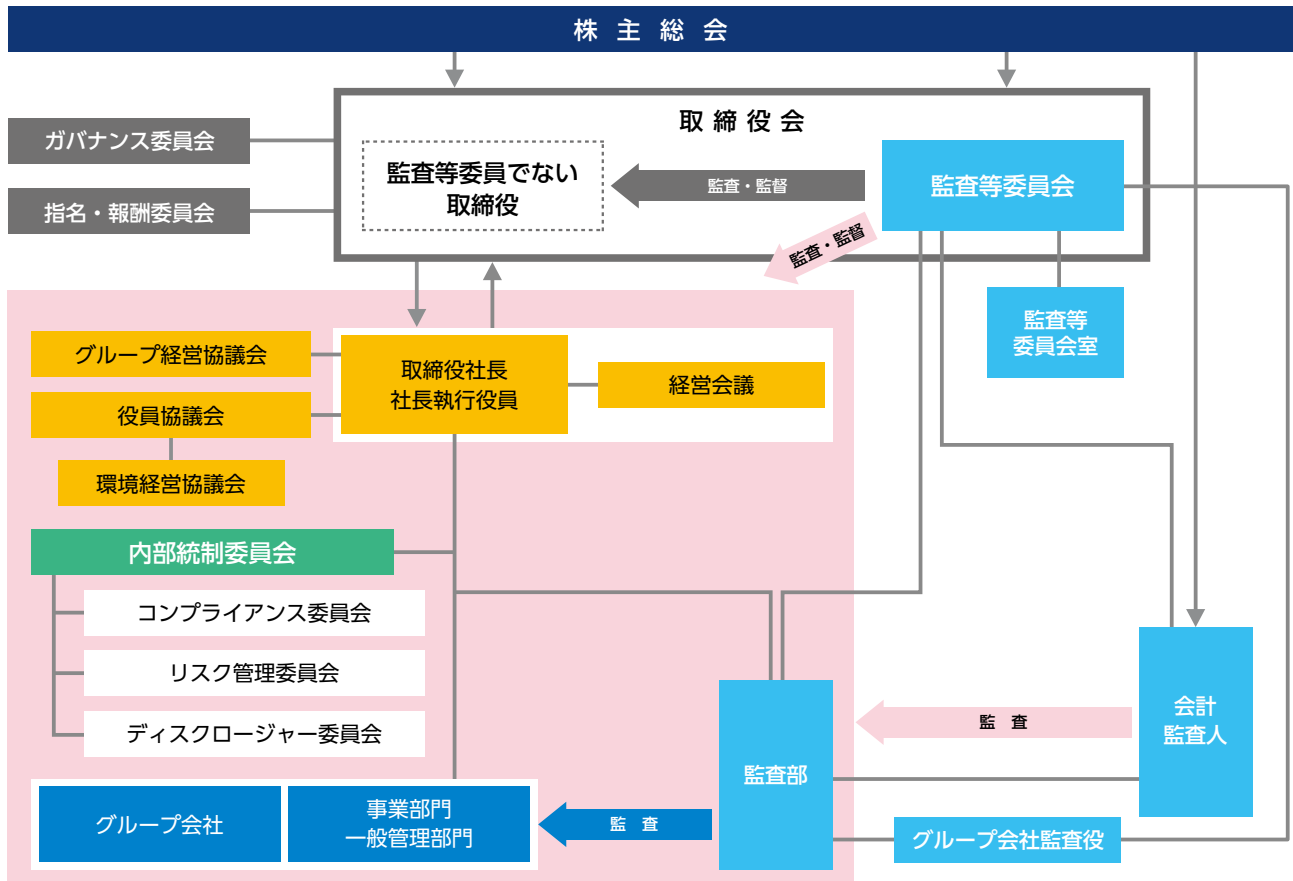
取締役会の構成:取締役15名(うち社外5名)







コーポレート・ガバナンス体制 (2021年6月29日現在)



会議・委員会名	主な役割	2020年度開催回数
取締役会	法令で定められた事項、経営上の重要事項に関する決議、業務執行の監督	11
監査等委員会	取締役の業務執行についての監査・監督	15 <sup>※1</sup>
ガバナンス委員会	当社グループの企業戦略等やガバナンス体制に関する審議、代表取締役と社外取締役の連携強化(取締役会の諮問機関)	2
指名・報酬委員会	役員の人事、報酬に関する審議(取締役会の諮問機関)	3
経営会議	取締役会で決定された方針に基づく経営上の重要事項に関する審議決定	25 <sup>※2</sup>
内部統制委員会	グループ全体の内部統制の整備推進	3

※1 監査等委員会の開催回数は、監査等委員会設置会社への移行以前の監査役会の開催回数を含みます。

※2 経営会議の開催回数は監査等委員会設置会社への移行以前の常務会の開催回数を含みます。

## コンプライアンス

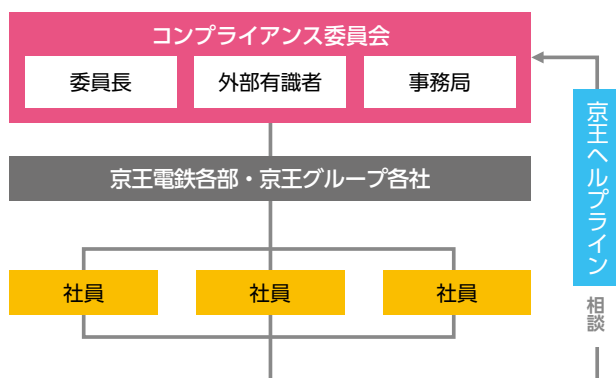
### 基本的な考え方

京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。京王グループ行動規範(P.6)を実践し、誠実な企業としてお客様や社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

### コンプライアンス体制

当社では、「コンプライアンス委員会」が中心となって、グループ全体のコンプライアンス体制を推進しています。当委員会はコンプライアンス担当役員が就く委員長、外部有識者、事務局により構成され、コンプライアンスに関する各種取り組みの検証や改善策の検討等を行っています。

#### ● コンプライアンス体制



### 内部通報窓口

京王グループでは、コンプライアンス上の問題の早期発見と解決を図るため、グループ全体の内部通報窓口である「京王ヘルプライン」を設けています。

「京王ヘルプライン」には、社内窓口と社外窓口(弁護士事務所)があり、京王グループの全従業員と取引先の方が利用できます。

「京王ヘルプライン」に寄せられた通報のうち、コンプライアンス上の疑義があるものは速やかに調査を行い、適切な対応を行っています。2020年度は、76件の通報を受け付けました。

### コンプライアンス意識の浸透

京王グループで働く一人ひとりにコンプライアンス意識が浸透するよう、「京王グループコンプライアンスブック」を全従業員に配布しています。このほか、職位や職種に応じた研修の実施や、時事的な話題をテーマとした「コンプライアンス・トピックス」を毎月発信するなど、継続的に啓発を行っています。



京王グループコンプライアンスブック



コンプライアンス・トピックス



## リスクマネジメント

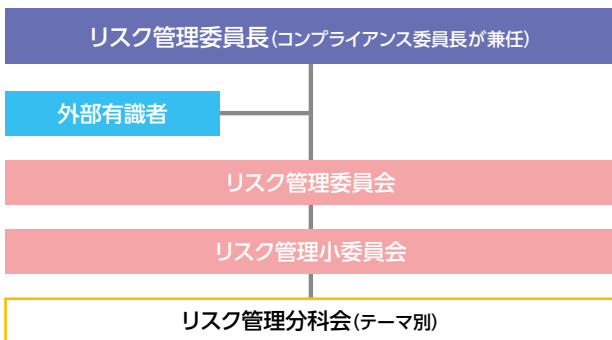
### 基本的な考え方

京王グループでは、「信頼のトップブランド」にふさわしい適切なリスク管理活動を実施するため、「京王グループリスク管理方針」を定め、リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備しています。

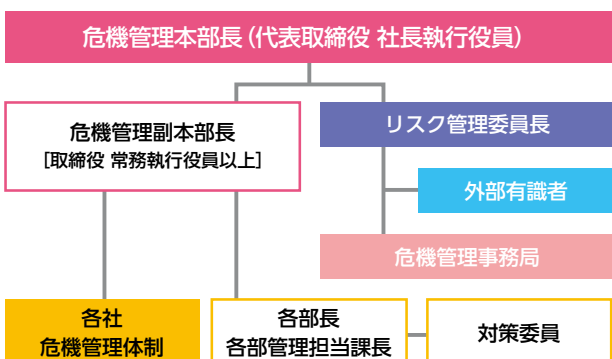
### リスクマネジメント体制

京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時（発生の恐れがある時を含む）の体制の2つからなっています。平常時は、コンプライアンス委員長が兼任するリスク管理委員長のもと「リスク管理委員会」を定期的開催し、リスク対策重点項目の設定や対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行っています。危機発生時は当社の社長を本部長とする「危機管理本部」を設置し、速やかに対応します。

#### ● リスクマネジメント体制（平常時）



#### ● リスクマネジメント体制（危機発生時）



### 災害時における事業継続への取り組み

大規模災害等のさまざまな緊急事態が発生した場合において、重要業務を中断させず、仮に中断したとしてもできるだけ早急に復旧させることを目的に、BCP（事業継続計画）を策定しています。また、「京王グループ防災ハンドブック」の配布や定期的な訓練を実施するなど、防災意識の浸透を図っています。



オンライン災害対策総本部の様子（総合防災訓練）

## 情報セキュリティ

### 情報セキュリティ体制

リスク管理上の重要項目として位置付け、個人情報を含む機密情報の取り扱いや、情報システムのBCP、セキュリティを規定した情報管理基本方針に基づき、リスク管理分科会の一つとして常設で情報セキュリティ分科会を設置しています。また、セキュリティインシデントに対応するCSIRTを設置し内外の情報を集めるとともに、発生したインシデントの対応にあたっています。



	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
<b>連結経営成績</b>				
営業収益	391,172	390,472	396,860	407,985
営業利益	28,221	29,640	28,022	33,073
経常利益	24,576	26,437	24,538	30,244
親会社株主に帰属する当期純利益	9,276	12,433	14,748	16,197
営業収益営業利益率	7.2%	7.6%	7.1%	8.1%
総資産経常利益率 (ROA)	3.3%	3.4%	3.1%	3.8%
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.7%	4.9%	5.5%	5.7%
EBITDA*	63,257	64,028	63,032	67,420
減価償却費	35,036	34,287	34,605	33,942
資本的支出	49,541	34,989	49,327	38,891
有利子負債*	317,762	340,182	356,366	328,941

<b>連結財政状態</b>				
総資産	746,979	791,640	793,293	787,825
純資産	251,405	260,549	278,834	292,607
自己資本比率	33.7%	32.9%	35.1%	37.1%

<b>連結キャッシュ・フローの状況</b>				
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,630	54,370	48,711	58,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,940	△40,976	△47,080	△37,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,673	15,854	11,442	△33,158

<b>配当の状況</b>				
配当性向(連結)	39.5%	29.5%	33.1%	28.3%

※EBITDAは、連結営業利益+減価償却費+のれん償却額により算出しています。

※有利子負債は、借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+鉄道・運輸機構未払金により算出しています。

(単位:百万円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
408,039	416,254	418,996	434,697	447,508	433,669	<b>315,439</b>
33,845	37,758	37,976	38,537	40,078	36,024	<b>△20,866</b>
31,390	35,066	35,285	35,728	39,281	34,684	<b>△17,980</b>
17,248	19,468	21,168	23,897	27,213	17,875	<b>△27,519</b>
8.3%	9.1%	9.1%	8.9%	9.0%	8.3%	<b>△6.6%</b>
4.0%	4.4%	4.3%	4.1%	4.4%	3.9%	<b>△2.0%</b>
5.8%	6.3%	6.6%	7.0%	7.6%	4.8%	<b>△7.7%</b>
69,171	73,740	73,063	74,802	76,731	72,292	<b>14,269</b>
34,921	35,577	34,681	35,860	36,248	35,862	<b>34,663</b>
44,909	46,397	61,793	72,621	55,146	56,632	<b>36,121</b>
308,157	339,306	328,584	352,181	338,376	329,501	<b>399,610</b>
782,422	820,177	834,682	889,135	889,341	876,691	<b>912,624</b>
307,726	311,818	332,020	352,241	368,022	373,454	<b>344,395</b>
39.3%	38.0%	39.7%	39.6%	41.3%	42.6%	<b>37.7%</b>
51,858	54,247	49,440	62,713	60,620	50,157	<b>6,897</b>
<b>△32,325</b>	<b>△55,323</b>	<b>△65,908</b>	<b>△71,267</b>	<b>△47,608</b>	<b>△50,570</b>	<b>△30,822</b>
<b>△26,281</b>	25,530	<b>△16,642</b>	17,384	<b>△20,376</b>	<b>△15,611</b>	<b>58,767</b>
28.3%	26.7%	26.0%	24.3%	22.4%	35.9%	—

京王グループでは、CSR活動をより深化させていくために、「企業統治」「安全」「社会」「環境」における重要テーマに取り組み、中期目標とアクションを立てて推進しています。

CSR項目	重要テーマ	中期目標	2020年度実績
安全	事故等の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事故や輸送障害の未然防止に向けた施策の実行</li> <li>● テロ対策を含めた災害・危機管理</li> <li>● ホームドアの設置等によるホーム安全対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有責事故0件、鉄道運転事故・輸送障害発生件数22件(対前年度3件減)</li> <li>● 駅構内やホーム、車内、踏切への防犯カメラや監視カメラの整備を拡大</li> <li>● 飛田給駅へのホームドア設置を実施</li> </ul>
	減災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震補強や自然災害対策等の減災対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新宿トンネルの耐震補強工事および高架橋、盛土区間の耐震補強工事を実施</li> <li>● 高尾線において、大雨による土砂災害の防止対策として、法面防護工事を実施</li> <li>● 雷害対策として、防雷設備の増設を実施</li> <li>● 強風対策として、防風柵の設置を実施</li> </ul>
	安全対策・老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進</li> <li>● 下北沢駅改良工事の推進</li> <li>● 老朽設備の着実な更新による保安度の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進(用地取得や高架橋構築工事)</li> <li>● 経年劣化した電気設備・車両設備の老朽更新を実施</li> </ul>
社会	お客様の利便性・快適性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅施設・車両設備の整備</li> <li>● 改良によるお客様サービスの向上</li> <li>● 沿線活性化への取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新線新宿駅、仙川駅、府中駅のリニューアル工事を実施</li> <li>● 京王線8000系2編成、井の頭線1000系2編成のリニューアル工事を実施</li> </ul>
	お客様との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々なお客様にとってわかりやすい情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王ホームページリニューアルの推進</li> </ul>
	多世代が生活しやすい沿線づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者事業・生活支援事業・子育て支援事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 府中駅・京王八王子駅に会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業</li> <li>● 調布市・稲城市にて移動販売を開始</li> </ul>
	地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化・教育・子育て支援イベント・スポーツ振興支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王アカデミープログラムや各種イベントの継続実施</li> <li>● 各種スポーツイベントへの協賛を継続実施</li> </ul>
	地域社会・行政との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王沿線および中央道高速バスエリアの関係自治体や事業者と連携した地域活性化への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症流行に伴う移動自粛を受けた、新宿の観光案内所での中部地方各地域の特産品販売</li> <li>● 高速バスを活用した貨客混載事業の継続実施</li> <li>● 各種PR支援などによる地域産業支援</li> </ul>
	人材の活用と働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性活躍推進</li> <li>● 障がい者雇用の推進・職場環境の整備推進</li> <li>● ワーク・ライフ・バランスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公正な管理職登用を実施し女性の活躍を推進(女性の課長級以上の管理職人数2019年度20名→2020年度22名)</li> <li>● 2021年度総合職新卒採用人数のうち女性の占める割合33.3%</li> <li>● 育児や介護を理由とした在宅勤務制度や不妊治療のための休職制度等、仕事との両立支援制度の整備</li> <li>● 確定給付年金から確定拠出年金への移行と、それに伴う資産形成支援教育の実施</li> <li>● 介護相談窓口の新設</li> </ul>
	株主・投資家・取引先等への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株主・投資家・取引先等に分かりやすい情報開示の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適時適切な情報開示、株主・投資家との対話を継続実施</li> </ul>
環境	低炭素社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車両の省エネルギー化</li> <li>● 駅やビルなどの省エネルギー化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王線8000系3編成、井の頭線1000系2編成のVVVFインバータ制御装置を省エネ型に更新</li> <li>● 車両や駅構内等の照明のLED化を実施</li> </ul>
	自然共生社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境保全活動・環境教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高尾山エリアでの育樹活動</li> <li>● 各種環境教育プログラムの継続実施</li> </ul>
企業統治	コーポレート・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレート・ガバナンスの強化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査等委員会設置会社への移行、執行役員制度導入ならびに役員報酬制度の改定</li> <li>● 取締役会付議方法の見直しによる取締役会の実効性向上</li> <li>● SDGsと事業の関連付けを整理</li> </ul>
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンプライアンス意識浸透策の実施、法改正等への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 階層別研修やeラーニング等による従業員教育、コンプライアンス・トピックス等による各種啓発活動の実施</li> <li>● 法令改正情報の周知・適切な対応策の実施</li> <li>● ハラスメント防止に向けた取り組みの強化</li> </ul>
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク対策重点項目の対応・啓発活動の推進</li> <li>● 事業継続計画(BCP)の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク対策重点項目の策定および対応策の検討、実施</li> <li>● 大型台風等による水害発生に備えたBCPを新規策定</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた新型インフルエンザ等に関するBCPの改定</li> </ul>
	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティリスク対策等のIT統制の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティガイドライン等の整備、PDCAサイクルの確立</li> <li>● グループ内公開ウェブサーバのセキュリティ統制強化</li> <li>● リスクアセスメントに基づく課題の解消</li> </ul>



## SDGsへの取り組み

SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するために、2015年に国連で採択された2030年に向けた開発目標です。京王グループは、この持続可能な開発目標の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

2021年度のアクションプラン	関連するSDGs
<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全目標「有責事故ゼロと鉄道運転事故・輸送障害発生件数の前年度比削減」の達成</li> <li>●駅構内やホーム、車内、踏切への防犯カメラや監視カメラの整備を拡大</li> <li>●下北沢駅へのホームドア設置を実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新宿トンネルの耐震補強工事および高架橋、盛土区間の耐震補強工事を継続実施</li> <li>●雷害対策として、防雷設備の増設を継続実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進(用地取得や高架橋構築工事)</li> <li>●経年劣化した電気設備・車両設備の老朽更新を計画的に実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王線8000系2編成のリニューアル工事を実施</li> <li>●京王ライナーのサービス拡充</li> <li>●駅の遊休スペースを有効活用し、構内営業店舗やシェアリングサービスを展開</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王ホームページリニューアルの推進</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王プラザホテル(新宿)内に会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA 新宿・都庁前」を開業するほか、更なる多店舗化の検討、およびサテライトオフィスの相互利用を推進</li> <li>●家事代行・移動販売等の利用促進、サービスの拡充</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王アカデミープログラムの継続実施</li> <li>●貨客混載事業等を活用した中部地方の地域産業支援</li> <li>●新宿の観光案内所での特産品販売や各種PR支援などを通じた中部地方の地域産業支援の継続</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性総合職新卒採用人数を総合職新卒採用人数の30%以上となるよう2022年度卒の採用活動を実施</li> <li>●障がい者雇用の継続促進</li> <li>●働きやすい職場環境・制度の検討を継続実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●適時適切な情報開示、株主・投資家との対話を継続実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京王線8000系2編成のVVVFインバータ制御装置を省エネ型に更新</li> <li>●車両や駅構内等の照明のLED化を継続実施</li> <li>●めじろ台駅へ駅舎補助電源装置を設置</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●高尾山エリアでの育樹活動および多摩川河川敷での外来植物駆除活動の継続実施</li> <li>●各種環境教育プログラムの継続実施</li> <li>●水資源保護の取り組み</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●サステナビリティに関する取り組みの推進</li> <li>●コーポレートガバナンス・コード改訂に伴う課題への対応</li> <li>●さらなる取締役会の実効性向上</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンプライアンス意識浸透策、法令改正への対応等の継続実施</li> <li>●コンプライアンス・アンケートの実施</li> <li>●ハラスメント防止対策の推進</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●リスク対策重点項目等への対応の継続実施</li> <li>●大規模災害に関するBCPの見直し</li> <li>●新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた新型インフルエンザ等に関するBCPの見直し</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●セキュリティガイドライン等整備の継続実施、PDCAサイクルの確立</li> <li>●グループ内公開ウェブサーバのセキュリティ統制強化の継続実施</li> <li>●リスクアセスメントに基づく課題点解消の継続実施</li> </ul>	

## ISO26000対照表

中核主題	課題	CSRレポート2021掲載ページ
組織統治	組織統治	P.2-P.5 トップメッセージ P.6-P.9 経営計画 P.96-P.99 コーポレート・ガバナンス
	デューデリジエンス	
人権	人権に関する危機的状況	
	加担の回避	
	苦情解決	
	差別及び社会的弱者	P.74-P.77 人材の活用と働きやすい職場づくり
	市民的及び政治的権利	
	経済的、社会的及び文化的権利	
	労働における基本的原則及び権利	
労働慣行	雇用及び雇用関係	
	労働条件及び社会的保護	P.34-P.35 人材の育成
	社会対話	P.74-P.77 人材の活用と働きやすい職場づくり
	労働における安全衛生	
環境	職場における人材育成及び訓練	
	汚染の予防	P.82-P.83 環境マネジメント
	持続可能な資源の利用	P.84-P.87 低炭素社会を目指して
	気候変動緩和及び適応	P.88-P.89 循環型社会を目指して P.90-P.91 自然共生社会を目指して
	環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復	P.92-P.93 環境関連データ
公正な事業慣行	汚職防止	
	責任ある政治的関与	
	公正な競争	P.73 株主・投資家・取引先等への取り組み P.96-P.99 コーポレート・ガバナンス
	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	
消費者課題	財産権の尊重	
	公正なマーケティング、情報及び契約慣行	
	消費者の安全衛生の保護	P.22-P.23 感染症に対する取り組み P.27 安全方針・安全管理体制 P.28-P.29 安全管理方法 P.30-P.33 安全目標・安全重点施策
	持続可能な消費	P.36-P.37 安全文化の構築 P.38-P.39 危機に備えた訓練 P.40-P.49 施設・設備の取り組み
	消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決	P.50-P.51 日々の保守管理 P.52-P.54 災害などへの備え P.55 その他の取り組み P.56-P.57 グループ会社の安全対策
	消費者データ保護及びプライバシー	P.62-P.65 お客様の利便性・快適性の向上 P.66-P.67 お客様との対話 P.68-P.69 多世代が生活しやすい沿線づくり
	必要不可欠なサービスへのアクセス	P.73 株主・投資家・取引先等への取り組み P.96-P.99 コーポレート・ガバナンス
	教育及び意識向上	
	コミュニティへの参画	
	教育及び文化	
コミュニティへの参画 及びコミュニティの発展	雇用創出及び技能開発	P.62-P.65 お客様の利便性・快適性の向上
	技術の開発及び技術へのアクセス	P.68-P.69 多世代が生活しやすい沿線づくり
	富及び所得の創出	P.70-P.72 地域社会への貢献
	健康	
	社会的投資	

※GRI対照表については京王HPで公開します。

## 会社概要 (2021年3月31日時点)

社名	京王電鉄株式会社
会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1 (登記上の本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目1番24号)
資本金	590億23百万円
従業員数	2,531人
営業内容	<b>【鉄道事業】</b> 路線 京王線、高尾線、相模原線、 競馬場線、動物園線、井の頭線 駅数 69駅 営業キロ 84.7km 輸送人員 年間4億5,064万人(2020年度実績) 車両数 877両
	<b>【開発事業(土地、建物の賃貸業・販売業など)】</b> 新規賃貸資産の開発 賃貸資産の管理・営業 ショッピングセンターの管理・運営 住宅地などの販売
グループ会社数	全56社

## 役員一覧 (2021年6月29日時点)



代表取締役会長  
永田 正



代表取締役社長  
社長執行役員  
紅村 康

取締役 専務執行役員(戦略推進本部長 新宿再開発推進室 分担)	仲岡 一紀
取締役 常務執行役員(開発事業本部長)	南 佳孝
取締役 常務執行役員(鉄道事業本部長)	寺田雄一郎
取締役 常務執行役員 (経営統括本部長 総務・危機管理部、法務・コンプライアンス部、広報部、人事部 分担 財務・情報開示 担当 コンプライアンス 担当)	都村 智史
取締役 高橋 温	執行役員(人事部長) 宮坂 周治
取締役 古市 健	執行役員 (開発事業本部 開発企画部長) 小野 正浩
取締役 駒田 一郎	執行役員 (鉄道事業本部 工務部長) 番 睦
取締役 丸山 荘	執行役員 山岸 真也
取締役 若林 克昌	執行役員 井上 晋一
取締役 監査等委員(常勤) (監査等委員会委員長) 伊藤 俊司	執行役員 高木 保
取締役 監査等委員(常勤) 竹川 浩史	
取締役 監査等委員 北村 敬子	
取締役 監査等委員 金子 正志	

## 京王グループ会社一覧 (2021年7月31日時点)





## 京王電鉄路線図



## 株主の状況

当社の2021年3月31日現在の株主数は29,713名です。  
全体の約7割が、当社沿線に在住されている個人株主です。

### ● 株式の状況

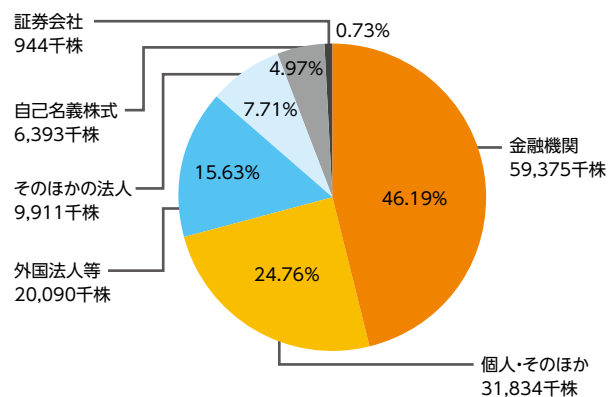
発行可能株式総数	316,046,000株
発行済株式総数	128,550,830株
株主数	29,713名

### ● 株主総会

2021年6月29日に京王プラザホテル八王子にて第100期定時株主総会を開催し、239人の株主様に出席いただきました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、2020年度の事業の経過や業績についてわかりやすくお伝えするよう努めました。

### ● 株式分布状況(2021年3月31日現在)



当社は、以下のサステナビリティ/ESG指数の構成銘柄に選定されています。

2021



Sompo Sustainability Index

SNAMサステナビリティ・インデックス

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

## 第三者意見

全体を通して、「つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、『信頼のトップブランド』になることを目指します」という京王グループの理念が反映された良いレポートだと思います。安全報告・社会性報告・環境報告の各パートの冒頭に、それぞれの担当取締役のメッセージが掲載されており、トップマネジメントによるコミットメントの点からも優れた報告書となっています。

2020年度は、世界中の企業にとって、事業の見直しと「挑戦」が求められた一年でした。その原因は、言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症の蔓延を背景とした社会経済活動の自粛にあります。このような状況の中、京王グループは素早く「中長期方針」を打ち出しました。「RE START」と名付けられた中長期方針は、「京王の『原点』を再構築し、沿線生活を維持する公共交通事業者としての役割を果たす」というものであり、ウィズコロナ時代に通勤需要が減少し、人々が自らが暮らす街での生活時間が増える可能性をふまえた事業方針です。その中の柱の一つである「まちづくりへの注力」では、「沿線をエリア単位でマネジメントし、駅を核とした拠点開発を進めて魅力的な『まちづくり』に注力し、エリア内外の移動を活性化」することを掲げています。2020年6月には、青梅市内のお客様の病院への付き添いや買い物代行を行う「京王すまいるサポートタクシー」サービスがスタートし、2021年3月には府中と八王子、5月には新宿・都庁前に、沿線住民の働き方をサポートする個室席のあるサテライトオフィスがオープンしました。地域社会の課題を解決することで「住んでもらえる・選んでもらえる沿線」となるプランは着実に進展しているようです。京王グループは、重要な社会インフラを担っているという認識のもと、これまでも様々な「挑戦」を行ってきました。今回の新たな「挑戦」も実を結びと信じています。時代や経営環境は変われども常にグループが人々に提供できる価値を考え続ける、すなわち、本業を通じたCSR(社会的責任)を果たす京王グループの企業姿勢を高く評価したいと思います。

安全報告のパートでは、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という方針にもとづき、お客様に「安全」・「安心」を提供するための様々な取り組みが報告されています。2020年度も笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業は順調に進み、踏切数は1955年度末の322カ所から2020年度末の136カ所に減少しています。また、昨年度には飛田給1番線で新たにホームドアを設置し、次年度以降も下北沢駅・笹塚駅での整備を計画するなど安全対策も着実に推進しています。今回のレポートで注目したいのは、昨年度に引き続き、輸送安全実績が改善されたことです。鉄道運転事故などの発生件数の減少に加えて、発生原因のうち車両・設備故障に起因するものが2件にとどまるなど、過去5年間で最も少ない件数となっています。インシデントの発見と対策も適切に行われています。「輸送の安全性」という運輸事業者にとって重要な社会的使命を果たすために、ハード面・ソフト面ともに本社・現場が一体となって



立教大学経営学部  
教授／経済学博士  
高岡 美佳

安全対策を進めてきた成果ではないかと考えます。京王グループの安全に対する取り組みを高く評価すると同時に、さらなる安全性の向上を期待したいと思います。

社会性報告のパートでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を目指す京王グループの取り組みが描かれています。京王グループは、鉄道、バス、ホテルその他幅広い事業を有しているという特徴を活かして、多角的なサービスを提供しています。会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」の拠点増設や「京王すまいるサポートタクシー」の運行に加えて、2021年6月には沿線住民の新しい通勤スタイルをサポートする目的で西東京バスが座席定員制の「通勤ライナー」の運行をスタートしました。また、京王リトナード永福町の屋上庭園「ふくにわ」で、感染対策を行いながら、小学生のお子様と保護者を対象とした皆既月食の観察イベントを実施したことは、「教育の場の提供」として高く評価できます。

グループを支える人材の活用と職場づくりについては、女性社員の活躍推進に向けて新たに目標を設定した点を高く評価したいと思います。女性の課長級以上の管理職人数を2021年3月までに2016年4月と比較して5割増とする数値目標は、結果的に8割増と十分な成果が得られましたので、次の目標達成についても期待しています。

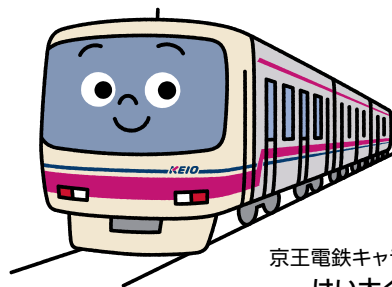
環境報告のパートでは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」にもとづき京王グループが実施している環境活動が紹介されています。主力事業である鉄道の走行用電力の削減については、2020年度は、8000系3編成、1000系2編成が、消費電力削減効果に優れた新型VVVFインバータ制御装置を搭載した車両へと更新されました。また、上で紹介した屋上庭園「ふくにわ」が都市緑化機構主催のSEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)認定緑地として2020年度に3回目の認定を受けたことも特筆すべきでしょう。鉄道事業は環境負荷が相対的に低い事業であり、京王グループはその鉄道事業を中心に営む企業グループであるにもかかわらず、低炭素社会や循環型社会の実現を目指して熱意をもって環境活動を推進しています。その企業姿勢および対策の成果が得られている点について、京王グループを高く評価したいと思います。すでに高いレベルに達している京王グループの環境対策です。次年度は、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)対応についてレポートで公開されてはいかがでしょうか。



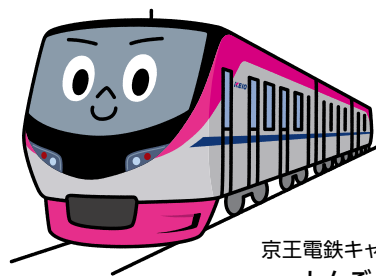
この安全・社会・環境報告書の用紙は、FSC®が定める責任ある森林管理の原則に基づき認証された森林からの原材料とその他管理された原材料から作られたFSC®認証紙を使用しています。

また、日本印刷産業連合会が認定する工場のもと、有害な溶剤を含まないNon-VOCインキを使用しているほか、揮発性有機溶剤を含む湿し水を使用しない、地球環境に配慮した水なし印刷方式で作成されています。

なお、本レポートの原材料調達からリサイクルされるまでのライフサイクル全体で発生する温室効果ガスをCO<sub>2</sub>の量に換算した数値は、1冊あたり2,200gになります。



京王電鉄キャラクター  
けいたくん



京王電鉄キャラクター  
しんごくん

## 京王電鉄株式会社

〒206-8502  
東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ

広報部 企画・環境担当

Tel. 042-337-3106

Fax. 042-337-5536

www.keio.co.jp

2021年9月発行